

DuraForce EX2

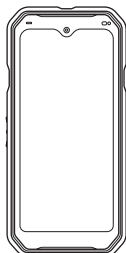
取扱説明書 詳細版

ごあいさつ

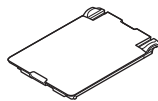
このたびは、「DuraForce EX2」(以下、「本製品」もしくは「本体」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本製品に同梱する『クイックスタートガイド』または本書をお読みいただき、正しくお使いください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



KC-S704本体



電池パック LBS703

・クイックスタートガイド

以下のものは同梱されていません。

- ・ACアダプタ(充電用機器)
- ・microSDメモ리카ード
- ・USB Type-C™ケーブル
- ・イヤホン



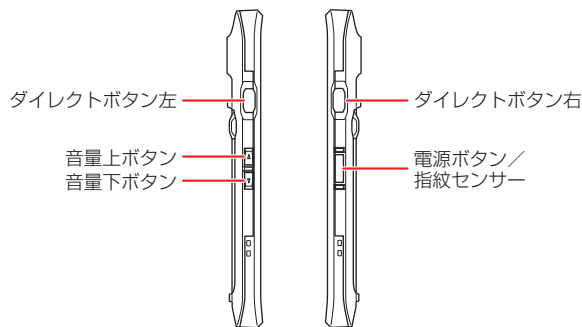
memo

- ◎ 同梱品の電池パックのほかに、本製品には電池が内蔵されています。
- ◎ 本文中で使用している本製品のイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

本書の表記方法について

■ 掲載されているボタン表示について

本書では、ボタンの図を次のように簡略化しています。



■ 項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記例	意味
ホーム画面→[🏠]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1]→[📞]	ホーム画面下部の[🏠]をタップします。続けて「ダイヤル」タブをタップした後に「[1]」「[4]」「[1]」の順にタップして、最後に「[📞]」をタップします。
ホーム画面を上へスワイプ→[音声レコーダー]	ホーム画面を上方向にスワイプします。続けて、表示されたアプリ一覧画面から「音声レコーダー」をタップします。
スリープモード中に電源ボタン	スリープモード中に電源ボタンを押します。

・タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です(▶P.24)。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

SIMカードを取り付けた状態の画面表示・操作方法などの説明内容となります。
本書に記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。



memo

- ◎ 本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。
- ◎ 本書では「microSD™メモ리카ード(市販品)」および「microSDHC™メモ리카ード(市販品)」、「microSDXC™メモ리카ード(市販品)」の名称を「microSDメモ리카ード」もしくは「microSD」と省略しています。
- ◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。
- ◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

目次

ごあいさつ.....	1
同梱品一覧.....	1
本書の表記方法について.....	1
目次.....	2
注意事項.....	5
注意事項.....	6
本製品のご利用について.....	6
安全上のご注意(必ずお守りください).....	6
材質一覧.....	9
取り扱い上のご注意.....	9
防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意.....	11
ご使用にあたっての注意事項.....	11
充電のときは.....	11
お手入れのしかた.....	12
水に濡れたときの水抜きについて.....	12
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)／無線LAN(Wi-Fi HaLow™)機能について.....	13
2.4GHz帯ご使用上の注意.....	13
5GHz帯ご使用上の注意.....	13
6GHz帯ご使用上の注意.....	13
アプリの権限を設定する.....	13
アプリごと／機能ごとに設定する.....	13
ご利用の準備.....	15
ご利用の準備.....	16
各部の名称と機能.....	16
電池パックを取り外す／取り付ける.....	17
電池パックを取り外す.....	17
電池パックを取り付ける.....	17
電源を入れたまま電池パックを交換する.....	17
SIMカードを取り付ける／取り外す.....	18
SIMカードを取り付ける.....	18
SIMカードを取り外す.....	18
充電する.....	19
ACアダプタを使って充電する.....	19
パソコンを使って充電する.....	19
電源を入れる／切る.....	20
電源を入れる.....	20
電源を切る.....	20
強制的に電源を切り再起動する.....	20
セーフモードで起動する.....	20
スタート画面について.....	20
スタート画面からホーム画面を表示する.....	20
スリープモードについて.....	20
初期設定を行う.....	21
Google アカウントをセットアップする.....	21
基本操作.....	23
基本操作.....	24
タッチパネルの使いかた.....	24
ナビゲーションバーの使いかた.....	24
縦／横画面表示を切り替える.....	24
ホーム画面を利用する.....	25
クイック起動エリアを利用する.....	25
壁紙を変更する.....	25
アプリ／ウィジェット／フォルダを利用する.....	25
ホーム画面を設定する.....	25
ホームアプリを切り替える.....	25
シンプルホームを利用する.....	26
アプリを起動する.....	26
アプリ一覧のメニューを利用する.....	26
インストールされたアプリを削除する.....	26
本製品の状態を知る.....	26
アイコンの見かた.....	26
通知パネルについて.....	27
着信ランプ／充電ランプについて.....	27
最近使用したアプリを起動する.....	27
マルチウィンドウを利用する.....	27
マナーモードを設定する.....	27
メニューを表示する.....	27
スクリーンショットを撮影する.....	27
アプリのショートカット機能を利用する.....	27
他のモバイル機器を充電する.....	28
指紋認証機能.....	28
指紋認証機能のご利用にあたって.....	28
指紋認証利用時のご注意.....	28
指紋センサー利用時のご注意.....	28
指紋を登録する.....	28
指紋認証を行う.....	28
顔認証機能.....	29
顔認証機能のご利用にあたって.....	29

顔認証利用時のご注意.....	29
顔を登録する.....	29
顔認証を行う.....	29
文字入力.....	29
文字を入力する.....	29
ソフトウェアキーボードについて.....	29
キーボードを切り替える.....	29
キーボードで入力する.....	29
文字入力の便利な機能を利用する.....	30
絵文字／顔文字／記号を入力する.....	30
文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける.....	30
ソフトウェアキーボードの設定を行う.....	30
単語リストに登録する.....	30

電話・連絡先.....31

電話.....	32
電話をかける.....	32
通話に関する設定をする.....	33
履歴を利用して電話をかける.....	33
電話を受ける.....	33
着信に伝言メモで応答する.....	33
着信を拒否する.....	33
着信を拒否してメッセージ(SMS)を送信する.....	33
ステップアップ着信を設定する.....	33
着信拒否を設定する.....	34
不在着信通知を設定する.....	34
伝言メモを利用する.....	34
自分の電話番号を確認する.....	34
電話帳.....	34
電話帳について.....	34
連絡先を登録する.....	34
連絡先から電話をかける.....	35
連絡先を編集／削除する.....	35
連絡先を編集する.....	35
連絡先を削除する.....	35
グループを設定する.....	35
お気に入りを設定する.....	35
連絡先をインポート／エクスポートする.....	35
インポートする.....	35
エクスポートする.....	35

アプリケーション.....37

アプリケーション一覧.....	38
アプリを利用する.....	38
カメラ.....	38
カメラをご利用になる前に.....	38
モニター画面の見かた.....	38
カメラを設定する.....	39
撮影モードを切り替える.....	39
静止画を撮影／動画を録画する.....	39
静止画を撮影する.....	39
動画を録画する.....	39
静止画／動画を再生する.....	39
QRコード・バーコードリーダーを利用する.....	39
バーコードスキャナーを利用する.....	40
バーコードスキャナーをご利用になる前に.....	40
バーコードを読み取る.....	40
バーコードスキャナーを設定する.....	40
ScanExを利用する.....	40
ScanExをご利用になる前に.....	40
バーコードを読み取る.....	40
ScanExを設定する.....	41
音声レコーダー.....	41
音声レコーダーを利用する.....	41
音声を再生する.....	41
音声データを選択して削除する.....	41
ライト.....	41
ライトを利用する.....	41
デバイス故障診断.....	41
デバイス故障診断を利用する.....	41
Wi-Fi HaLow Messenger.....	42
メッセージを送信する.....	42
メッセージを受信する.....	42

ファイル管理.....43

ファイル管理.....	44
本製品の保存領域について.....	44
microSDメモ리카ードを利用する.....	44
microSDメモ리카ードを取り付ける／取り外す.....	44
microSDメモ리카ードを取り付ける.....	44
microSDメモ리카ードを取り外す.....	44
USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと接続する.....	45
メモリの使用量を確認する.....	45
microSDメモ리카ードを初期化する.....	45
USBホスト機能を利用する.....	45

Files	45
データを移動／コピーする	45

データ通信.....47

Bluetooth®機能	48
Bluetooth®機能について.....	48
Bluetooth®機能をオンにする.....	48
Bluetooth®機器を登録する.....	48
他のBluetooth®機器から検出可能にする.....	48
Bluetooth®機器の接続を解除する.....	48
Bluetooth®機能でデータを送受信する.....	48
Bluetooth®機能でデータを送信する.....	48
Bluetooth®機能でデータを受信する.....	48

無線LAN(Wi-Fi®)機能	49
無線LAN(Wi-Fi®)機能について.....	49
Wi-Fi®機能をオンにする.....	49
Wi-Fi®ネットワークに接続する.....	49
Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する.....	49
Wi-Fi®ネットワークをQRコードで追加する.....	49
Wi-Fi®機能を切断する.....	49
Wi-Fi®機能の詳細設定をする.....	49
Wi-Fi Direct®を設定する.....	49

無線LAN(Wi-Fi HaLow™)機能.....	50
無線LAN(Wi-Fi HaLow™)機能について.....	50
Wi-Fi HaLow™機能をオンにする.....	50
Wi-Fi HaLow™ネットワークに接続する.....	50
Wi-Fi HaLow™ネットワークを手動で追加する.....	50
Wi-Fi HaLow™ネットワークをQRコードで追加する.....	50
Wi-Fi HaLow™機能を切断する.....	50
Wi-Fi HaLow™機能の詳細設定をする.....	50
Wi-Fi HaLow™通信の利用を設定する.....	50
Wi-Fi HaLow™利用中のモバイルネットワーク制限を設定する.....	50

テザリング機能.....	51
テザリングについて.....	51
Wi-Fi®テザリング機能を利用する.....	51
Wi-Fi HaLow™テザリング機能を利用する.....	51
USBテザリング機能を利用する.....	51
Bluetooth®テザリング機能を利用する.....	51
イーサネットテザリング機能を利用する.....	51

機能設定53

機能設定	54
設定メニューを表示する.....	54
Googleの設定をする.....	54
ネットワークとインターネットの設定をする.....	54
eSIMをダウンロードする.....	54
機内モードを設定する.....	54
VPNを設定する.....	54
接続設定をする.....	55
印刷に関する設定をする.....	55
アプリの設定をする.....	55
通知の設定をする.....	55
音とバイブレーションの設定をする.....	55
各種音量を調節する.....	55
モードの設定をする.....	55
ディスプレイの設定をする.....	56
スタート画面の設定を行う.....	56
スクリーンセーバーを設定する.....	56
ダイレクトボタンの設定をする.....	56
ストレージに関する設定をする.....	56
バッテリー使用量を表示する.....	56
バッテリーケアモードを設定する.....	56
内蔵電池の状態を確認する.....	56
システムの設定をする.....	57
言語と地域に関する設定をする.....	57
キーボードに関する設定をする.....	57
日付と時刻の設定をする.....	57
日付を設定する.....	57
時刻を設定する.....	57
本製品を初期化する.....	57
ライセンスを管理する.....	57
ライセンスの引き継ぎをする.....	58
デバイス情報に関する設定をする.....	58
セキュリティとプライバシーの設定をする.....	58
SIMカードロックを設定する.....	58
位置情報の設定をする.....	59
パスワードとアカウントの設定をする.....	59
アカウントを追加／削除する.....	59
安全性と緊急情報の設定をする.....	59
ユーザー補助の設定をする.....	59

付録.....61

付録.....	62
ソフトウェアを更新する.....	62
ご利用上のご注意.....	62
ソフトウェアをダウンロードして更新する.....	62

故障とお考えになる前に.....	62
イヤホンを使用する.....	63
主な仕様.....	63
携帯電話機の比吸収率(SAR)について.....	64
FCC Notice.....	64
輸出管理規制.....	64
知的財産権について.....	65
商標について.....	65
License.....	65

索引.....67

索引.....	68
---------	----

注意事項

注意事項	6
本製品のご利用について	6
安全上のご注意(必ずお守りください)	6
材質一覧	9
取り扱い上のご注意	9
防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意	11
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)／無線LAN(Wi-Fi HaLow™)機能について	13
アプリの権限を設定する	13

注意事項

本製品のご利用について

- 本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。
- ※ 本書で表す「当社」とは、ご契約の通信事業者および以下の企業を指します。
製造元：京セラ株式会社

memo

- ◎ 取扱説明書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ◎ 取扱説明書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ◎ OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。
- ◎ 取扱説明書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{※2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{※3} の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 禁止・強制の絵表示の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、電池パック、内蔵電池、充電用機器(別売)、SIMカード、周辺機器について(共通)

危険



高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグや充電端子、外部接続端子、本体側の電池パック専用コネクタ、電池パック側の接続端子、イヤホンマイク端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れたり濡らさないでください。また、濡れた状態や風呂場、加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶ P.11「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」



本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。
内蔵電池や電池パックの破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ご注意いただきたい例
・スポンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
・電車やバスなどの座席シートに挟み込む



分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



本製品の内蔵電池を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



オプション品は、当社が指定したものを使用してください。
指定以外のものや、製造・販売元・仕様が不明確なものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告

-  落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  電源プラグや充電端子、外部接続端子、本体側の電池/バック専用コネクタ、電池/バック側の接続端子、イヤホンマイク端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりや砂などが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  本製品のお手入れの際には、消毒液や水分が隙間、外部接続端子、本体側の電池/バック専用コネクタ、電池/バック側の接続端子、イヤホンマイク端子、送話口(マイク)、受話口、スピーカー部に侵入しないようにしてください。
本製品の破損により、けが、感電などの原因となります。
-  所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。
-  ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。
-  使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。
 - 電源プラグをコンセントから抜く。
 - 本製品の電源を切る。
 - 電池/バックを本製品から取り外す。
 - 充電用機器(別売)を本製品から取り外す。上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意

-  破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  くらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレーション設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。
-  湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」
-  子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。
-  乳幼児の手の届く場所、および、ベットの触れる場所に置かないでください。
SIMカード／microSDメモリーカードトレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。
-  本製品を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。
アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本製品や充電用機器(別売)の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客さまの体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

危険

-  火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  本製品内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本製品内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告

-  撮影ライト／ライト、LEDエイマーの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障がいなどの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。
-  点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。
-  本製品内のSIMカード／microSDメモリーカードトレイの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片(カッターの刃やステープラーの針など)、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、SIMカードやmicroSDメモリーカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  ToFセンサーをのぞきこまないでください。
視力の低下など目の障がいや事故につながる原因となります。
-  航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
-  病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
-  ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
ハンズフリーに設定して通話すると、本製品から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障がいの原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。
-  心臓の弱い方は、着信バイブレーション(振動)や着信音量の設定に注意してください。
突然の着信バイブレーション(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。
-  医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。
-  高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
-  ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れた部分や露出した本製品の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。
-  ベットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意

- ❌ ストラップなどを持って本製品を振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。
- ❌ モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。
- ❌ ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。
- ❌ 電池パックを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。
電池パックが破損し、けがなどの原因となります。
- ❌ 電池パックを取り付けるときは、指などの身体の一部を挟まないでください。
けがなどの原因となります。
- ❌ 電池パックを外したまま使用しないでください。
やけど、けが、感電などの原因となります。
- ❌ 一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。
- ❌ 内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。
- ❗ 自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。
- ❗ 本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質について▶P.9「材質一覧」
- ❗ 本製品の受話口部に磁気が発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やステープラーの針など）が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。
- ❗ ディスプレイを見る際は、十分に明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 電池パックについて

⚠ 危険

- ❌ 金属片（ネックレスやヘアピンなど）や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ❌ 電池パックを本体や電池パック単体充電器（別売）にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。また、電池パックを本体や電池パック単体充電器（別売）からうまく取り外せない場合は、無理に取り外さないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
電池パックの取り付け方、取り外し方については「電池パックを取り外す／取り付ける」（▶P.17）をご参照ください。
- ❌ 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ❌ 鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ❗ 電池パックを本体や電池パック単体充電器（別売）に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめてください。
誤った向きで取り付けると、電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
電池パックの取り付け方については、「電池パックを取り付ける」（▶P.17）をご参照ください。
- ❗ 電池パック内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
電池パック内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告

- ❌ 落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- ❌ 異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ❌ 電池パックに強い衝撃が加わった場合や外観に変形や破損が見られる場合は、直ちに使用をやめてください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ❗ 電池パック内部の物質などが漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。
- ❗ ベットなどが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意

- ❌ 電池パック内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。
- ❌ 一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、接続端子にテープなどを貼り、絶縁してから回収を行っている市区町村の指示に従ってください。
- ❌ 濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

■ 充電用機器（別売）について

⚠ 警告

- ❌ 充電用機器（別売）のケーブルが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❌ 雷が鳴り出したら、充電用機器（別売）には触れないでください。
感電などの原因となります。
- ❌ コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❌ 充電用機器（別売）のケーブルの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❌ コンセントに充電用機器（別売）を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❌ 充電用機器（別売）に変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。
- ❌ 本製品に充電用機器（別売）を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- ⚠ 濡れた手で充電用機器（別売）のケーブルや充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❗ 指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電源、電圧で使用するとう火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
- ❗ 電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❗ 充電用機器（別売）をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❗ 電源プラグをコンセントから抜く場合は、充電用機器（別売）のケーブルを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
充電用機器（別売）のケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❗ 本製品に充電用機器（別売）を抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

- !** 電源プラグや充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
電源プラグの破損や充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- !** 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
- !** 水などの液体(飲料水、汗、海水、ベットの尿など)が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。
- !** お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 注意

- !** コンセントにつないだ状態で充電用機器(別売)に継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

■ SIMカードについて

⚠ 注意

- !** SIMカードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠ 警告

- !** 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合、もしくは装着している方が周囲にいる可能性がある場合は、装着部から本製品を15cm以上離れるように携帯および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。身動きが自由にとれないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。
- !** 自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- !** 医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■ KC-S704本体

使用場所	使用材料	表面処理
外装ケース(ディスプレイ側)	PPA樹脂	—
背面カバー(カメラ上部)、音量上/下ボタン、ダイレクトボタン左/右	PC樹脂	—
電源ボタン/指紋センサー	エポキシ樹脂	熱硬化塗装
ディスプレイ	化学強化ガラス	防汚処理
アウトカメラレンズ	化学強化ガラス	防汚処理
外装パネル(撮影ライト/ライト)	PMMA樹脂	—
受話口(メッシュ部)	ポリエステル	撥水処理
ケース嵌合ネジ	SWCH	焼付塗装
SIMカード/microSDメモリカードトレイ	POM樹脂	—
電池パック専用コネクタ	銅合金	金メッキ(下地Niメッキ)
銘板ラベル	PET	—
ゴムパッキン	シリコーン	—

■ 電池パック LBS703

使用場所	使用材料	表面処理
外装	PC樹脂	UV硬化塗装
電池ロック	PA樹脂	—
ラベル	PET	マットニス
シール	PET	—
水没判定シール	PP膜	—
接続端子	銅合金	金メッキ(下地Niメッキ)

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

- **本体、電池パック、内蔵電池、充電用機器(別売)、SIMカード、周辺機器共通**
- 本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての状況での動作を保証するものではありません。また、無破損・無故障を保証するものではありません。
 - 本製品や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パック、内蔵電池などの破損、故障の原因となります。
 - また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
 - 本製品の防水性能(IPX5、IPX8、IPX9相当)/防塵性能(IP6X)を発揮するため、に電池パック、SIMカード/microSDメモリカードトレイをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。
 - ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、充電用機器(別売)、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたまま電池パックの取り扱い、または取り外し/取り付けは行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
 - 調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
 - 下記については、極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃~35℃、湿度35%~90%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃~40℃であれば一時的な使用は可能です。)
 - 本製品本体
 - SIMカード(本製品本体装着状態)
 - 電池パック(本製品本体装着状態)
 - 下記については、極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃~35℃、湿度35%~85%の範囲内でご使用ください。)
 - 充電用機器(別売)
 - 周辺機器
 - ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
 - 本製品の外部接続端子やイヤホンマイク端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
 - お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またシンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障したりする原因となります。
 - 柔らかい布にイソプロピルアルコールやエタノール、次亜塩素酸ナトリウムを付け拭くことができます。
※ お手入れのしかたについて詳しくは「お手入れのしかた」(▶P.12)をご参照ください。
 - 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
 - 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
 - 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
 - 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
 - お客さまによる分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品のお客さまによる分解や改造、修理しての利用は電波法および電気通信事業法違反になります。
 - 充電中に濡れた場合には直ちに充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。
 - 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車・自転車運転中の使用は法律で禁止されています。
 - かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
 - 充電用機器(別売)や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
 - カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
 - 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
 - ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やバイブレーション設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
 - 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。
 - ACアダプタ(別売)、卓上ホルダ(別売)、電池パック単体充電器(別売)は国内専用です。海外では使用しないでください。

■ 本体について

- 本製品の内蔵電池は、お客さま自身では交換できません。内蔵電池の交換については、京セラのホームページからお問い合わせください。
- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。

- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として、「技術マーク®」が本製品内で確認できるようになっております。
ホーム画面→[⚙️]→[デバイス情報]→[認証情報]
本製品内部の改造を行った場合、技術基準適合証明および技術基準適合認定が無効となります。技術基準適合証明および技術基準適合認定が無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- スピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDメモ리카ードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ったりすると、周囲の明暗に光センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常になく、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーが汚れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でセンサー部を乾拭きしてください。

■ タッチパネルについて

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・爪の先での操作
 - ・異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・保護シートやシールなどを貼った操作
 - ・水中での操作
- ディスプレイ表面が汚れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの導電性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。
- グローブタッチモードが有効の場合は以下にご確認ください。
 - ・手袋を装着した場合でのタッチ操作が可能ですが、手袋の厚み・素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。
 - ・手袋に水滴が付着した状態でタッチ操作が出来ない場合は、水滴を拭きとってください。
 - ・指先がフィットしていない手袋でのタッチ操作が出来ない場合は、指の腹をディスプレイに当てるように操作してください。

■ レーザについて

- 本製品は、光源に不可視光半導体レーザーを使用しています。
人体(目や皮膚など)に障害を引き起こす可能性がありますので、以下の事項を必ず遵守してください。
ここに規定した以外の手順による制御および調整は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがあります。
 - ・この商品は、分解時にレーザー光の放射を停止する機構を備えていません。絶対に分解しないでください。
 - ・クラス1レーザー製品に関してレーザー光、および鏡面反射光を凝視しないでください。
- 本製品は、JIS C 6802、IEC/EN 60825-1:2014およびEN 60825-1:2014/A11:2021に基づき以下のように分類されます。

項目	DuraForce EX2
波長	940nm
出力	1909μW
レーザークラス	クラス1レーザー製品(JIS C 6802)

■ 電池/バック／内蔵電池について



Li-ion 00

(本製品の電池/バック／内蔵電池は、リチウムイオン電池です)

電池/バック／内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった自動車(車内)に放置するなど、極端な高温多湿や低温環境では電池/バック／内蔵電池の容量が低下し、ご利用になれる時間や電池/バック／内蔵電池の寿命が短くなります。できるだけ常温でご使用、充電してください。
- 電池/バック／内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。
- 長時間使用しない場合は、本体から電池/バックを外し、高温多湿を避けて保管してください。
- 電池/バック、内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池/バックをお買い求めください。なお、内蔵電池が膨れている場合には寿命ですのでご使用をおやめください。寿命は使用状態などにより異なります。
- 破損や液漏れした電池/バックを使用しないでください。故障原因となる場合があります。
- 電池/バックを水などで濡らさないでください。電池/バックが濡れると故障の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池/バックを外してください。また、濡れた電池/バックは充電をしないでください。
- 激しい衝撃を受けた電池/バックは使用しないでください。電池/バックが発火する可能性があります。
- 電池/バックは一般のゴミと一緒に廃棄しないでください。ゴミ処理場などで火災が発生する原因となります。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、過放電になり充電できなくなる場合があります。定期的に充電してください。
- 端末を保管される場合は、電池/バック／内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。
 - ・フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
 - ・電池残量なしの状態(端末の電源が入らないほど消費している状態)での保管なお、保管に適した電池残量の目安は40%程度です。

■ SIMカードについて

- SIMカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる製品への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、SIMカードを挿入して故障した場合は、お客さまの責任となりますのでご注意ください。
- SIMカードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたSIMカードを挿入しないでください。故障の原因になります。
- SIMカードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかけたりする、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ カメラ機能について

- 大切な撮影などををするときは、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客さまが本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、私的使用目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネット・ホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ FCC認証情報

- 本製品は、Federal Communications Commission(FCC)の認証を受けています。
本製品のFCC IDはJOYEB1236です。
また、以下の方法でも確認できます。
確認方法:
ホーム画面→[⚙️]→[デバイス情報]→[認証情報]

防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意

本製品は、電池パック、SIMカード／microSDメモリーカードトレイをしっかり閉じた状態でIPX5相当、IPX8相当、IPX9相当^{*1}の防水性能、IP6X相当^{*2}の防塵性能を有しています。また、MIL規格準拠^{*3}の耐衝撃性能を実現しております（当社試験方法による）。正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての注意事項」（▶P.11）の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

- ※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。IPX9相当とは、電話機本体を水水平面上で回転させながら、水平面に対して0度・30度・60度・90度の各方向から、規定ノズルを用いて、距離10～15cmから30秒ずつ、高圧80～100bar、流量14～16L／分、温度80℃の高温水をジェット噴射する試験を実施しても、電話機としての性能を保つことです。
- ※2 IP6X相当とは、防塵試験用粉塵（直径75μm以下）が入った装置に、電話機を8時間入れても内部に侵入しない機能を有することを意味します。
- ※3 MIL規格準拠
アメリカ国防総省が制定したMIL-STD-810Hの21項目に加え、独自の落下試験に準拠しています。
※ 日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をしたりするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また、本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

■ MIL-STD-810H

鋼板落下	高さ約1.22mから鋼板に製品を26方向で落下させる試験
衝撃	衝撃試験機に端末を取り付け、40Gの衝撃を6方向から3回与える試験
振動	3時間（3方向各1時間/20～2,000Hz）の振動試験
高温動作(1)	50℃で連続3時間の動作試験
高温動作(2)	32～49℃まで3サイクル温度変化させる動作試験
防塵	連続6時間（風速8.9m/s、濃度10.6g/m ³ ）の粉塵試験
風雨	降雨量1.7mm/min、6方向各30分間の降雨試験、風速18m/s環境下で30分間の降雨試験
雨滴	高さ1m雨滴（15分）の防水試験
塩水噴霧	連続24時間の5%塩水噴霧後、24時間乾燥させる塩水耐久試験
湿度	連続10日間（95%RH）の高温湿度試験
氷結・結露	-10℃で結露や霧を発生させ1時間維持し、25℃、95%RHで動作を確認する試験
氷結・低温雨	-10℃の環境下で着氷した氷の厚さが6mmになるまで氷結させる試験
浸漬	約1.5mの水中に30分間浸漬する試験
低温動作	-21℃で連続3時間の低温動作試験
低温保管	-30℃で連続4時間の低温保管試験
高温保管(1)	60℃で連続4時間の高温耐久試験
高温保管(2)	30℃～60℃まで変化させる高温耐久試験
温度耐久・温度衝撃	-21～50℃の急激な温度変化で連続3時間の温度耐久試験
太陽光照射	連続20時間1,120W/m ² の日射後、4時間offを10日間繰り返す試験
低圧動作	連続2時間（57.2kPa/高度約4,572m相当）の低圧動作試験
低圧保管	連続2時間（57.2kPa/高度約4,572m相当）の低圧保管試験

■ 京セラ独自試験 項目

コンクリート落下	高さ約1.8mからコンクリートに26方向で落下させる試験
タンブル落下	高さ約1.0mから500回連続落下させる試験
鋼球落下	約100gの鋼球を1mの高さからディスプレイ面（中央）に落下させる試験
L型金具落下	高さ約1.5mからL字型鉄アングルに落下させる試験
耐荷重	ボディ全体に約100kgfの面荷重を均等にかかる試験
高温保管(1)	70℃で連続4時間の高温耐久試験
高温保管(2)	30℃～70℃までの温度変化させる高温耐久試験
高温動作	60℃で連続3時間の動作試験
泡ハンドソープ洗浄	泡ハンドソープでの手洗い・すすぎの洗浄サイクル試験
耐薬品	消毒用として市販されているイソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムを少量含ませた柔らかい布での拭き取り試験

- すべての状況での動作を保証するものではありません。お客さまの取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての注意事項

- 電池パック、SIMカード／microSDメモリーカードトレイをしっかり閉じてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
- 手や本製品が濡れている状態での電池パックの取り扱い、または取り外し／取り付けは絶対にしないでください。
- 水道水以外の液体（海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など）に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。
かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- 柔らかい布にイソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムを付け拭くことができます。
※ お手入れのしかたについて詳しくは「お手入れのしかた」（▶P.12）をご参照ください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口（マイク）、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入したりすると発熱や故障の原因となります。
- 水中で使用しないでください。
- お風呂、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。

- 外部接続端子に水が残っている場合は、外部接続端子を使用しないでください。
- 送話口（マイク）、受話口、スピーカーに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
- 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- 本製品は水に浮きません。

● 電池パックについて

- 電池パックは、電池パックに装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 電池パックを取り外し、取り付けたりする際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。電池パックを閉じる際、わずかも水漏れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- 電池パックに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。

● 電池パックの取り付けかた

- 電池パックの取り付けかたについては、「電池パックを取り付ける」（▶P.17）をご参照ください。

● 水に濡れた後は

- 水濡れ後は、電池パックがしっかり取り付けられた状態で水抜きを行い、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
その後、本体側の電池パック専用コネクタおよび電池パック側の接続端子に水が入らないように、電池パックを慎重に取り外し、隙間に残った水分を、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- 寒冷地では本体に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

● 水以外が付着した場合

- 柔らかい布にイソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムを付け拭くことができます。
※ お手入れのしかたについて詳しくは「お手入れのしかた」（▶P.12）をご参照ください。
- 万一、水以外（海水・洗剤など）が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。水で洗い流す際は、電池パックをしっかりと取り付けて、防水性能を維持した状態で行ってください。
- やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
- 汚れた場合、ブラシなどは使用せず、SIMカード／microSDメモリーカードトレイが開かないように押さえないで手で洗ってください。

● ゴムパッキンについて

- 電池パックを取り外した際、本体側にあるゴムパッキンは防水性能を維持するために大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。
- 電池パックを取り付ける際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 水以外の液体が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。
- 電池パックの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷ついたりするおそれがあり、浸水の原因となります。
- 防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。

● 耐熱性について

- 熱湯に浸けたり、熱湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

● 防塵について

- 塵埃が本製品に付着したときには、直ちに水で洗い流すなどして完全に塵埃を除去してからご使用ください。水で洗い流す際は、電池パックをしっかりと取り付けて、防水性能を維持した状態で行ってください。
- 水濡れ後は、電池パックがしっかり取り付けられた状態で水抜きを行い、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
その後、本体側の電池パック専用コネクタおよび電池パック側の接続端子に水や塵埃が入らないように、電池パックを慎重に取り外し、隙間に残った水分や塵埃を、乾いた清潔な布で拭き取ってください。

● 衝撃について

- 本製品は耐衝撃性能を有しておりますが、日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をしたりするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。

充電のときは

付属品、オプション品は防水／防塵／耐衝撃性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本製品が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本体が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取り、常温で1時間以上放置して乾燥させてから充電してください。
- 濡れた手で充電用機器（別売）に触れないでください。感電の原因となります。
- 充電用機器（別売）は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。
- 外部接続端子に水滴や異物が付着した場合は、しっかりと取り除いてください。また、水滴や異物が入っていないことをご確認の上、ご使用ください。詳しくは「水に濡れた後は」（P.11）および「水以外が付着した場合」（P.11）をご参照ください。

■ お手入れのしかた

本製品の汚れは次の手順で泡ハンドソープやアルコールなどを使用してお手入れできます。

- 電池バックを取り外した状態の本製品と電池バックは防水性能がありませんので、水や洗剤で洗わないでください。

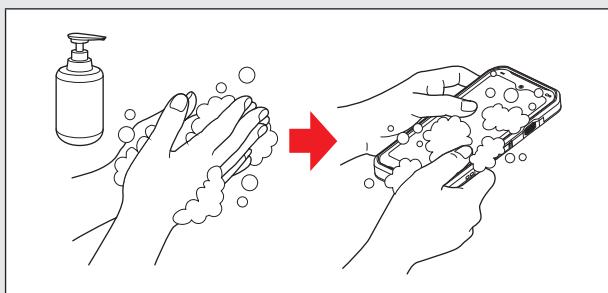
■ 泡ハンドソープ／泡ボディソープを使用する場合

- 市販のアクセサリ商品（ストラップなど）は取り外してください。なお、市販のアクセサリ商品の取り扱いについては、各商品の注意事項をご確認ください。
※ 市販の保護シートは剥がれる場合があります。
- 国内メーカー製の泡タイプのハンドソープ／ボディソープをご使用ください。種類の異なる泡ハンドソープ／泡ボディソープは混ぜないでください。
キッチン用・業務用・無添加・アルカリ性のハンドソープ、業務用・無添加・アルカリ性のボディソープや石けん、洗剤、入浴剤、シャンプー、リンス、洗顔料、メイク落とし、歯磨き粉などを使用しないでください。付着した場合にはすぐに水で洗い流してください。
- 耐水压設計ではないので高い水压を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 泡ハンドソープ／泡ボディソープのすすぎ残しによる石鹸カスが目立つ場合には、1.5%程度に薄めたクエン酸液（クエン酸1.5gに水100ml）をしみ込ませた綿棒などで拭き取ってください。その後再度すすぎを実施して、クエン酸が残らないようにしてください。

1 ケーブル類をすべて取り外して、本製品の電源を切る

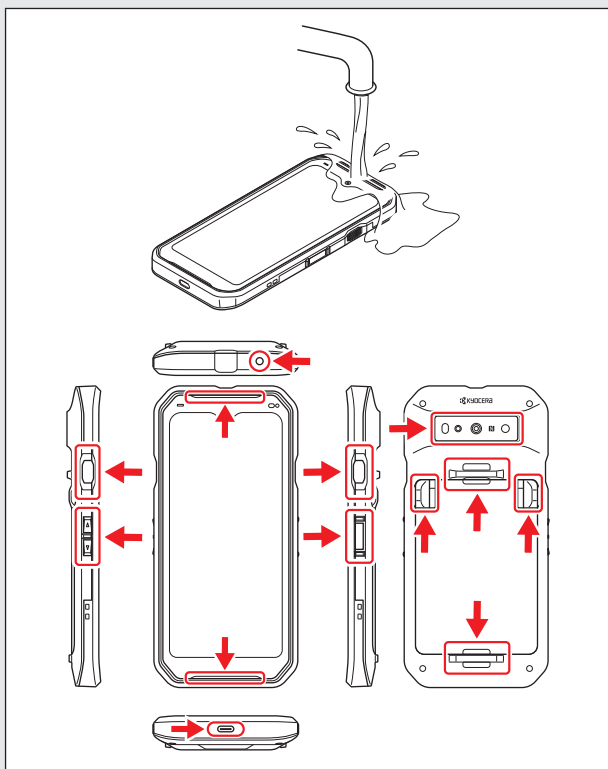
- 電源の切りかたについて詳しくは「電源を切る」(▶P.20)をご参照ください。

2 手を洗って水分を拭き取り、泡ハンドソープ／泡ボディソープを手のひらにのせて十分に泡立ててから本製品を持ち、正面と背面を同じ強さでこすられるように洗う



3 正面、背面、各ボタンをハンドソープ／ボディソープの泡が完全になくなるまですすぐ

- 電池バックを閉じたまま、やや弱めの水流（6リットル／分以下）で以下の箇所（→）を約30秒洗い流します。
- 泡が残っていると故障の原因になりますので、泡がなくなるまでよく洗い流してください。



4 送話口（マイク）・受話口・スピーカー・外部接続端子・イヤホンマイク端子などの穴部の水抜きを十分に行う

- 水抜きについて詳しくは「水に濡れたときの水抜きについて」(▶P.12)をご参照ください。

5 十分に乾燥させて、水滴が残っていないことを確認する

- 本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
- 乾燥について詳しくは「水に濡れたときの水抜きについて」(P.12)をご参照ください。

■ アルコールを使用する場合

- 市販のアクセサリ商品（ストラップなど）は取り外してください。なお、市販のアクセサリ商品の取り扱いについては、各商品の注意事項をご確認ください。
※ 市販の保護シートは剥がれる場合があります。
- お手入れの際は電池バックがしっかり閉じていることを確認してください。

1 ケーブル類をすべて取り外して、本製品の電源を切る

電源の切りかたについて詳しくは「電源を切る」(▶P.20)をご参照ください。

2 糸くずの出ない柔らかい布にイソプロピルアルコール(99.7%以下)やエタノール(99.5%以下)、次亜塩素酸ナトリウム(1.0%以下)を少量含ませ、本製品を拭き取る

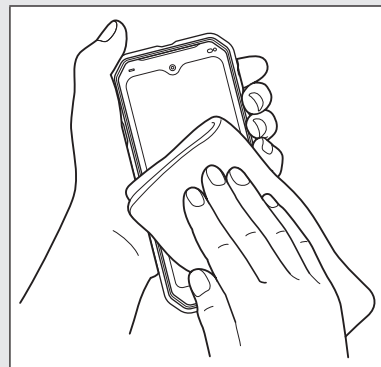
- ※ イソプロピルアルコール(99.7%以下)、エタノール(99.5%以下)、次亜塩素酸ナトリウム(1.0%以下)は消毒用として販売されているものを、それぞれの取扱説明書をよく読んでお使いください。誤った使いかたは人体への影響や引火などの恐れがあります。

■ 水に濡れたときの水抜きについて

本製品が水に濡れた場合、必ず送話口（マイク）・受話口・スピーカー・電池バック部の水抜きをしてください。そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。

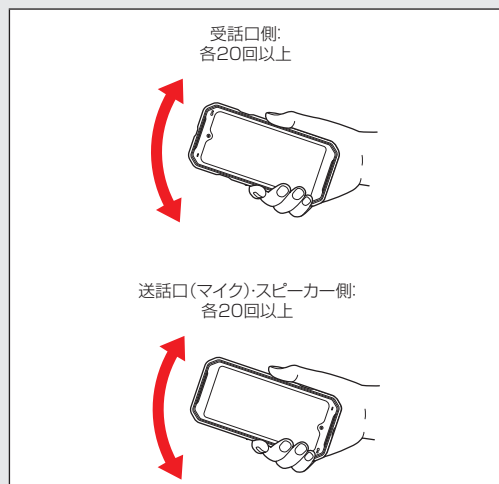
次の手順で水抜きを行ってください。

1 本製品表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取る

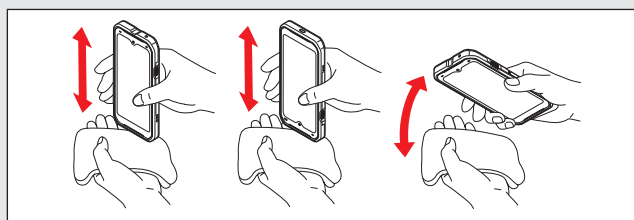


2 本製品をしっかりと持ち、水が出なくなるまで矢印の方向に振る

- ※ 振る際は周りに危険がないことを確認してください。
- ※ 本製品が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。



3 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当て、送話口（マイク）・外部接続端子部・イヤホンマイク端子・受話口・スピーカー・電池バック部などの隙間に入った水分を拭き取る



4 本製品から出た水分を十分にに取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させる

- 上記手順を行った後でも、本製品に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。
また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。
- 本製品の電源を入れるときは、特に外部接続端子の内部に水滴がないことを確認してから電源を入れてください。水滴が付着したまま電源を入れると、外部接続端子が破損する可能性があります。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)／無線LAN(Wi-Fi HaLow™)機能について

- ・本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格に準拠し、認定を取得しています。
- ・一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- ・本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内規格、FCC規格に準拠し、認定を取得しています。
- ・一部の国／地域では無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- ・本製品の無線LAN(Wi-Fi HaLow™)機能は日本国内規格に準拠し、認定を取得しています。
- ・無線LAN(Wi-Fi HaLow™)機能は、日本以外の国／地域では利用できません。
- ・無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- ・電気製品・AV・OA機器などの磁気帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- ・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- ・近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- ・通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

IEEE802.11ah
IEEE802.11b/g/n/ax
IEEE802.11a/n/ac/ax
W52 W53 W56
IEEE802.11ax
6L

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. ワン、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

memo

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客さまの判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ◎ Bluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断されることがあります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

- ・Bluetooth®機能: 2.4FH1/XX4



本製品は2.4GHz帯を使用します。FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。XX4はその他の方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。

移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

- ・無線LAN(Wi-Fi®)機能: 2.4DS4/OF4



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。航空機内での使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されています。

本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

- ・W52 (5.2GHz帯/36, 40, 44, 48ch)
- ・W53 (5.3GHz帯/52, 56, 60, 64ch)
- ・W56 (5.6GHz帯/100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140, 144ch)

6GHz帯ご使用上の注意

本製品は、6GHz帯無線LANの周波数帯においては、6L:5925-6425MHzを使用することができます。

(6L:1, 5, 9, 13, 17, 21, 25, 29, 33, 37, 41, 45, 49, 53, 57, 61, 65, 69, 73, 77, 81, 85, 89, 93ch)

- ・本製品対応のIEEE802.11axは、2.4GHz/5GHz/6GHzの周波数帯に対応しています。

6GHzの送信電力クラスはLP(Low Power Indoor)とVLP(Very Low Power)に対応しています。

LPIモードで動作する6GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています。ただし、VLPモードのアクセスポイントに接続する場合は利用が可能です。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。

確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、「許可」／「許可しない」をタップしてください。

- ・アプリ／機能によっては「アプリの使用時のみ」「今回のみ」などが表示される場合があります。

例: 音声レコーダーを初めて起動した場合

1 アクセス権限の確認画面→「許可」／「許可しない」

通常は「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。

利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

アプリごと／機能ごとに設定する

■ アプリごとに設定する場合

1 ホーム画面→[🔍]→[アプリ]

2 [すべてのアプリ]

表示される項目は、端末の状態によって異なります。

3 アプリを選択→[権限]→機能を選択→「アプリの使用時のみ許可」／「毎回確認する」／「許可する」／「許可しない」などをタップ

■ 機能ごとに設定する場合

1 ホーム画面→[🔍]→[セキュリティとプライバシー]→[プライバシー管理]

2 [権限マネージャー]→機能を選択→アプリを選択→「アプリの使用時のみ許可」／「毎回確認する」／「許可する」／「許可しない」などをタップ

memo

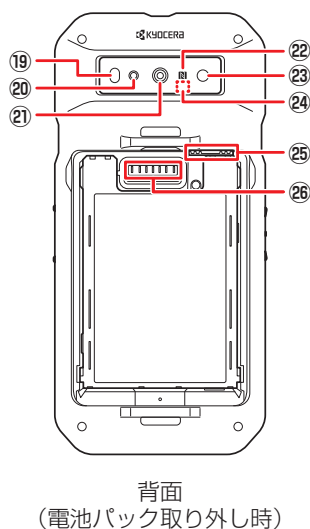
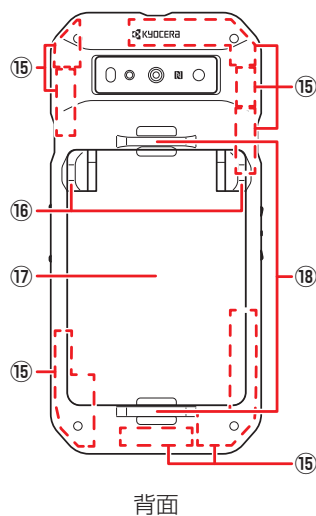
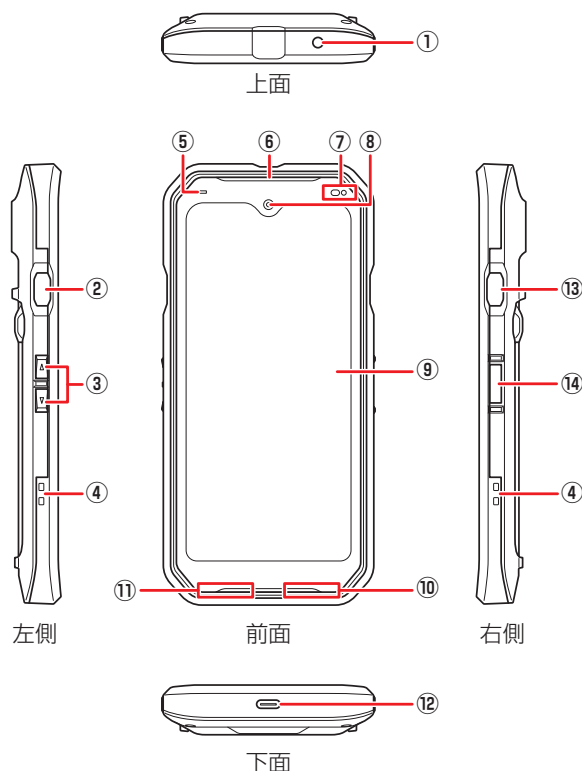
- ◎ 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- ◎ アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- ◎ 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

ご利用の準備

ご利用の準備	16
各部の名称と機能	16
電池パックを取り外す／取り付ける	17
電源を入れたまま電池パックを交換する	17
SIMカードを取り付ける／取り外す	18
充電する	19
電源を入れる／切る	20
スタート画面について	20
初期設定を行う	21

ご利用の準備

各部の名称と機能



- ① イヤホンマイク端子
- ② ダイレクトボタン左
1回押し、2回押し、長押しの操作を行うとそれぞれに設定した機能が動作します。
- ③ 音量上/下ボタン
- ④ ストラップ取付部
- ⑤ 着信/充電ランプ
充電中は赤色で点灯します。
- ⑥ 受話口
通話中の相手の方の声が聞こえます。
- ⑦ 近接センサー/光センサー
近接センサーは通話中に顔の接近を検知してタッチパネルの誤操作を防ぎます。
また、光センサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。
- ⑧ インカメラ
- ⑨ ディスプレイ(タッチパネル)
- ⑩ スピーカー
着信音、音楽、アラーム音などが聞こえます。
- ⑪ 送話口(マイク)
通話中に自分の声を伝えたり、通話音声の録音時に使用したりします。通話中や動画の録画中は、送話口(マイク)を指などで覆わないようにご注意ください。
- ⑫ 外部接続端子
充電用機器(別売)などの接続時に使用します。
- ⑬ ダイレクトボタン右
1回押し、2回押し、長押しの操作を行うとそれぞれに設定した機能が動作します。
- ⑭ 電源ボタン/指紋センサー
スリープモードの移行/解除をします。
画面が表示されるまで長押しして電源を入れます(▶P.20)。
電源が入っている状態で1秒以上押すとメニューが表示され、「緊急通報」「電源を切る」「再起動」「スクリーンショット」「バッテリー交換」などの操作ができます。
指紋を登録している場合は、指紋認証での画面ロック解除ができます。
- ⑮ 内蔵アンテナ部*
- ⑯ 電池ロック
- ⑰ 電池バック
- ⑱ ハンドベルトホール
- ⑲ ToFセンサー
- ⑳ LEDエイマー
- ㉑ アウトカメラ
- ㉒ NFC マーク
- ㉓ 撮影ライト/ライト
- ㉔ サブマイク
- ㉕ SIMカード/microSDメモ리카ードトレイ
- ㉖ 電池バック専用コネクタ

* アンテナ部付近を手で覆ったり、シールなどを貼ったりしないでください。通話/通信品質に影響を及ぼす場合があります。

memo

- ◎ 近接センサー/光センサーや電源ボタン/指紋センサーの上にシールなどを貼らないでください。
- ◎ 通話中に近接センサーの位置が顔からずれると、保留やミュート状態などの誤動作の原因となります。通話時は近接センサーの位置を耳付近に合わせた状態でご利用ください。

電池パックを取り外す／取り付ける

電池パックは、本製品専用の電池パック LBS703をご利用ください。

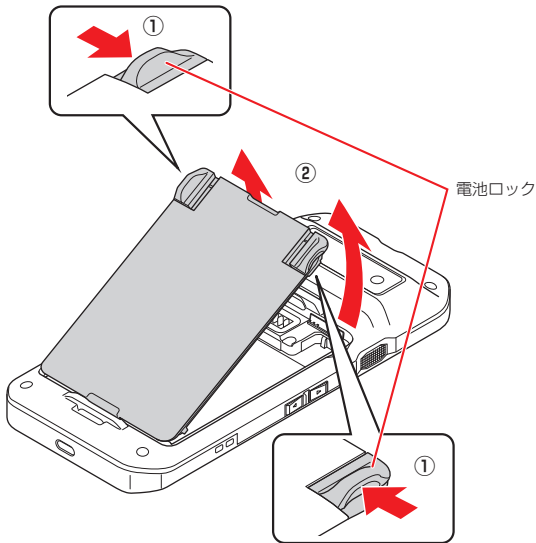
- 本体から取り外した状態の電池パックは防水性能を有していません。
- 背面を上向きに行ってください。

電池パックを取り外す

- 電池パックの取り外し時は、電源を切ってください。
- 電源を入れたまま電池パックの交換を行うこともできます(▶P.17)。

1 電池パックを取り外す

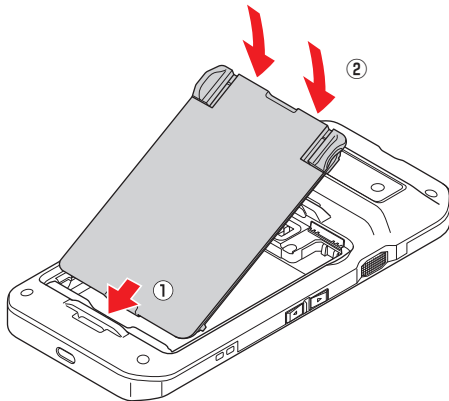
電池ロックを2箇所同時に押しながら(①)、矢印の方向に持ち上げて取り外します(②)。



電池パックを取り付ける

1 電池パックを取り付ける

電池パックの先端部分を矢印の方向に差し込んで(①)、「カチッ」と音がするまで電池パックを押し込んでください(②)。



memo

- ◎ 電池パックを取り外すときに、ドライバなどの工具を使用しないでください。電池パックが破損するおそれがあります。

電源を入れたまま電池パックを交換する

1 電源ボタンを長押し

2 [バッテリー交換]

内蔵電池の状態によって、電池パックが交換可能かを確認できます。

- 「現在安全にバッテリー交換が可能です。」と表示された場合は電源を入れたまま電池パックを交換することができます。
- 内蔵電池の状態が電力不足や極端な高温・低温の場合は、交換中に電源が切れる可能性があります。安全に交換できる状態になってから電池パックを交換してください。

3 [OK]

4 新しい電池パックに交換する(▶P.17)

- 電池パック取り外し後、1分以内に新しい電池パックに交換してください。1分以内に交換が完了しない場合は電源が切れます。未保存のデータが失われる可能性がありますのでご注意ください。
- 電池パック交換中はLEDが青色に点灯します。
- 電池パック交換中は画面が暗くなり、操作ができなくなります。また一部の機能を停止することがあります。

memo

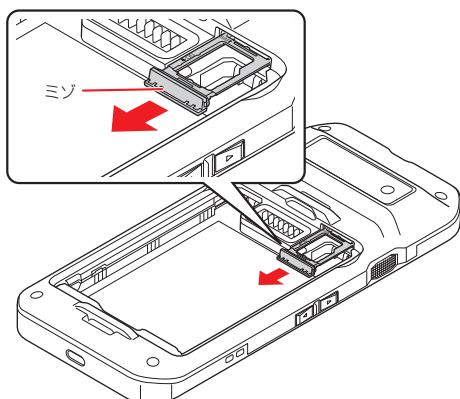
- ◎ 電池パック交換後は自動で交換前の状態に復帰し、正常に電池交換されたことが通知に表示されます。
- ◎ 電池パック交換中に強制終了された場合は、次の端末起動時に正常に電池交換が行われなかったことが通知に表示されます。
- ◎ 電池パック交換中のアプリの使用状況によって1分経過を待たずに強制終了する場合があります。電池パック交換前にデータの保存やアプリの停止をおすすめします。
- ◎ 電池パック交換中はデータの紛失やシステムエラーを防ぐため、外部接続端子からケーブルや機器を取り外し、SIMカード／microSDメモリカードトレイの抜き差しはしないでください。
- ◎ microSDメモリカードを保存先に設定している場合は、電池パック交換中に保存先などの設定が変更されることがあります。電池パック交換後は再度アプリごとに保存先を設定してください。
- ◎ 内蔵電池が劣化している場合はメッセージが表示されます。電池パック交換をすることはできませんが、内蔵電池の交換をおすすめします。内蔵電池の交換については、京セラのホームページからお問い合わせください。
- ◎ 内蔵電池に異常が発生している場合は電池パック交換をすることができません。内蔵電池の状態確認については「内蔵電池の状態を確認する」(▶P.56)をご参照ください。
- ◎ 電池パック交換は高温・低温では行えません。温度は5℃～35℃の範囲でご利用ください。
- ◎ 交換する電池パックの端子が汚れやほこりでおおわれている場合は、電池パックの接続端子を慎重に乾いた布で拭き取ってください。

SIMカードを取り付ける／取り外す

SIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切って、背面を上向きにし、電池パックを取り外してから行ってください(▶P.17)。取り付け／取り外しが終わったら、電池パックを取り付けてください(▶P.17)。

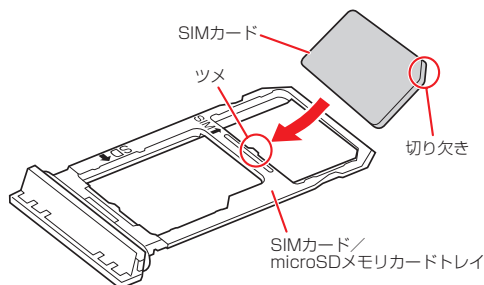
SIMカードを取り付ける

- 1 電池パックを取り外す(▶P.17)
- 2 SIMカード／microSDメモ리카ードトレイをまっすぐに引き出す
SIMカード／microSDメモ리카ードトレイのミゾに指先をひっかけて引き出して
ください。



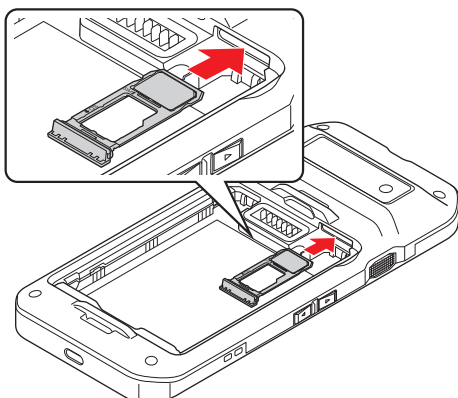
3 SIMカードを取り付ける

SIMカードの切り欠きの位置に注意して、IC(金属)部分が下になるように取り付けてください。
誤った向きで取り付けた場合、SIMカードが落下したり、本製品の破損・故障の原因となることがあります。
SIMカード／microSDメモ리카ードトレイのツメ部分が破損しないように、SIMカードを矢印の方向へ滑り込ませてください。
SIMカードがSIMカード／microSDメモ리카ードトレイから浮かないように、しっかりと取り付けてください。



4 SIMカード／microSDメモ리카ードトレイを本体に差し込んで、奥までまっすぐ押し込む

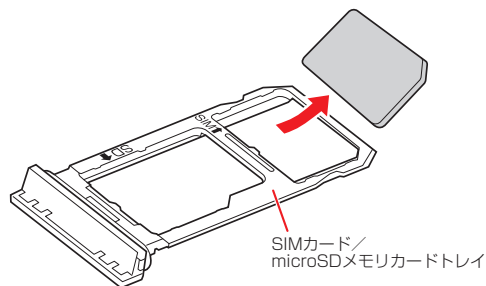
矢印の方向に、ゆっくりと水平に差し込んでください。
SIMカード／microSDメモ리카ードトレイの向きに注意してください。
誤った向きで差し込んだ場合、SIMカードが落下したり、本製品の破損・故障の原因となることがあります。



5 電池パックを取り付ける(▶P.17)

SIMカードを取り外す

- 1 電池パックを取り外す(▶P.17)
- 2 SIMカード／microSDメモ리카ードトレイをまっすぐに引き出す
(▶P.18)
- 3 SIMカードを取り外す



- 4 SIMカード／microSDメモ리카ードトレイを本体に差し込んで、奥までまっすぐ押し込む(▶P.18)
- 5 電池パックを取り付ける(▶P.17)

充電する

お買い上げ時の電池パックは十分に充電された状態ではありません。必ず充電してからお使いください。赤色に点灯していた充電ランプが緑色に変わったら充電完了です。

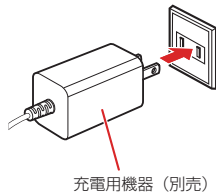
memo

- ◎ 充電用機器(別売)は、防水対応していません。本製品が濡れているときは、絶対に充電しないでください。
- ◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- ◎ 周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電が停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
- ◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
- ◎ 充電用機器(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電/放電を繰り返す場合があります、電池のもちが悪くなります。
- ◎ 本製品の充電ランプが赤色に点滅したときは、接続などが正しいかご確認ください。
- ◎ 外部接続端子に金属製のアクセサリや導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。

ACアダプタを使って充電する

充電用機器(別売)を接続して充電する方法を説明します。

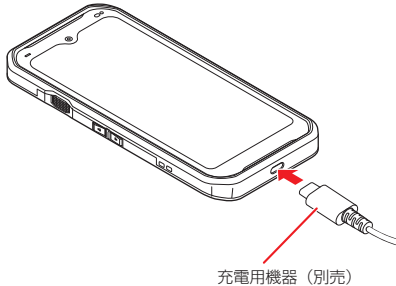
1 充電用機器(別売)の電源プラグをコンセント(AC100V~240V)に差し込む



充電用機器 (別売)

2 充電用機器(別売)のUSB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込む

USB Type-Cプラグは表裏どちらの向きでも差し込むことができます。本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに「**1**」が表示されます。充電が完了すると、充電ランプの色が緑色に変わります。



充電用機器 (別売)

3 充電が完了したら、外部接続端子から充電用機器(別売)のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜く

4 充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

memo

- ◎ 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。

パソコンを使って充電する

USB Type-Cケーブル(市販品)を利用して、本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

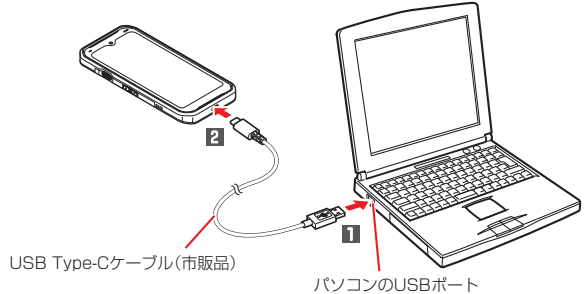
1 パソコンが完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル(市販品)をパソコンのUSBポートに接続

2 USB Type-Cケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込む

USB Type-Cプラグは表裏どちらの向きでも差し込むことができます。本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。

充電が完了すると、充電ランプの色が緑色に変わります。

- ・本製品に「ファイル転送を有効にする」と表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。
- ・パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。



USB Type-Cケーブル(市販品)

パソコンのUSBポート

3 充電が完了したら、USB Type-Cケーブル(市販品)を外部接続端子とパソコンから取り外す

memo

- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。
- ◎ 充電用機器(別売)での充電と比べて時間が長くなることがあります。また、お使いのパソコンによっても充電時間は変動します。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源ボタンを長押し

スタート画面が表示されます(▶P.20)。

- ・はじめて本製品の電源を入れるときは、電源ボタンを5秒以上長く押してください。
- ・初めて電源を入れたときは、初期設定が起動します。「初期設定を行う」(▶P.21)を参照して、必要に応じて設定を行ってください。
- ・電源を入れてから電源ボタンを押したり、一定時間何も操作しないと、画面が消灯します。
- ・画面消灯時に電源ボタンを押すと画面が点灯し、スタート画面が表示されます。

memo

- ◎ 電源を入れてから各種ロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しない場合があります。

電源を切る

1 電源ボタンを長押し

2 「電源を切る」

「再起動」や「緊急通報」、「ロックダウン」などの操作も行うことができます。

※「ロックダウン」は画面ロックの解除方法(▶P.58)を「パターン」／「ロックNo.」／「パスワード」に設定したときに利用できます。

memo

- ◎ 「ロックダウン」をタップすると、ロック解除延長や指紋認証による認証操作、ロック画面の通知表示を無効にすることができます。
- ◎ ステータスバーを下にスライド→通知パネルを下にスライド→[🔋]→[電源を切る]と操作しても電源を切ることができます。

強制的に電源を切り再起動する

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切り再起動することができます。

1 電源ボタンと音量上ボタンを同時に11秒以上長押し

memo

- ◎ 強制的に電源を切り再起動すると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

セーフモードで起動する

セーフモードとは、なんらかの不具合により本製品に問題が生じたときのための診断用の起動モードです。

1 電源ボタンを長押し

2 「電源を切る」／「再起動」をロングタッチ→[OK]

電源が切れ、自動的にセーフモードで再起動します。

セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。

- ・セーフモードを起動するときは、事前に必要なデータをバックアップしてください。
- ・お客さまご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
- ・セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合はセーフモードを起動しないでください。

memo

- ◎ 電源が切れているときは、着信ランプが点灯するまで電源ボタンを長押し→DuraForce EX2ロゴが表示されたら音量下ボタンを押し続けると、本製品をセーフモードで起動することができます。
- ◎ セーフモードを解除するには、再起動します。

スタート画面について

スタート画面は、電源を入れたときやスリープモードを解除したときに表示されます。

スタート画面からホーム画面を表示する

スタート画面が表示されたときは、次の操作でホーム画面を表示できます。

1 「🔍」を上へスライド

ホーム画面が表示されます(▶P.25)。またはスリープモードに移行する前の画面が表示されます。

- ・画面に「🔒」が表示されている場合は、画面ロックの解除方法(▶P.58)が「パターン」／「ロックNo.」／「パスワード」に設定されています。セキュリティロックを解除するとホーム画面が表示されます。
- ・ロック解除延長(▶P.58)が設定されている状態で一時的にロックが解除されているときは、「🔒」が表示され、ロック解除延長で設定しているセキュリティ解除方法が実行されます。
- ・指紋認証(▶P.28)を登録している場合は、指紋センサーに触れてセキュリティを解除できます。



① 時計／日付表示

② 通知表示

不在着信などのお知らせを表示します。

- ・通知をタップすると通知されたアプリを起動します。

③ ショートカット

左右にスワイプして「ショートカット」に設定した機能を起動します(▶P.56)。

memo

- ◎ 画面ロックの解除方法(▶P.58)が「なし」の場合は、スタート画面は表示されません。
- ◎ 背景を変更したい場合は「壁紙を変更する」(▶P.25)をご参照ください。

スリープモードについて

画面のバックライト点灯中に電源ボタンを押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。次の操作を行うと、スリープモードを解除できます。

1 スリープモード中に電源ボタン

スタート画面が表示されます(▶P.20)。

memo

- ◎ スリープモードに移行するまでの時間を変更するには、ホーム画面→[🔋]→[ディスプレイ]→[画面消灯]と操作して、時間を選択します。
- ◎ スリープモード中に電源ボタンを押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

初期設定を行う

初めて本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って、各機能の設定を行います。

- 設定を行わない場合は、各操作で「スキップ」「次へ」などをタップした後、画面の指示に従って操作してください。

1 「日本語(日本)」が表示されていることを確認して[開始]

- 「日本語(日本)」をタップすると、使用する言語を変更できます。

2 Wi-Fi®ネットワークを設定

3 本製品をセットアップする

- すでにご使用の端末からGoogle アカウントやアプリなどのコピーができます。

4 Google アカウントの設定などを画面に従い行う

Google アカウントをセットアップする

Google アカウントのセットアップ画面は、Google アカウントが必要なアプリを初めて起動したときなどに表示されます。

1 Google アカウントのセットアップ画面

2 メールアドレスまたは電話番号を入力→[次へ]

3 パスワードを入力→[次へ]

4 画面の指示に従って操作

- Google アカウントをお持ちではない場合は、「アカウントを作成」をタップし、以降は画面に従ってGoogle アカウントを登録してください。



memo

- ◎ Google アカウントをセットアップしない場合でも本製品をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- ◎ ログインするためにはGoogle アカウントおよびパスワードが必要です。

基本操作

基本操作	24
タッチパネルの使いかた.....	24
ナビゲーションバーの使いかた.....	24
縦／横画面表示を切り替える.....	24
ホーム画面を利用する.....	25
アプリを起動する.....	26
アプリ一覧のメニューを利用する.....	26
本製品の状態を知る.....	26
最近使用したアプリを起動する.....	27
マルチウィンドウを利用する.....	27
マナーモードを設定する.....	27
メニューを表示する.....	27
スクリーンショットを撮影する.....	27
アプリのショートカット機能を利用する.....	27
他のモバイル機器を充電する.....	28
指紋認証機能	28
指紋認証機能のご利用にあたって.....	28
指紋を登録する.....	28
指紋認証を行う.....	28
顔認証機能	29
顔認証機能のご利用にあたって.....	29
顔を登録する.....	29
顔認証を行う.....	29
文字入力	29
文字を入力する.....	29
文字入力の便利な機能を利用する.....	30
ソフトウェアキーボードの設定を行う.....	30

基本操作

タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

・以下の場合にはタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- シート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)やシールなどを貼った操作
- 水中での操作

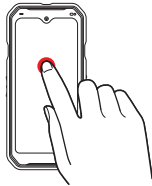
■ タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



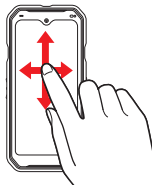
■ ロングタッチ

項目やボタンなどに指を触れた状態を保ちます。



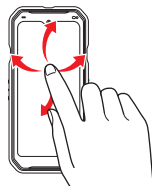
■ スライド／スワイプ

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



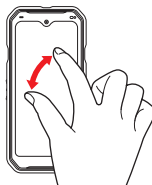
■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはうように操作します。



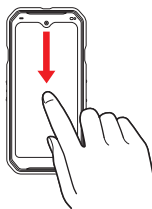
■ ズームイン／ズームアウト

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり(ズームイン)、閉じたり(ズームアウト)します。



■ ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



memo

- ◎ 本製品は画面や手が多少濡れていたり、手袋を着用したりした状態でもタッチ操作ができます(ウェットタッチ/グローブタッチモード)。
- ◎ 手袋を着用した状態でのタッチ操作が可能ですが、手袋の厚み・素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。
 - ・手袋に水滴が付着している状態でタッチ操作ができない場合は、水滴を拭き取ってください。
 - ・指先がフィットしていない手袋でのタッチ操作ができない場合は、指の腹をディスプレイに当てるように操作してください。
 - ・手袋を着用した状態でのタッチ操作と素手のタッチ操作を同時に行った時は素手のタッチ操作を優先します。

ナビゲーションバーの使いかた

本製品はホーム画面の表示やアプリの切り替えをフリックやスワイプなどの操作で行います。

上にフリック:

ホーム画面を表示します。

上にスワイプして指を止める:

最近使用したアプリの一覧を表示します。(▶P.27)

右にフリック:

1つ前の画面に戻ります。

「ナビゲーション モード」(▶P.57)を「3ボタン ナビゲーション」に設定すると、画面下部のボタンをタップして、ホーム画面の表示やアプリの切り替えなどの操作をすることもできます。

縦／横画面表示を切り替える

「画面の自動回転」を有効に設定すると、本製品の向きに合わせて、自動的に縦／横画面表示を切り替えることができます。

- 1 ホーム画面→[]→[ディスプレイ]→「画面の自動回転」を有効にする



memo

- ◎ 本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。
- ◎ アプリによっては、本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は、複数の画面で構成されており、左右にスライド／フリックすると画面を切り替えることができます。



《ホーム画面》

- ① ステータスバー
- ② ショートカット／フォルダ
- ③ クイック起動エリア

クイック起動エリアを利用する

クイック起動エリアにはよく使うアプリが表示されます。お買い上げ時は、「☎」(電話)・「💬」(メッセージ)・「🌐」(Chrome)・「📷」(カメラ)・「⚙️」(設定)が登録されています。クイック起動エリアのアプリは、ホーム画面のどの画面でも表示されます。

クイック起動エリアにアプリを追加する

- 1 ホーム画面→アプリをロングタッチ
- 2 クイック起動エリアにアプリをドラッグして、指を離す

memo

- ◎ 表示しているクイック起動エリアに空きスペースがない場合などは追加できません。
- ◎ クイック起動エリアのアプリを削除(非表示)するには、「アプリ／ウィジェットを削除する」(▶P. 25)をご参照ください。
- ◎ クイック起動エリアのアプリを移動するには、アプリをロングタッチ→移動する位置にドラッグして指を離す、と操作してください。
- ◎ クイック起動エリアにフォルダを作成することもできます。アプリをロングタッチ→ドラッグして他のアプリに重ねてください。
- ◎ 「候補」(▶P.25)の「アプリ」がオンの場合にアプリを削除(非表示)や移動すると、本製品の使用状況などに応じて候補のアプリが表示されます。

壁紙を変更する

- 1 ホーム画面→空きスペースをロングタッチ→[壁紙とスタイル]→[壁紙の変更]
- 2 [マイフォト]／[コンセプト]／[サステナブル]／[モノトーン]／[プレーン]→壁紙を選択

以降は、画面の指示に従って操作してください。
・「マイフォト」をタップすると、本製品やmicroSDメモリカードに保存されている画像を壁紙に設定できます。

memo

- ◎ ホーム画面→[🔍]→[壁紙とスタイル]→[壁紙の変更]と操作しても壁紙を変更できます。

アプリ／ウィジェット／フォルダを利用する

アプリ、ウィジェット、フォルダをホーム画面に追加／移動／削除(非表示)することができます。

ウィジェット／フォルダを追加する

ウィジェットを追加する場合

- 1 ホーム画面→空きスペースをロングタッチ→[ウィジェット]
- 2 ウィジェットの種別をタップ→ウィジェットをロングタッチ→追加する位置にドラッグして、指を離す
・以降は、画面の指示に従って操作してください。

フォルダを追加する場合

- 1 アプリをロングタッチ→ドラッグして他のアプリに重ねる
フォルダが作成されます。

memo

- ◎ 表示しているホーム画面に空きスペースがない場合などは追加できません。
- フォルダについて
 - ◎ フォルダを選択→フォルダ名をタップ→フォルダ名を入力すると、フォルダ名を変更できます。
 - ◎ フォルダを選択→アプリをロングタッチ→フォルダの外にドラッグすると、アプリをフォルダから移動できます。
 - ◎ アプリが1つになると、フォルダ表示は解除されます。

アプリ／ウィジェット／フォルダを移動する

- 1 移動するアプリ／ウィジェット／フォルダをロングタッチ
- 2 移動する位置にドラッグして、指を離す

アプリ／ウィジェットを削除する

- 1 削除するアプリ／ウィジェットをロングタッチ
- 2 画面上部の「削除」にドラッグして、指を離す

ホーム画面を設定する

- 1 ホーム画面→空きスペースをロングタッチ→[ホームの設定]
ホーム設定画面が表示されます。

2	通知ドット	通知設定画面が表示されます。「アプリアイコン上の通知ドット」を有効にすると、アプリの通知があるときにホーム画面のアイコンの右上にドットで通知されます。
	ホーム画面にアプリのアイコンを追加	新しいアプリをダウンロードしたときに、ホーム画面にアイコンを追加するかどうかを設定します。
	Googleアプリの表示	ホーム画面を右にスライド／フリックしたときにGoogleアプリを表示するかどうかを設定します。
	候補	クイック起動エリアやアプリ一覧の画面上部に、本製品の使用状況などに応じて候補のアプリを表示するかどうかを設定します。

ホームアプリを切り替える

お客さまがホームアプリのインストールを行った場合は、本製品のホームアプリを切り替えることができます。

- 1 ホーム画面→[🔍]→[ホーム切替]→ホームアプリを選択

memo

- ◎ ホーム画面→[🔍]→[アプリ]→[デフォルトのアプリ]→[ホームアプリ]→ホームアプリを選択と操作しても、ホームアプリを切り替えられます。

シンプルホームを利用する

シンプルホーム画面は、複数の画面で構成されており、左右にスライド／フリックすると画面を切り替えることができます。



《メインホーム画面》

《ホーム画面(右)》

① ステータスバー

② 検索

③ 日付／時刻

④ アプリ／フォルダ

インストールされているアプリのアイコン／フォルダが表示されます。

⑤ ワンタッチボタン

よく使う連絡先を登録できます。

⑥ インジケータ

ホーム画面を設定する

1 ホーム画面→空きスペースをロングタッチ→[ホームの設定]
設定画面が表示されます。

2 通知件数の表示	通知設定画面が表示されます。「アプリアイコン上の通知ドット」を有効にすると、アプリの通知があるときにホーム画面のアイコンの右上にドットで通知されます。
よく使う連絡先の表示	ホーム画面にワンタッチボタンを表示するかどうかを設定します。
Googleアプリの表示	ホーム画面を右にスライド／フリックしたときにGoogleアプリを表示するかどうかを設定します。
ご案内	ホーム画面のガイドを表示します。

アプリを起動する

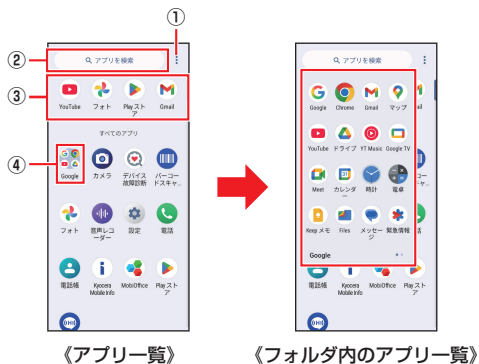
アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

1 ホーム画面を上をスワイプ

アプリ一覧が表示されます。

2 起動するアプリをタップ

・フォルダをタップした場合は、フォルダ内のアプリ一覧から起動するアプリをタップします。



《アプリ一覧》

《フォルダ内のアプリ一覧》

① メニューアイコン

アプリ一覧の並び順を変更できます。

② アプリを検索

アプリを検索できます。

③ 候補のアプリ

「候補」(▶P.25)の「アプリ」がオンの場合、本製品の使用状況などに応じて候補のアプリが表示されます。

④ フォルダ

タップするとフォルダごとに分類された複数のアプリが表示されます。



◎ お買い上げ時にインストールされているアプリの一覧については「アプリケーション一覧」(▶P.38)をご参照ください。

アプリ一覧のメニューを利用する

1 アプリ一覧→[:]

2 アプリ一覧の並び順	アプリ一覧内でアプリの表示順を設定します。
編集	アプリ一覧内でアイコンを移動できます。 ・「アプリ一覧の並び順」で「カスタム順」を選択したときに表示されます。 アイコンをロングタッチ→移動する位置*までアイコンをドラッグして、指を離す→[完了] ※ 移動する位置にあるアイコンに、アイコンを重ねると、フォルダが作成されます。

インストールされたアプリを削除する

1 アプリ一覧で削除するアプリをロングタッチ

2 [アプリ情報]→[アンインストール]→[OK]

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

ステータスバーには不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■ 主な通知アイコン

アイコン	概要
12:34	時刻
[不在着信]	不在着信あり
[新着Googleメッセージ]	新着Googleメッセージあり
[新着メール]	新着メールあり (Gmail)
[緊急速報]	緊急速報メールあり
[アラーム]	次のアラームやスヌーズ中のアラーム、解除せずに終了したアラームあり
[カレンダー]	カレンダーの予定通知あり
[通話]	通話中または着信中
[伝言メモ]	伝言メモあり
[バッテリー]	本体の空き容量が少ないとき
[バッテリー]	電池残量20%以下、または残量なし
[Bluetooth]	他のBluetooth®機器からファイル受信リクエストあり
[アップロード]	データを送信／アップロード
[ダウンロード]	データを受信／ダウンロード
[インストール完了]	インストール完了
[アップデート]	インストール済みアプリのアップデート通知
[ソフトウェア更新]	ソフトウェア更新あり
[microSD]	microSDメモリーカードのマウント中

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
[100%]	電池レベル状態 100% / [充電中] / [バッテリーケアモード設定中]
[5G]	電波の強さ・通信状態 (5G, LTE™) [レベル4] / [音声サービス使用不可] / [データサービス使用不可]*1 / [音声・データサービスともに使用不可]*2 / [通信中]
[4G]	5G 5G使用可能*2 / 4G LTE使用可能*3 / [ローミング中 (ネットワークに応じた通信方式もあわせて表示します)]
[機内モード]	機内モード設定中
[Wi-Fi]	Wi-Fi®の電波の強さ [レベル4] / [レベル0] / [Wi-Fi HaLow™接続中]
[マナーモード]	マナーモード設定中 [バイブレーション設定中] / [ミュート設定中] / [ドライブ設定中]
[Bluetooth]	Bluetooth®機器と接続中
[伝言メモ]	伝言メモ設定中 [伝言メモ設定中] / [伝言メモ全件録音済み]
[GPS]	GPS利用中
[データセーバー]	データセーバー設定中
[Wi-Fi]	Wi-Fi®テザリング中 / [Wi-Fi HaLow™テザリング中]
[マイク]	マイク使用中
[カメラ]	カメラ使用中

※1 「5G」「4G」は表示されません。

※2 「5G」エリア外では「4G」のネットワークがご利用いただけます。

※3 日本国内においては、「LTE」のネットワークをご利用いただけます。画面表示は「4G」となります。

通知パネルについて

通知パネルでは、お知らせの確認や対応するアプリの起動ができます。また、クイック設定パネルが表示され、よく使う機能のオン/オフなどがすぐに設定できます。

1 ステータスバーを下にスライド

- 通知パネルが表示されます。
- 通知パネルを上をスライドすると通知パネルを非表示にします。



- ① 時刻/日付のエリア
- ② クイック設定パネル
よく使う機能のオン/オフなどを設定します。
通知パネルを下にスライドすると、表示されていないアイコンや画面の明るさ調節スライダー、設定メニューアイコン、電源メニューアイコンが表示されます。
[] をタップすると、表示する設定アイコンを変更できます。
- ③ お知らせ(通知)エリア
本製品の状態やお知らせの内容を確認できます。情報によっては、タップすると対応するアプリが起動します。
- ④ 管理
通知設定画面が表示されます。
- ⑤ すべて消去
タップすると通知をすべて消去できます。ただし、消去できない通知もあります。

memo

- 通知を個別に消去するには、消去したい通知を左右にフリックします。

着信ランプ/充電ランプについて

着信ランプ/充電ランプの点灯/点滅により、充電中の充電状態、不在着信やメールの受信などをお知らせします。

LEDの色と動作	通知内容
赤の点灯	充電中であることを示します。
緑の点灯	充電が完了したことを示します。
青の点滅	不在着信、通知メッセージがあることを示します。

最近使用したアプリを起動する

- 1 ナビゲーションバーを上をスワイプして指を止める
最近使用したアプリ表示一覧画面が表示されます。
- 2 左右にフリックして、起動するアプリをタップ

memo

- 一覧からアプリを削除するには、操作2で削除したいアプリを上をフリックします。右へフリックしてから「すべてクリア」をタップすると、最近使用したアプリがすべて削除されます。
- 画面の固定について
 - 「アプリ固定」がオンの場合、アプリ表示上部のアイコンをタップ→[固定]→[OK]と操作すると画面を固定できます。画面を固定すると、固定した画面のアプリ以外の操作ができなくなります。
 - 画面の固定中は以下の制限があります。
 - 着信や第三者による位置検索ができなくなります。
 - 他のアプリが正しく動作しなかったり、通知が表示されなかったりする場合があります。
 - 固定を解除するには、ナビゲーションバーを上をスワイプしてロングタッチします。

マルチウィンドウを利用する

画面を分割して複数のアプリを同時に表示できます。

- 1 ナビゲーションバーを上をスワイプして指を止める→アプリ表示上部のアイコンをタップ→[分割画面]
画面が分割され、選択したアプリが画面上部に表示されます。
- 2 同時に表示したいアプリをタップ
選択したアプリが画面の下側に表示されます。
 - 画面中央の「[]」を画面端までスライドすると、マルチウィンドウが終了します。

memo

- アプリによってはマルチウィンドウに対応していない場合があります。

マナーモードを設定する

マナーモードを設定することで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 音量上ボタンまたは音量下ボタン

マナーモードアイコンと音量調節バーが表示されます。

2 マナーモードアイコンをタップしてマナーモードの種類を切り替える



マナーモードアイコンをタップすると、以下の種類よりマナーモードを選択できます。

- ・[]: マナーモードOFF(マナーOFF)
- ・[]: マナーモード(バイブ)
- ・[]: マナーモード(ミュート)
- ・[]: マナーモード(ドライブ)

memo

- 音量調節バーでは、動画などのメディア音量を調整できます。また、[] をタップすると、詳細な音設定ができます。詳しくは「音とバイブレーションの設定をする」(▶P.55)をご参照ください。
- マナーモード設定中でもカメラのシャッター音や録画開始/終了音、アラーム音、タイマー音は鳴動します。
- 「ドライブ」を選択した場合、着信時は運転中であることをお知らせするアナウンスが流れ、自動的に伝言メモが起動します。
- マナーモード設定中に消音の状態ではデータが再生された場合、機能によっては、再生中に音量上ボタン/音量下ボタンを押すと音量を調節できます。

メニューを表示する

画面のメニューを表示する方法には、「[]」や「[]」などをタップして表示する方法と、入力欄や項目をロングタッチして表示する方法の2種類があります。

スクリーンショットを撮影する

電源ボタンと音量下ボタンを同時に押すと、現在表示されている画面を画像として保存(スクリーンショット)できます。画面左下に保存した画像が表示されます。

memo

- ナビゲーションバーを上をスワイプして指を止める→[スクリーンショット]と操作しても、スクリーンショットを撮影できます。
- スクリーンショットを行った画像は、内部ストレージに保存されます。保存された画像は「Files」(▶P.45)で確認できます。
- 「キャプチャ範囲を拡大」が表示されたときは、表示できる画面全体を1枚のスクリーンショットで撮ることができます(スクロールスクリーンショット)。「キャプチャ範囲を拡大」→保存する範囲を選択→[保存]と操作してください。
- アプリや機能によってはスクリーンショットが動作しない場合があります。

アプリのショートカット機能を利用する

アプリアイコンをロングタッチすることで、各機能をショートカットで起動できます。

■ Chromeアプリを新しいタブで開く場合

- 1 ホーム画面→「[]」をロングタッチ
- 2 [新しいタブ]

■ カメラアプリのショートカット機能をホーム画面に追加する場合

- 1 ホーム画面→「[]」をロングタッチ
- 2 追加するショートカット機能をロングタッチ→追加する位置にドラッグして、指を離す

他のモバイル機器を充電する

USB PD規格に対応の他のモバイル機器を、USB Type-Cケーブル(市販品)を使って本製品で充電することができます。

1 他のモバイル機器が接続されたUSB Type-Cケーブル(市販品)を、本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込む

2 ホーム画面→[設定]→[接続設定]→[USB]

3 「接続デバイスの充電」を有効にする

接続したモバイル機器を充電します。

- 本製品を他のモバイル機器で充電をする場合は「接続デバイスの充電」を無効にします。
- ホーム画面→[設定]→[接続設定]→[接続の詳細設定]→「USB機器の自動検出」→「USB機器の自動検出を使用」をオフにすると、「接続デバイスの充電」を有効にすることができません。



memo

- ◎ USBケーブルは、USB PD(Power Delivery)対応のUSB Type-Cケーブル(市販品)をご使用ください。
- ◎ 電池残量が少ないと充電できない場合があります。本機能を使用する前に本製品を充電してください。
- ◎ 長いケーブルを使用すると充電できない場合があります。また、ハブや変換コネクタを介しても充電できない場合があります。
- ◎ 接続機器がUSB PD規格に対応していない場合は充電できません。また、すべてのUSB PD対応機器との充電を保証するものではありません。

指紋認証機能

指紋認証機能のご利用にあたって

本製品には指紋センサーが搭載されており、登録した指で触れることで、画面ロックを指紋認証で解除できます。

指紋認証利用時のご注意

- ロックダウンを設定した場合は、ご利用になれません。
- 指紋の特徴情報を利用して認証を行うため、特徴情報が少ないお客さまの場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能(指で指紋センサーに正しく触れた際に指紋が認証される性能)は、お客さまの使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を拭く、手を洗う、認証する指を変える、指の登録範囲を広くするなど、認証性能が改善されることがあります。
 - お風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていたりしている
 - 指に汗や脂(ハンドクリームなど)が多く付着している
 - 泥や油などで指が汚れている
 - 手荒れや、指に損傷(切傷やただれなど)がある
 - 指が極端に乾燥している
 - 太ったりやせたりして指紋が変化した
 - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
 - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では第三者に本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

指紋センサー利用時のご注意

- ぶつかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。また、表面をひっかいたり、先の尖ったものでつついたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。
- 指紋センサーにシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- 指紋センサーが汚れると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々柔らかい布などで清掃してください。

指紋を登録する

1 ホーム画面→[設定]→[セキュリティとプライバシー]→[デバイスのロック解除]→[顔認証と指紋認証によるロック解除]

- 追加で指紋を登録する場合は、ホーム画面→[設定]→[セキュリティとプライバシー]→[デバイスのロック解除]→[顔認証と指紋認証によるロック解除]→セキュリティを解除→[指紋認証]→[指紋を追加]と操作します。
- 画面ロックの解除方法(▶P.58)を「なし」または「スワイプ」以外に設定している場合は、セキュリティを解除して操作2に進みます。
- 画面ロックの解除方法(▶P.58)を「なし」または「スワイプ」に設定している場合は、セキュリティを設定後に指紋を登録します。

2 [指紋認証]→[同意する]

以降は画面の指示に従って操作してください。

登録が終了すると、指紋が追加されたことをお知らせする画面が表示され、「別の指紋を登録」をタップすると他の指紋を登録できます。



memo

- ◎ 指紋設定画面では、次の操作ができます。
 - 指紋の名前を変更するには、登録した指紋をタップ→名前を入力→[OK]と操作します。
 - 指紋を削除するには、登録した指紋の「回」をタップ→[削除]と操作します。
 - 「いつでもタップしてロック解除」を有効にすると、画面消灯時、指紋センサーに触れることでロック解除ができます。

指紋認証を行う

1 スタート画面表示中に、登録した指で指紋センサーに触れる

「回」を上にもスライド／フリックすると、設定した画面ロックの解除方法を入力する画面が表示されます。



memo

- ◎ 指紋認証が5回連続して認識されなかった場合は、指紋認証ができなくなります。しばらくしてから再度指紋認証を行うか、「回」を上にもスライド／フリックして設定した画面ロックの解除方法を入力してください。

顔認証機能

顔認証機能のご利用にあたって

顔認証利用時のご注意

- ロックダウンを設定した場合は、ご利用になれません。
- 顔認証は他のロック解除方法(パターン、ロックNo.、パスワードなど)より安全性が低くなります。
- 認証性能(顔をインカメラに向けた際に顔が認証される性能)はお客さまの使用状況により異なります。
- 顔認証を最適な形で実現するために、顔の登録時に次の点にご注意ください。
 - 明るい場所で顔を登録してください。ただし、逆光となる場所では顔を登録しないでください。
 - 衣類、髪の毛、サングラス、マスクなどで顔を覆わないようにしてください。
 - 顔を正面に向け、普通の表情で、顔全体を登録エリアの枠内に入れた状態で撮影し、顔を動かしたり、目を閉じたりしないでください。
- スタート画面で顔認証を行う際は、以下の点にご注意ください。
 - 極端に暗い場所や明るい場所、逆光となる場所では、顔認証の成功率が下がる場合があります。
 - 衣類、髪の毛、サングラスなどで顔の全体、あるいは一部が覆われると、顔認証の成功率が下がる場合があります。
 - 顔の角度が大きすぎると、顔認証の成功率が下がる場合があります。
 - 自分に似た人や物でもロック解除されてしまう場合があります。

顔を登録する

顔認証に使う顔を登録します。

- ホーム画面→[🔒]→[セキュリティとプライバシー]→[デバイスのロック解除]→[顔認証と指紋認証によるロック解除]**
 - 画面ロックの解除方法(▶P.58)を「なし」または「スワイプ」以外に設定している場合は、セキュリティを解除して操作[2]に進みます。
 - 画面ロックの解除方法(▶P.58)を「なし」または「スワイプ」に設定している場合は、セキュリティを設定後に顔を登録します。
- [顔認証]→[同意する]**
 - 「スマホを持ち上げて画面起動を有効にする。」にチェックを入れると、「スマートフォンを持ち上げて点灯」(▶P.56)が有効になります。
- [スタート]**
以降は画面の指示に従って操作してください。

顔認証を行う

- スタート画面表示中に、インカメラに顔を向ける**
正しく認証されない場合は、顔の角度や距離を変更してください。

文字入力

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

ソフトウェアキーボードについて

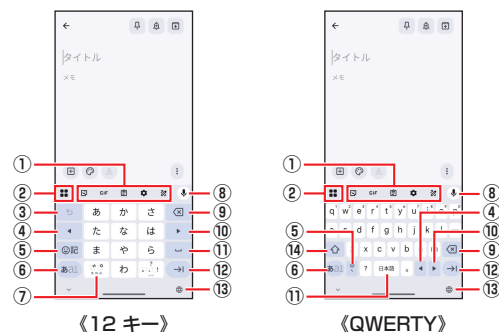
次のソフトウェアキーボードを使用できます。

12 キー	一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。キーボードをタップするたびに文字が切り替わります。また、「フリック入力」を行うこともできます。詳しくは「フリック入力について」(▶P.30)をご参照ください。
QWERTY	一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。キーボードをタップすると、ボタンに表示されている文字が入力されます。日本語は「ローマ字」で入力します。
手書き	手書きで入力できるキーボードです。
GODAN	ローマ字入力に特化したキーボードです。
五十音	五十音順に文字が並んでいるキーボードです。

キーボードを切り替える

- 文字入力画面→[✕]→[言語]→[日本語]→キーボードを選択→[完了]**
キーボードが切り替わります。詳細は「キーボードで入力する」(▶P.29)をご参照ください。

キーボードで入力する



- ツールバー**
- ツールバーを並べ替え**
- 🔑**
12 キーでの入力時に表示され、同じキーに割り当てられた文字を通常とは逆の順序で表示します。
- ⬅**
カーソルを左へ移動します。
- 🔍**
絵文字、顔文字などの一覧を表示します。
- 🇯🇵 / 🇺🇸 / 🇨🇳**
文字種を「ひらがな漢字」→「英字」→「数字」の順に切り替えます。
🇯🇵 / 🇺🇸 / 🇨🇳 をロングタッチすると、キーボード設定(▶P.30)の表示や片手モードの設定ができます。
- 🔠 / 🔡**
文字入力時に大文字／小文字の切り替え、濁点／半濁点の入力をします。
- 🔊**
音声入力で文字を入力できます。(一部の画面では表示されません)
- 🗑**
カーソル位置の前の文字を削除します。
- ➡**
カーソルを右へ移動します。
- ␣**
スペースを入力します。
「ひらがな漢字」入力中は、変換候補リスト内の文字を順に表示します。
- ⏎**
文字の確定／改行、次の項目に移動などをします。
一部の画面では、🔍、🇯🇵、🇺🇸、🇨🇳 などが表示されます。
- 🔄**
キーボード複数設定時に表示され、キーボードを切り替えます。
- 🇺🇸 / 🇯🇵 / 🇨🇳**
QWERTYキーボードで英字入力時に表示され、小文字／1文字のみ大文字／大文字を切り替えます。



memo

- 変換候補リストの「▼」をタップすると、表示エリアが拡大されます。ソフトウェアキーボードを表示させるには「▲」をタップします。
- ソフトウェアキーボードを非表示にするには、画面左下に表示される「▼」をタップします。

フリック入力について

ソフトウェアキーボードが「12 キー」の場合、キーを上下左右にフリックすることで、キーを繰り返してタップすることなく、入力したい文字を入力することができます。キーをタップすると、フリック入力で入力できる候補が表示されます。そのまま入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字入力エリアに文字が入力されます。例えば「あ」を入力する場合は「あ」をタップするだけで入力でき、「お」を入力する場合は「あ」を下にフリックすると入力されます。



文字入力の便利な機能を利用する

絵文字／顔文字／記号を入力する

- 1 文字入力画面→[絵文字]
- 2 絵文字／顔文字／記号を選択

絵文字／顔文字／記号一覧画面の操作

あいう：文字入力画面に戻る
☒：選択した文字やカーソルの左の文字の削除

memo

◎ 操作するアプリや画面によっては、一覧画面の表示方法が異なる場合や、絵文字／顔文字／記号など一覧の表示や入力できない場合があります。

文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

- 1 文字入力画面→文字入力エリアをロングタッチ→[長押し]／[長押し]をドラッグして、範囲を選択
・操作するアプリによっては、カーソルの色が異なる場合があります。
- 2 [切り取り]／[コピー]
「すべて選択」をタップ(表示されていない場合は[:]→[すべて選択]と操作)すると、入力した文字列全体を選択できます。
- 3 貼り付ける位置でロングタッチ→[貼り付け]
テキストが入力されている場合は、挿入する位置でタップし、[長押し]→[貼り付け]と操作します。

ソフトウェアキーボードの設定を行う

- 1 文字入力画面→[設定]

2	言語設定	ソフトウェアキーボードを言語ごとに設定できます。キーの配置やキーボードのレイアウト、キー操作などについて設定できます。
	テーマ	ソフトウェアキーボードの見た目を変更できます。
	修正と候補	テキストの自動修正や入力候補などについて設定できます。
	グライド入力	QWERTYの英語入力や文字間をスライドして単語を入力できるグライド入力について設定できます。
	音声入力	音声入力について設定できます。
	クリップボード	最近コピーしたテキストや画像を、ツールバーの位置に表示するかどうかなどを設定できます。
	単語リスト	▶P.30「単語リストに登録する」
	絵文字、ステッカー、GIF	絵文字候補の高速アクセス行などを設定できます。
	Gboard を共有	他のユーザーとGboardを共有します。
	プライバシー	プライバシーに関する設定ができます。
	評価のお願い	Gboardの評価をします。
	アプリについて	利用規約やオープンソースライセンスなどを確認できます。
	ヘルプとフィードバック	ヘルプの検索やフィードバックの送信ができます。

単語リストに登録する

- 1 文字入力画面→[単語リスト]
- 2 [単語リスト]→[単語リスト]→登録する言語をタップ
- 3 [+]
- 4 「単語を入力」欄をタップ→単語を入力
- 5 「よみを入力します」欄をタップ→よみを入力
- 6 [←]

memo

◎ 登録した語句を削除する場合は、手順3で削除する単語をタップ→[削除]と操作します。

電話・連絡先

電話.....	32
電話をかける	32
電話を受ける	33
伝言メモを利用する	34
自分の電話番号を確認する	34
電話帳.....	34
電話帳について	34
連絡先を登録する	34
連絡先から電話をかける.....	35
連絡先を編集／削除する.....	35
グループを設定する	35
お気に入りを設定する.....	35
連絡先をインポート／エクスポートする.....	35

電話

電話をかける

1 ホーム画面→[📞]→「ダイヤル」タブをタップ

電話番号入力画面が表示されます。

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

「✖」: 入力した数字を1桁削除

「✖」(ロングタッチ): すべての数字を削除

「電話帳」タブ: 電話帳を起動

「:」: ▶P.32「電話番号入力画面のメニューを利用する」

3 [📞]→通話

通話中に音量上ボタン／音量下ボタンを押すと、通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節できます。

4 [📞]

通話が終了します。

・「通話後録音」(▶P.32)についての画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。



memo

- ◎ 電源ボタンを長押し→[緊急通報]と操作すると、緊急通報番号(110、119、118)へ発信することができます。
- ◎ 発信中／通話中に顔などによって画面を覆うと、誤動作を防止するため画面が消灯します。
- ◎ 送話口(マイク)を覆っても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。

■ 電話番号入力画面のメニューを利用する

1 電話番号入力画面→[:]

2	電話帳に登録*	電話帳の連絡先に追加します。
	メッセージを送信*	SMSの新規作成画面を表示します。
	特番付加	電話番号に「184」や「186」、自動ボーズ(.), 手動ボーズ(.)を追加します。
	スピードダイヤル	連絡先の電話番号を登録することで、簡単に電話をかけることができます。
	連絡先検索	チェックを入れると番号入力時に電話帳内の入力内容に適合する検索対象を表示します。
	設定	▶P.33「通話に関する設定をする」

※ 電話番号が入力されている場合に表示されます。

■ 通話中に利用できる操作

通話中は以下の操作が行えます。

通話相手を追加	別の相手に電話をかけます。
通話を録音／録音を終了	▶P.32「通話音声メモを利用する」
聞こえ調整	通話中の音質を設定します。
通話を保留／保留を解除	通話を保留状態にします。「保留を解除」をタップすると保留が終了します。
スピーカー	「スピーカー」をタップすると、ハンズフリー通話に切り替わります。もう一度「スピーカー」をタップすると、スピーカー通話が終了します。
ミュート／ミュートを解除	自分の声を相手に聞こえないようにします。「ミュートを解除」をタップすると、相手に自分の声が聞こえるようになります。
ダイヤル／閉じる	「ダイヤル」をタップするとダイヤルキー画面が表示され、キーをタップするとプッシュ信号を送信します。「閉じる」をタップすると、ダイヤルキー画面が閉じます。

■ 通話音声メモを利用する

通話中の相手の方と自分の声を録音します。

・「通話後録音」がONの場合は操作できません。

1 通話中画面→[通話を録音]

録音を開始します。

2 [録音を終了]

録音を終了します。

■ 通話音声メモの録音を自動的に開始する(通話後録音)

通話開始と同時に通話音声メモの録音を開始するには、あらかじめ設定が必要です。

1 ホーム画面→[📞]→[:]→[設定]→[通話音声メモ]

2 [通話後録音]→「通話後録音を使用」を有効にする

録音対象を「すべて」／「ユーザー設定」から選択できます。「ユーザー設定」を選択した場合は、録音対象の電話番号や着信の種類を設定できます。

■ 通話後録音を保存するには

通話が終了すると通話音声メモを保存するかどうかの確認画面が表示されます。

・「OK」をタップすると通話音声メモが保存されます。

・「キャンセル」をタップすると録音した通話音声メモは削除されますので、ご注意ください。



memo

- ◎ 通話を録音(通話音声メモ)を再生するには、ホーム画面→[📞]→「履歴」タブをタップ→通話履歴をタップ→[通話音声メモを再生]と操作します。
- ◎ 通話を録音(通話音声メモ)で録音できる1件あたりの録音時間や保存できる件数は、本体の空き容量によって異なります。ただし、本体に保存できる最大件数は100件です。

■ 自動文字起こしを利用する

通話音声メモの録音と同時に、自動で文字起こしをします。

1 ホーム画面→[📞]→[:]→[設定]→[通話音声メモ]

初回起動時に文字起こし機能利用規約の確認画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 「自動文字起こし」を有効にする

■ 通話音声メモをエクスポートする

通話音声メモのデータを内部ストレージ／microSDメモリカードへエクスポートします。

1 ホーム画面→[📞]→[:]→[設定]→[通話音声メモ]

2 [通話音声メモリスト]→[:]→[エクスポート]

3 エクスポートするメモを選択→[OK]→[内部ストレージ]／[SDカード]

エクスポートしたメモのアイコンの右上に「🔥」が付きます。

・内部ストレージにエクスポートしたデータはFiles(▶P.45)の[内部ストレージ]→[VoiceMemo]フォルダでも確認できます。

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客さまの現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。



memo

- ◎ 警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- ◎ 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、VoLTEまたは、VoNRを利用します。
- ◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- ◎ 緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客さまの現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- ◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- ◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- ◎ 緊急通報受理機関への緊急通報の際には、必ずお客さまの所在地をご確認の上、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- ◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
- ◎ 着信拒否などを設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、設定は自動的に一定時間解除されます。

通話に関する設定をする

通話時間の確認や通話サービスの設定など、通話に関する設定を行います。

1 電話番号入力画面→[:]→[設定]

2	通話時間	通話時間	国内での前回／累計の通話時間を表示します。
		通話時間(海外)	海外での前回／累計の通話時間を表示します。
	着信画面の表示と応答操作		ロック解除中の着信画面の表示などを設定します。
	ステップアップ着信		▶P.33「ステップアップ着信を設定する」
	画面消灯中のライト点滅着信		スリープモード中に着信したときに、ライトの点滅でお知らせするかどうかを設定します。
	着信相手非表示		着信時に相手の名前や画像を表示しないようにするかどうかを設定します。
	不在着信通知		▶P.34「不在着信通知を設定する」
	伝言メモ		▶P.34「伝言メモを利用する」
	通話音声メモ		通話音声メモを選択して再生したり、通話後録音を設定したりします。 ・通話音声メモリスト画面で「[:]」をタップしたり、通話音声メモ再生画面で「[:]」をタップしたりすると、通話音声メモの保護や削除、エクスポートなどの操作が行えます。
	着信拒否		▶P.34「着信拒否を設定する」
	通話		留守電再生や通話サービスを設定します。
	聞こえ調整		通話中の音質を設定します。
	ノイズリダクション		通話中の周囲の雑音を低減するかどうかを設定します。
	プレフィックス		電話番号に追加する番号を設定します。
	国際ダイヤルアシスト		海外での発信時にアシスト機能を使用するかどうかを設定します。
	クイック返信		クイック返信(▶P.33)のメッセージを編集したり、自動的にSMSで返信するかどうかを設定したりします。

memo

通話時間について

- ◎ 表示される通話時間は、自分から発信したときの通話時間になります。
- ◎ 通話が途切れるなど正常に終了できなかった場合や国際電話をかけた場合など、通話時間が更新されない場合があります。

伝言メモ／通話音声メモについて

- ◎ 伝言メモの1件あたりの録音時間は60秒、通話音声メモの1件あたりの録音時間は本体の空き容量によって異なります。保存できる件数についても空き容量によって異なりますが、それぞれ本体に保存できる最大件数は100件です。100件録音されている場合は、保護されていない伝言メモ／通話音声メモが、古いものから順に削除されます。ただし、未再生の伝言メモは削除されません。
- ◎ 録音されている伝言メモ／通話音声メモがすべて保護されている場合、伝言メモでの応答や通話音声メモの録音はできません。

履歴を利用して電話をかける

1 電話番号入力画面→「履歴」タブをタップ

通話履歴一覧画面が表示されます。

- ✓: 着信
- ☎: 伝言メモあり
- ✗: 不在着信
- 📞: 発信
- 🔊: 通話音声メモあり
- 📧: クイック返信

2 電話をかける履歴の[📞]

選択した相手に電話を発信します。
通話履歴一覧画面で履歴をタップすると履歴詳細画面が表示され、音声発信以外にもメッセージ(SMS)の作成や伝言メモ再生、通話音声メモ再生、電話帳に登録などの操作を行うことができます。

memo

- ◎ 履歴詳細画面で「[:]」をタップすると、履歴からの削除や番号の編集などを行うことができます。

電話を受ける

1 着信画面→[応答]

通話を開始します。

- ・スリープモード中やスタート画面表示中は「電話に出る」を右にスライドしても電話に出ることができます。

2 通話→[📞]

電話がかかってきた場合の表示について

お買い上げ時は、着信すると次の内容が表示されます。

- ・相手の方から電話番号の通知があると、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。
- ・相手の方から電話番号の通知がないと、ディスプレイに理由が表示されます。「非通知設定」「公衆電話」「不明*」
※ 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

着信時に相手の方の電話番号や名前を表示しないようにすることもできます(▶P.33「着信相手非表示」)。



memo

かかってきた電話に出なかった場合は

- ◎ ステータスバーに「☒」が表示されます。ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、着信のあった時間や電話番号、または電話帳に登録されている名前が表示されます。

着信時に着信音、バイブレータを無効にするには

- ◎ 着信時に電源ボタン／音量上ボタン／音量下ボタンを押すと、着信音、バイブレータを無効にすることができます。

他の機能をご利用中に着信した場合は

- ◎ 動画を録画していた場合は、録画が中断され、録画していたデータは保存されます。
- ◎ 音声レコーダーで録音していた場合は、録音が一時的に停止されます。通話が終了したら、録音を再開できます。
- ◎ マナーモード(ドライブ)に設定している場合は、自動的に伝言メモが起動します。

着信に伝言メモで応答する

伝言メモのメッセージで応答し、相手の方の伝言を録音します。

- ・伝言メモを設定していなくても、手動で起動できます。

1 着信画面

2 [伝言メモに録音]→[録音を開始]



memo

- ◎ 伝言メモ録音中に「電話に出る」をタップすると、電話に出ることができます。スリープモード中／スタート画面表示中は「電話に出る」を右にスライドします。

着信を拒否する

1 着信画面→[拒否]

着信音が止まって電話が切れます。

- ・スリープモード中やスタート画面表示中は「電話に出ない」を左にスライドします。

着信を拒否してメッセージ(SMS)を送信する

着信拒否をして、SMSのメッセージで応答します。

- ・定型文を選択して返信することができます。定型文をあらかじめ編集しておくこともできます。

1 着信画面

2 [クイック返信]

3 送信したいメッセージをタップ



memo

- ◎ 既存のメッセージを編集する場合は、ホーム画面→[📞]→[[:]]→[設定]→[クイック返信]→[クイック返信の編集]→既存のメッセージを選択して編集→[OK]と操作します。
- ◎ ホーム画面→[📞]→[[:]]→[設定]→[クイック返信]→[クイック返信の自動設定]と操作して、「クイック返信の自動設定の使用」を有効にすると、着信してから設定した時間が経過した場合に、自動的にSMSで応答するように設定できます。

ステップアップ着信を設定する

同じ人から10分以内に着信を受けると着信音を徐々に大きく(ステップアップ)してお知らせするように設定します。

1 ホーム画面→[📞]→[[:]]→[設定]→「ステップアップ着信」を有効にする

- ・お買い上げ時は有効に設定されています。

着信拒否を設定する

自動的に着信を拒否する条件を設定できます。着信を拒否した場合は、着信音・バイブレータの鳴動は行われません。

1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[着信拒否]

2 電話番号指定	特定の電話番号を指定して、その電話番号からの着信やSMSを拒否します。 電話帳／履歴を引用して登録する場合 1. [+]→[電話帳]／[通話履歴] 2. 連絡先／履歴を選択→[登録] 電話番号を入力して登録する場合 1. [⋮] 2. 電話番号を入力→[登録]
非通知	電話番号を通知しない着信を拒否します。
公衆電話	公衆電話からの着信を拒否します。
通知不可能	電話番号を通知できない着信を拒否します。
電話帳登録外	電話帳に登録されている電話番号以外からの着信を拒否します。
海外ローミング 中全拒否	海外利用中の全着信を拒否します。
着信履歴を保存	拒否した着信を着信履歴に保存するかどうかを設定します。

不在着信通知を設定する

未確認の不在着信通知がある場合、設定したタイミングで再度通知音を鳴らすなどで、スヌーズ通知するように設定します。

・スヌーズ通知を開始してから5分後／10分後／20分後／60分後に、再度通知を行います。

1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[不在着信通知]

2 通知するタイミングにチェックを入れる

伝言メモを利用する

伝言メモを設定すると、電話に回答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声を録音することができます。1件あたりの最大録音時間は約60秒です。

1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[伝言メモ]

2 伝言メモ応答設定	伝言メモを利用するかどうかを設定します。
応答時間	応答するまでの時間を設定します。
伝言メモリスト	伝言メモの再生や削除、保護／解除、編集をします。
応答メッセージ	応答メッセージの切り替えやオリジナルメッセージの録音をします。
録音可否ステータス	録音可否ステータスを確認できます。
自動文字起こし	伝言メモの録音と同時に自動で文字起こしをします。
着信画面に文字起こしを表示	自動文字起こしの内容を着信画面に表示します。
文字起こし機能利用規約	文字起こし機能利用規約を確認できます。

memo

- 録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーに「📞」が表示されます。ステータスバーを下にスライド→[伝言メモ録音あり]と操作すると、伝言メモリスト画面が表示され、録音された伝言メモを確認できます。
- 録音された伝言メモを削除するには、伝言メモリスト画面で伝言メモをロングタッチ→[削除]→[OK]と操作します。

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面→[📞]→[プロフィール]

プロフィール画面が表示されます。

■ プロフィールを登録する

1 プロフィール画面→[📞]

・プロフィール画面で「📞」をタップすると登録した情報を共有したり、削除したりすることができます。

2 必要な項目を入力→[保存]

memo

- ホーム画面→[電話帳]→[すべての連絡先]タブをタップして自分の名前の部分をタップしても、自分の電話番号を確認できます(▶P.34)。

電話帳

電話帳について

電話帳には連絡先の各種情報が表示されます。

memo

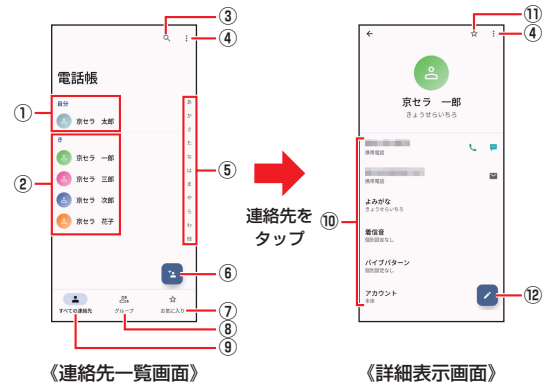
- 電話帳に登録された電話番号や名前などは、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で登録内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「パスワードとアカウントの設定をする」(▶P.59)を利用して、サーバーに保存されたGoogleの連絡先などと本製品の電話帳を同期できます(Google アカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogle アカウントを登録してください)。

連絡先を登録する

1 ホーム画面→[電話帳]→[すべての連絡先]タブをタップ

連絡先一覧画面が表示されます。

連絡先が未登録の場合は、操作2で新規連絡先を登録してください。



- 1 自分のプロフィール
自分の電話番号を確認し、自分の名前などを登録できます(▶P.34)。
- 2 連絡先に登録された写真・名前
タップすると、連絡先の詳細表示画面が表示されます。
- 3 検索
登録されている連絡先を検索します。
- 4 メニュー
連絡先の削除やインポート／エクスポート、表示する連絡先の設定、インデックスタブの表示位置の設定などができます。
- 5 インデックスタブ
タブをタップすると、タップしたタブの行の文字から始まる連絡先が表示されます。
[⋮]→[設定]→[インデックスの表示位置]→[右側]／[左側]と操作すると、インデックスの位置を変更できます。
- 6 新規作成
連絡先を登録します。
- 7 お気に入りタブ
タップすると「お気に入り」に登録した連絡先が表示されます。
- 8 グループタブ
タップするとグループの一覧を表示します。
・グループ作成や編集については、「グループを設定する」(▶P.35)をご参照ください。
- 9 すべての連絡先タブ
すべての連絡先が一覧画面で表示されます。
- 10 登録内容
- 11 お気に入り
タップすると連絡先をお気に入りに登録できます。
- 12 編集
連絡先を編集できます(▶P.35)。

2 [📞]

・アカウントの選択画面が表示された場合は、使用するアカウントを選択するか、「アカウントを追加」をタップしてアカウントを登録してください。

3 必要な項目を入力

- ・各項目をタップすると項目を入力できます。入力中または入力後に「✖」をタップすると、項目を削除できます。
- ・電話番号やメールアドレスを1件入力すると、入力欄が追加されます。
- ・「📷」をタップすると、連絡先に登録する写真を撮影または選択できます。
- ・項目によっては、「▼」をタップすると、さまざまな設定の変更ができます。
- ・「他の項目」をタップすると、住所や誕生日の登録や着信音などの個別設定ができます。

4 [保存]

memo

- 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
- 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信設定」は有効になりません。

連絡先から電話をかける

1 連絡先一覧画面→電話をかける連絡先をタップ

連絡先の詳細表示画面が表示されます。

2 [📞]

連絡先を編集／削除する

連絡先を編集する

1 編集する連絡先の詳細表示画面→[🔍]

連絡先編集画面が表示されます。

2 項目を選択して編集

3 [保存]

連絡先を削除する

1 連絡先一覧画面→[:]→[削除]→削除する連絡先にチェックを入れる→[OK]→[OK]



memo

◎ 内部ストレージの空き容量が少ないと、連絡先の編集／削除ができない場合があります。ご注意ください。

グループを設定する

連絡先をグループに登録できます。

・「パスワードとアカウントの設定をする」(▶P.59)を利用して、アカウントと同期すると、自動的にグループが作成されます。

1 連絡先一覧画面→「グループ」タブをタップ→[📁]

・アカウントの選択画面が表示された場合は、使用するアカウントを選択してください。

2 「グループ名」欄をタップ→グループの名前を入力

3 [連絡先を登録／解除]→登録する連絡先にチェックを入れる→[OK]

4 「グループの着信設定」の項目を必要に応じて設定→[保存]



memo

- ◎ グループの編集は、連絡先一覧画面→「グループ」タブをタップ→編集するグループをタップ→[🔍]と操作して行うことができます。「グループの着信設定」なども設定できます。
- ◎ 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「グループの着信設定」は有効になりません。
- ◎ 個別の連絡先に「着信設定」が設定されている場合は、そちらが優先されます。
- ◎ グループを選択して[:]→[削除]→[OK]と操作すると、グループを削除できます。グループを削除しても、登録されている連絡先は削除されません。

お気に入りを設定する

連絡先をお気に入りに設定すると、お気に入りに設定した連絡先のみ表示することができます。

1 連絡先一覧画面→「お気に入り」タブをタップ

・お気に入りに設定した連絡先が表示されます。

2 [🔍]→お気に入りに設定する連絡先にチェックを入れる→[OK]

・お気に入りを解除するときはチェックを外します。

連絡先をインポート／エクスポートする

連絡先を内部ストレージやmicroSDメモリカードからインポート／エクスポートできます。

・連絡先によっては、データの一部がインポート／エクスポートされない場合があります。

インポートする

内部ストレージ／microSDメモリカードに保存されている連絡先をインポートします。

1 連絡先一覧画面→[:]→[インポート／エクスポート]

2 [内部ストレージからインポート]／[SDカードからインポート]

・アカウントの選択画面が表示された場合は、使用するアカウントを選択してください。

3 [vCardファイルを1つインポート]→[OK]→インポートする連絡先ファイル(vCardファイル)を選択→[OK]

「複数のvCardファイルをインポート」／「すべてのvCardファイルをインポート」を選択してインポートすることもできます。

エクスポートする

内部ストレージ／microSDメモリカードへエクスポートします。

1 連絡先一覧画面→[:]→[インポート／エクスポート]

2 [内部ストレージにエクスポート]／[SDカードにエクスポート]

連絡先の選択画面が表示されます。

3 エクスポートする連絡先にチェックを入れる→[OK]→[OK]

連絡先の選択画面→[すべて選択]→[OK]→[OK]と操作すると、すべての連絡先をエクスポートできます。

アプリケーション

アプリケーション一覧.....	38
アプリを利用する	38
カメラ.....	38
カメラをご利用になる前に.....	38
静止画を撮影／動画を録画する.....	39
静止画／動画を再生する.....	39
QRコード・バーコードリーダーを利用する.....	39
バーコードスキャナーを利用する	40
ScanExを利用する	40
音声レコーダー.....	41
音声レコーダーを利用する	41
ライト.....	41
ライトを利用する	41
デバイス故障診断.....	41
デバイス故障診断を利用する	41
Wi-Fi HaLow Messenger	42
メッセージを送信する.....	42
メッセージを受信する.....	42

アプリケーション一覧

アプリを利用する

アプリのアイコンをタップすると、アプリが起動します。

- 次の一覧表では、アプリを名前順(記号／アルファベット／五十音順)に記載しています。
- お客さまの契約状況や使用状況などにより、搭載されるアプリや、アプリ名が異なる場合があります。

アイコンの表示名
Chrome
Files
Find Hub
Gemini
Gmail
Google
Google TV
Keep メモ
Kyocera Mobile Info 本製品のメーカーサポートページにアクセスします。
Meet
MobiOffice Word、Excelなどのファイルを閲覧できます。
Play ストア
ScanEx 有料版のバーコード読み取りアプリです。
Wi-Fi HaLow Messenger Wi-Fi HaLow™を用いたローカルネットワークで通話・チャットが行えるアプリです。
YouTube
YT Music 公式アルバム／ミュージックビデオ／リミックス／カバー／ライブ版の幅広い音楽コンテンツが楽しめます。
音声レコーダー
カメラ
カレンダー
緊急情報 設定
デバイス故障診断 本製品の調子が悪いと感じたときや機能が正常に動かないときに、診断を行ってご自身で解決できます。
電卓
電話
電話帳
時計
ドライブ
バーコードスキャナー バーコード読み取りアプリです。
フォト
マップ
メッセージ



- ◎ ご利用のSIMカードによって、表示されるアプリケーションが異なる場合があります。
- ◎ 一覧表に記載のアプリ以外にも、機種変更前にご利用・ご契約いただいたアプリがアプリケーション一覧に表示される場合があります。

カメラ

カメラをご利用になる前に

本製品はアウトカメラとインカメラで静止画や動画の撮影ができます。

撮影した静止画や動画は、すべてmicroSDメモリカードまたは内部ストレージに保存されます。

- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがつかないようにご注意ください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本製品が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。

また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。

- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。本製品を動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。

- 動画を録画する場合は、送話口(マイク)を指などで覆わないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、送話口(マイク)の音声の品質が悪くなる場合があります。

- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。

- 無地の壁などコントラストが少ない被写体
- 強い逆光のもとにある被写体
- 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
- ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
- カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
- 暗い場所にある被写体
- 動きが速い被写体

- 撮影ライトを目に近づけて点灯させないでください。撮影ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。

- マナーモード設定中でも静止画撮影のフォーカスロック音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。

- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。

- 本製品を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などをすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、私的使用目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

- お客さまが本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- 位置情報が付加された写真をインターネット上にアップロードする場合、第三者に位置情報を知られる可能性がありますので、ご注意ください。

- 本製品が極端に高温になっている場合は、カメラを使用することができません。また、使用中は電池残量低下や温度上昇に応じてディスプレイの輝度が落ちる場合があります。

モニター画面の見かた

1 ホーム画面→[📷]



《モニター画面》

① オートフォーカス枠

- タッチオートフォーカスしたときに表示されます。
- ※ 操作やカメラの状態によって表示が異なる場合があります。

② 水準器

- 水平／垂直方向にカメラを向けたときに表示されます(▶P.39「カメラを設定する」)。

③ 電池レベル状態

- 電池残量が少なくなったときに表示されます。

④ 設定アイコン

- カメラを設定します(▶P.39「カメラを設定する」)。

⑤ 明るさ

- オートフォーカス枠と同時に表示されます。スライドして明るさを調整できます。

⑥ ズーム

- 「1.0x」をタップするか、画面上で2本の指を広げたり狭めたりするとズームバーが表示され、ズームを調整できます。音量上ボタン／音量下ボタンを押してズーム調整するように設定することもできます(▶P.39「カメラを設定する」)。
- ※ ズームの倍率によって表示が異なります。

⑦ モード切替

- 撮影モードを切り替えます(▶P.39「撮影モードを切り替える」)。

⑧ カメラ切替

- アウトカメラとインカメラを切り替えます。

⑨ Google Lens

- かざした対象物の名前の確認やQRコードの読み取りができます。
- ・利用するには、モバイルネットワークやWi-Fi®ネットワークに接続してください。

⑩ 撮影(シャッター)

- 選択した撮影モード／設定により表示が変わります。
- ・シャッターを押している間は連写ができます。

⑪ 直前に撮影したデータ

- 直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。タップするとデータを確認できます。

カメラを設定する

・設定しているモードや本製品の状態によって、表示される設定項目が異なります。

1 モニター画面→[≡]

カメラ設定画面が表示されます。

2	アスペクト比	アスペクト比を選択します。
	解像度	動画の解像度を選択します。
	フラッシュ	フラッシュを選択します。
	セルフタイマー	セルフタイマーを設定します。設定した秒数が経過した後、静止画を撮影します。 「OFF」「2秒」「5秒」「10秒」 ・カウントダウン中はカウントダウン音が鳴動し、撮影ライトが点滅します。 ・カウントダウン中に[📷]をタップすると、カウントダウンを中止して撮影を停止します。
詳細設定	オートHDR	露出レベルの異なる複数枚の写真を1枚の写真に合成することで、白飛びや黒つぶれを防いだ画像を撮影することができます。
	連写	シャッターを押している間は連写するかどうかを設定します。
	低画素	CALS規格(工事関連の電子納品に最適な画像サイズ)に準拠し、画素数を抑えて撮影できます。
	手振れ補正	手振れ補正の設定を切り替えます。
	録画フォーマット	動画の録画フォーマットを選択します。
	録音方式	動画の録音方式を選択します。
	ミュート	音声なしで動画を撮影できます。
	風切り音低減	動画撮影中に発生する風切り音を低減できます。
	録画中割り込み防止	動画撮影中は通知による音とバイブレーションが撮影内容に入らないようにすることができます。
	保存先	保存先を設定します。
	位置情報付加	設定後に撮影したすべての静止画／動画に位置情報を付加します。
	モード保持	カメラ起動時、前回終了したモードで起動できます。
	音量ボタン	音量上ボタン／音量下ボタンをズームで使用する、静止画／録画シャッターで使用するかどうかなどを設定します。
	クイックSNS	モニター画面で上方向にスワイプすると、設定したアプリに最新の撮影データを連携できます。
	水準器	水準器を表示するかどうかを設定します。
	撮影補助ライン	撮影補助ラインを表示するかどうかを設定します。
	QRコード読み取り	撮影画面で自動的にQRコード(バーコード)を認識し、読み取るかどうかを設定します。
	テーマ選択	カメラアプリのテーマを選択します。 「ライト」「ダーク」「システムのデフォルト」
	カメラ機能ガイド	カメラの機能について確認できます。
	初期設定に戻す	カメラの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

撮影モードを切り替える

1 モニター画面→モード名をタップ

モニター画面またはモード名を左右にスライド／フリックしても撮影モードを切り替えることができます。

2	フォト	▶P.39「静止画を撮影する」
	ビデオ	▶P.39「動画を録画する」
	高画素	画素数の高い写真を撮影できます。
	プロフォト／プロビデオ	自身で細かく設定して撮影(明るさ、シャッタースピードなど)ができます。 ・[ISO]か[📷](シャッタースピード)をオート以外に設定すると、自動的に[📷](明るさ設定)は「O」、[📷](フォーカス)はマニュアルになります。 ・[📷](明るさ設定)を「O」以外に設定すると、[ISO]と[📷](シャッタースピード)は自動的にオートになります。 ・[ISO]か[📷](シャッタースピード)をオートに設定すると、もう一方の設定もオートになります。 ・[ISO]か[📷](シャッタースピード)をマニュアルに設定すると、もう一方の設定もマニュアルになります。 ・[ISO]か[📷](シャッタースピード)をオート以外に設定すると、フラッシュが使用できなくなります。

静止画を撮影／動画を録画する

静止画を撮影する

1 モニター画面→[フォト]→画面をタップ

タップしたところにピントが合います。

・モニター画面をロングタッチするとフォーカスロックされます。

2 [📷]

撮影したデータは自動的に保存されます。

動画を録画する

1 モニター画面→[ビデオ]→[📷]

録画が開始されます。

・録画中に[📷]をタップすると、静止画を撮影できます。

2 [📷]

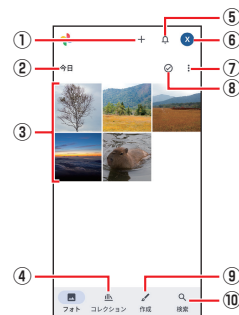
録画が停止します。録画したデータは自動的に保存されます。

 **memo**

- ◎ モニター画面で約2分間何も操作しないと、カメラが終了します。
- ◎ 常時、オートフォーカスが動作し、自動でピントを合わせるコンティニュアスAF機能を搭載しておりますが、被写体によっては、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ◎ 炎天下などで動画を録画している場合、本体の温度上昇によるやけどや故障を防ぐため、録画を停止する場合があります。

静止画／動画を再生する

1 ホーム画面→[フォト]



《データ一覧画面》

- 1 新規作成
アルバムの作成や写真プリントなどができます。
- 2 データ作成時期
- 3 保存データ
- 4 コレクション
お気に入りやゴミ箱などのデータを確認できます。
- 5 更新
共有パートナーアカウントの設定や、共有された写真の確認などができます。
- 6 アカウントメニュー
Google アカウントの管理、「フォト」アプリの設定、ヘルプやプライバシーポリシー、利用規約の確認などができます。
- 7 表示形式
類似した写真をグルーピングしたり、データ一覧画面のレイアウトを設定できます。
- 8 すべて選択
- 9 作成
コラージュやハイライト動画などを作成できます。
- 10 写真を検索

2 データを選択

データが再生されます。

 **memo**

◎ 「フォト」アプリで表示されるデータの中には、再生できないものもあります。

QRコード・バーコードリーダーを利用する

カメラを利用して、QRコードやバーコードを読み取ることができます。

読み取った内容は、Webサイト表示などに利用できます。

・「QRコード読み取り」(▶P.39)の設定を有効にする必要があります。

1 ホーム画面→[📷]→[フォト]

2 QRコード／バーコードをカメラに写す

QRコード／バーコードの内容を読み取ったポップアップが表示されます。

ポップアップをタップすると、Webサイト表示などを利用することができます。

 **memo**

- ◎ QRコード／バーコードとの距離が近すぎると、読み取りできない場合がありますので、カメラを近づけ過ぎないようにしてください。
- ◎ QRコード／バーコードを読み取る際には、アウトカメラを選択してください。

バーコードスキャナーを利用する

バーコードやQRコードを連続して読み取ったり、複数まとめて読み取ることができます。また、データを読み取ると、連携したアプリを自動で起動することもできます。

バーコードスキャナーをご利用になる前に

- 一般的な利用環境にて動作確認を実施しておりますが、暗所やコードのタイプ・サイズなどの利用環境によって、正しく読み取れない(誤読、認識できない)可能性があります。また、コードの汚れや欠け、湾曲、反射などによっても正しく読み取れない場合がありますので、使用の際は事前に十分な確認をお願いします。
- カメラを使用しますので、レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な画像が取得できなくなり、性能が劣化する要因となります。使用する前には、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。

バーコードを読み取る

1 ホーム画面→[バーコードスキャナー]→[バーコードスキャン]

読み取り画面が表示されます。

- 設定画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。
- 「照合機能」→「1:1 照合」/「1:N 照合」/「順番照合(N:N)」と操作すると、基準となるバーコードと、照合したいバーコードが一致しているか判定できます。

2 本製品のアウトカメラを読み取りたいバーコード／QRコードに向ける

- 「かざすだけスキャン」がONの場合は、読み取りが完了し、連携したアプリが起動します。
あらかじめ「アプリ連携」の設定で連携するアプリの設定をしてください。
- 「かざすだけスキャン」がOFFの場合は、「」をタップしてください。



memo

- ◎ 「かざすだけスキャン」をONにする場合は、読み取り画面で「」→「かざすだけスキャン」と操作してONにしてください。

バーコードスキャナーを設定する

1 ホーム画面→[バーコードスキャナー]→[バーコードスキャン]→

バーコードスキャナーの設定メニューが表示されます。

2	マルチスキャン	シングルスキャンとマルチスキャンを切り替えます。
	連続読み取り	複数のデータを連続して読み取るかどうかを設定します。
	かざすだけスキャン	本製品のアウトカメラを向けるだけで、自動でデータを読み取るかどうかを設定します。
	バーコードの種類	読み取るデータのフォーマットを設定します。
	誤読チェック回数	バーコードを誤読していないかどうかのチェック回数を設定します。
	アプリ連携	連携するアプリを設定します。
	通知音の音量	データを読み取ったときの通知音の音量を設定します。
	パイプ通知	データを読み取ったとき、パイプレータを動作させるかどうかを設定します。
	エイマー表示	読み取り範囲と画面中央にラインを表示させるかどうかを設定します。
	カメラ	アウトカメラとインカメラを切り替えます。
	QRコード連携	QRコード読み取り時、読み取り内容に合ったアプリを起動するかどうかを設定します。
	自動連携	データ読み取り時、「アプリ連携」で設定したアプリを起動するかどうかを設定します。
	Bluetoothによる文字列送信	Bluetooth®のシリアル通信で読み込んだデータを送信するかどうかを設定します。
	データのprefix	読み取ったデータの冒頭に、設定した語句を付与します。
	データのsuffix	読み取ったデータの末尾に、設定した語句を付与します。
	タブキー付加	読み取ったデータの末尾に、タブキーを付与します。
	エンターキー付加	読み取ったデータの末尾に、エンターキーを付与します。
	機能ガイド	バーコードスキャナーの機能について確認できます。
	初期設定に戻す	バーコードスキャナーの設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	変更履歴	アプリのバージョンの変更履歴を確認できます。

※ 設定の状況により、表示される項目や配置が異なる場合があります。

ScanExを利用する

バーコードやQRコードなどを連続して読み取ったり、複数まとめて読み取ることができます。また、読み取ったデータを他のアプリで利用できます。

- 高性能バーコード読み取り機能とLEDエイマーのご利用には別途ライセンスの購入が必要です。販売店または販売代理店までお問い合わせください。

ScanExをご利用になる前に

- 一般的な利用環境にて動作確認を実施しておりますが、暗所やコードのタイプ・サイズなどの利用環境によって、正しく読み取れない(誤読、認識できない)可能性があります。また、コードの汚れや欠け、湾曲、反射などによっても正しく読み取れない場合がありますので、使用の際は事前に十分な確認をお願いします。
- カメラを使用しますので、レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な画像が取得できなくなり、性能が劣化する要因となります。使用する前には、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。

バーコードを読み取る

1 ダイレクトボタンを長押し

- お買い上げ時は「トリガーモード」が「ワンショット」に設定されているため、読み取りに成功するまでバーコード読み取り画面が表示されます。読み取り画面を変更する場合は「トリガーモード」をタップして設定してください。

2 本製品のアウトカメラを読み取りたいバーコード／QRコードなどに向ける

- 読み取り後の出力については、「出力設定」をタップして設定してください。



memo

- ◎ ライセンス購入後のScanEx有効時、ダイレクトボタンに自動で割り当てられます。既にダイレクトボタンに別の機能を選択している場合は、自動で割り当てられませんので、ご利用の際は、ScanExを選択してください。
- ◎ ダイレクトボタンを押したとき、読み取り画面が表示されない場合は、「スキャン画面の設定」で「スキャン画面の表示」がONになっていること、ダイレクトボタンにScanExが設定されてるかを確認してください。

ScanExを設定する

1 アプリ一覧→[ScanEx]

ScanExの設定メニューが表示されます。

2 マルチスキャン	一度に複数のバーコードを読み取るかどうかを設定します。
連続読み取り	連続してバーコードを読み取るかどうかを設定します。
重複読み取り	重複しているバーコードも読み取るかどうかを設定します。
重複確認	重複しているバーコードも読み取ったとき、通知をするかどうかを設定します。
シングルスキャンの設定	シングルスキャンのときのバーコードの種類を設定します。
マルチスキャンの設定	マルチスキャンのときのバーコードの種類などを設定します。
ダイレクトボタン	ダイレクトボタンを使用するかどうかを設定します。
トリガーモード	ダイレクトボタン、「  」の操作方法を設定します。
読み取りボタン	「  」を表示するかどうかを設定します。
中央のみの読み取り	中央にあるバーコードのみを読み取るかどうかを設定します。
スキャン画面の設定	スキャン画面の表示方法などを設定します。
エイマー点灯	LEDエイマーを点灯するかどうかを設定します。
ライト点灯	ライトをつけたり、ライトの光を弱めてつけたりするかを設定します。
通知設定	読み取り成功時や終了時の通知を設定します。
誤読チェック回数	バーコードを誤読していないかどうかのチェック回数を設定します。
カメラ	アウトカメラとインカメラを切り替えます。
撮影モード	高画質に切り替えるかどうかを設定します。
連続横移動モード	連続で横移動ができるモードに切り替えるかどうかを設定します。
フォーカス位置	フォーカス位置を調整します。
ショートレンジ切替距離 (cm)	近い距離での読み取りに特化したモードに切り替えるように設定します。
ロングレンジ切替距離 (cm)	遠い距離での読み取りに特化したモードに切り替えるように設定します。
他のカメラアクセスを制限する	他のアプリからのカメラアクセスを制限するかどうかを設定します。
二度読み防止解除時間 (x100ms)	二度読みの防止を解除する時間を設定します。
スキャン終了後の待機時間 (x100ms)	読み取り後の待機時間を設定します。
スキャン終了後の待機時間 (終了処理) (ms)	読み取り後の待機時間を設定します。
読み取りタイムアウト時間 (x100ms)	タイムアウト時間を設定します。
白黒反転読み取り	白黒反転したバーコードを読み取るかどうかの設定をします。
表裏反転読み取り	表裏反転したバーコードを読み取るかどうかの設定をします。
エンコーディング	エンコーディングを設定します。
データ編集設定	読み取ったデータの冒頭や末尾に語句を付与するなど、読み取りデータの編集を設定します。
出力設定	出力方式や出力時の待ち時間などの設定をします。
ScanEx設定を優先する	外部 (API連携) アプリの設定より、ScanExの設定を優先するかどうかを設定します。
機能ガイド	ScanExの機能について確認できます。
初期設定に戻す	ScanExの設定をお買い上げ時の状態に戻します。
スキャンデモ	読み取りの設定を確認できます。

※ 設定の状況により、表示される項目や配置が異なる場合があります。

音声レコーダー

音声レコーダーを利用する

1 ホーム画面を上をスワイプ→[音声レコーダー]

初回起動時に文字起こし機能利用規約の確認画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

音声レコーダー画面が表示されます。

2 [・]

録音が開始されます。

3 [・]

録音が停止され、録音した音声は保存されます。

- 「」をタップすると録音を一時停止することができます。録音を再開する場合は「」をタップしてください。
- 録音を停止すると再生画面が表示され、「」をタップすると録音した音声を再生して確認できます。
- 音声レコーダー画面→[]→[ファイル形式]／[保存先]と操作すると、録音した音声データの録音ファイル形式や保存先を設定できます。



memo

- ◎ お使いの機器によっては、Bluetooth[®]機能で接続しているマイクから録音できないことがあります。その場合は、本製品の送話口(マイク)で録音してください。
- ◎ 録音中に音声着信すると、録音が一時停止されます。

音声を再生する

1 音声レコーダー画面→[≡]

音声データ一覧画面が表示されます。

- 音声データの「」をタップすると、音声データの共有や削除、ファイル名の編集、詳細情報の表示を行うことができます。

2 音声データをタップ

再生画面が表示され、音声の再生が開始されます。

- 再生画面→[]→[削除]／[共有]と操作すると、音声データを削除したり共有したりすることができます。
- 再生画面で再生中／一時停止中に「」／「」をロングタッチすると、再生の巻き戻し／早送りができます。
- 再生速度を変更するには、再生画面で「」→[1.0x]→再生速度を選択、と操作してください。

音声データを選択して削除する

1 音声データ一覧画面→[≡]

2 削除する音声データを選択→[OK]→[OK]

- [すべて選択]→[OK]→[OK]と操作すると、すべての音声データを削除することができます。

ライト

ライトを利用する

ライトを利用できます。

1 ステータスバーを下にスライド→[ライト]

ライトが点灯／消灯します。



memo

- ◎ ライトを目に近づけて点灯させないでください。また、ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様にライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- ◎ カメラ起動中は使用できません。
- ◎ ご使用時は電池の減りにご注意ください。

デバイス故障診断

デバイス故障診断を利用する

本製品の調子が悪いと感じたときや機能が正常に動かないときに、診断を行ってご自身で解決できます。

1 ホーム画面を上をスワイプ→[デバイス故障診断]

- 初回起動時に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 診断したい機能のアイコンをタップ→画面の指示に従って操作する

- [すべて診断を開始]をタップすると、すべての項目を診断できます。

3 診断結果を確認する

- 「再診断を開始」をタップすると、再度診断を行います。
- 「解決方法を探す」をタップすると京セラのQAチャットページにアクセスし、症状やお困りごとなどを質問することができます。

Wi-Fi HaLow Messenger

Wi-Fi HaLow Messengerとは、Wi-Fi HaLow™でつながるデバイス間で、チャットや通話ができるコミュニケーションアプリです。

メッセージを送信する

- 1 ホーム画面→[Wi-Fi HaLow Messenger]**
初回起動時に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 2 [📎]**
同じ相手にメッセージを送信するときは、メッセージ一覧で相手をタップしてもメッセージを作成できます。
- 3 連絡先一覧から相手先を選択→[作成]**
メッセージの作成画面が表示されます。
- 4 メッセージ入力欄に本文を入力**
- 5 [➡]**
メッセージが送信されます。

メッセージを受信する

- 1 メッセージを受信**
メッセージを受信すると、ステータスバーに「🔔」が表示され、メール受信音が鳴ります。
- 2 ステータスバーを下にスライド**
- 3 メッセージの情報を選択**
- 4 受信したメッセージを選択**
受信メッセージ内容表示画面が表示されます。

ファイル管理

ファイル管理	44
本製品の保存領域について	44
microSDメモリカードを利用する	44
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す	44
USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと接続する	45
メモリの使用量を確認する	45
microSDメモリカードを初期化する	45
USBホスト機能を利用する	45
Files	45
データを移動／コピーする	45

ファイル管理

本製品の保存領域について

本製品は、本体メモリ(内部ストレージ、内部共有ストレージ)とmicroSDメモリカード(SDカード)にデータを保存することができます。

本体メモリ	アプリや各アプリが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
microSDメモリカード	メディアファイルなどを保存します。

memo

- ◎ アプリによってはmicroSDメモリカードに保存するメニューやメッセージが表示されても、本体メモリに保存される場合があります。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む)を本製品に取り付けることにより、データを保存／移動／コピーすることができます。

memo

- ◎ 他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品で初期化してください。初期化する方法については、「microSDメモリカードを初期化する」(▶P.45)をご参照ください。
- ◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行っても本製品で再生できない場合があります。
- ◎ microSDXCメモリカードはSDXC対応機器でのみご使用いただけます。万一、SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモリカードを差し込んだ場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットはしないでください。SDXC非対応の機器でmicroSDXCメモリカードをフォーマットした場合、microSDXCメモリカードからデータが失われ、異なるファイルシステムに書き換えられます。また、microSDXCメモリカード本来の容量で使用できなくなることがあります。

■ 取扱上のご注意

- ・ microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- ・ microSDメモリカードを取り付けている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えたりしないでください。記録したデータが壊れる(消去される)ことがあります。
- ・ SIMカード／microSDメモリカードスロットには、液体、金属片、燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ・ 本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードに対応しています。

microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

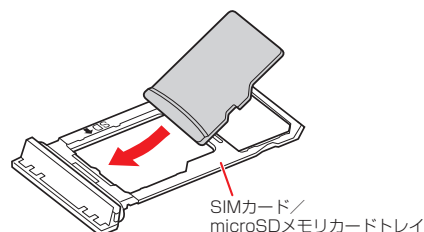
microSDメモリカードの取り付け／取り外しは、電源を切って、背面を上向きにし、電池バックを取り外してから行ってください(▶P.17)。取り付け／取り外しが終わったら、電池バックを取り付けてください(▶P.17)。

microSDメモリカードを取り付ける

1 本製品からSIMカード／microSDメモリカードトレイを取り外す(▶P.18)

2 microSDメモリカードを取り付ける

microSDメモリカードの切り欠きの位置に注意して、端子(金属)部分が下になるように取り付けてください。
microSDメモリカードがSIMカード／microSDメモリカードトレイから浮かないように、しっかりと取り付けてください。



3 本体にSIMカード／microSDメモリカードトレイを差し込む(▶P.18)

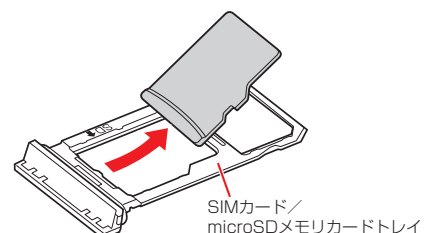
memo

- ◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損したりするおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

1 本製品からSIMカード／microSDメモリカードトレイを取り外す(▶P.18)

2 microSDメモリカードを取り外す



3 本体にSIMカード／microSDメモリカードトレイを差し込む(▶P.18)

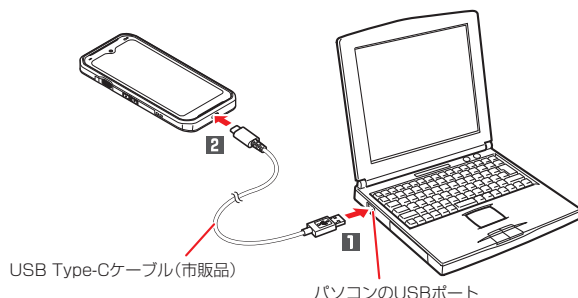
memo

- ◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
- ◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと接続する

本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続すると、本製品の内部ストレージ、microSDメモリカード内のデータを読み書きできます。また、音楽／動画データの転送も可能です。

- 1 パソコンが完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル(市販品)をパソコンのUSBポートに接続
- 2 本製品が完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込む
USB Type-Cプラグは表裏どちらの向きでも差し込むことができます。



- 3 ステータスバーを下にスライド
- 4 [このデバイスを USB で充電中]→[このデバイスを USB で充電中]→[ファイル転送]

■ 内部ストレージやmicroSDメモリカード内のデータをパソコンで操作する

・あらかじめパソコンと本製品を接続してください。

- 1 パソコンから本製品を開く
内部ストレージを操作する場合は、「内部共有ストレージ」を開いてください。
- 2 パソコンを操作してデータを転送
- 3 転送終了後、USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品から取り外す
USB Type-Cケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜いてください。

メモリの使用量を確認する

内部ストレージ、microSDメモリカードの合計容量や空き容量を確認できます。

- 1 ホーム画面→[⚙️]→[ストレージ]
 - 2
- | | |
|--------|----------------------------------|
| このデバイス | 内部ストレージの合計容量／空き容量が確認できます。 |
| SDカード | microSDメモリカードの合計容量／空き容量が確認できます。* |

※ メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。

microSDメモリカードを初期化する

microSDメモリカードを初期化すると、microSDメモリカードに保存されているデータ(アプリを含む)はすべて削除されます。

- 1 ホーム画面→[⚙️]→[ストレージ]→[このデバイス]
- 2 [SDカード]→[:]→[フォーマット]
- 3 [フォーマット]→[フォーマット]→[完了]



memo

◎ 初期化は充電しながら行うか、十分に充電された状態で行ってください。

USBホスト機能を利用する

本製品にはUSBホスト機能が搭載されています。周辺機器接続用USBケーブル(市販品)を外部接続端子に接続することで、USB機器(市販品)を利用することができます。

- ・USBホスト機能を使用する前に本製品を充電してください。
- ・消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、本製品の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に本製品の電源が切れることがあります。

- 1 本製品の外部接続端子に周辺機器接続用USBケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグを差し込む
- 2 周辺機器接続用USBケーブル(市販品)にUSB機器を接続する



memo

◎ すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。

Files

データを移動／コピーする

「Files」を利用してデータの移動／コピーなどができます。

- 1 ホーム画面→[Google]→[Files]
- 2 [内部ストレージ]／[SD カード]
- 3 フォルダを選択→移動／コピーするファイルの[:]
- 4 [移動]／[コピー]→[内部ストレージ]／[SD カード]
- 5 移動／コピー先のフォルダを選択→[ここに移動]／[ここにコピー]

Bluetooth®機能	48
Bluetooth®機能について.....	48
Bluetooth®機能をオンにする.....	48
Bluetooth®機器を登録する.....	48
Bluetooth®機能でデータを送受信する.....	48
無線LAN(Wi-Fi®)機能	49
無線LAN(Wi-Fi®)機能について.....	49
Wi-Fi®機能をオンにする.....	49
Wi-Fi®ネットワークに接続する.....	49
Wi-Fi®機能を切断する.....	49
Wi-Fi®機能の詳細設定をする.....	49
Wi-Fi Direct®を設定する.....	49
無線LAN(Wi-Fi HaLow™)機能	50
無線LAN(Wi-Fi HaLow™)機能について.....	50
Wi-Fi HaLow™機能をオンにする.....	50
Wi-Fi HaLow™ネットワークに接続する.....	50
Wi-Fi HaLow™機能を切断する.....	50
Wi-Fi HaLow™機能の詳細設定をする.....	50
Wi-Fi HaLow™通信の利用を設定する.....	50
Wi-Fi HaLow™利用中のモバイルネットワーク制限を設定する.....	50
テザリング機能	51
テザリングについて.....	51
Wi-Fi®テザリング機能を利用する.....	51
Wi-Fi HaLow™テザリング機能を利用する.....	51
USBテザリング機能を利用する.....	51
Bluetooth®テザリング機能を利用する.....	51
イーサネットテザリング機能を利用する.....	51

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能について

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®機器とワイヤレス接続できる技術です。Bluetooth®機器と通信するには、Bluetooth®機能をオンにする必要があります。また、必要に応じて本製品とBluetooth®機器のペアリング(登録)を行ってください。

memo

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。従って、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合と考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
- ◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Bluetooth®機能をオンにする

本製品でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機能をオンに設定します。

他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。

- ・他のBluetooth®機器からの接続を受けるには、本製品をあらかじめ他の機器から検出可能に設定しておく必要があります(▶P.48)。

1 ホーム画面→[]→[接続設定]→[接続の詳細設定]→[Bluetooth]

Bluetooth®設定画面が表示されます。

2 「Bluetooth を使用」を「ON」にする

memo

- ◎ Bluetooth®機能のオン/オフ設定は、電源を切っても変更されません。
- ◎ Bluetooth®機能は本製品の電源を切った状態では利用できません。
- ◎ Bluetooth®機能をオンにすると、電池の消費が早くなります。使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。

Bluetooth®機器を登録する

本製品と他のBluetooth®機器を接続するには、あらかじめペアリング(登録)を行います。

- ・機器によって、ペアリングのみ行う場合と、続けて接続まで行う場合があります。

1 Bluetooth®設定画面→「Bluetooth を使用」を「ON」にする

2 [新しいデバイスとペア設定]

検出されたBluetooth®デバイス名が一覧表示されます。

3 ペアリングを行うBluetooth®デバイス名を選択

4 画面の指示に従って操作

ペア設定コード入力画面が表示されたときは、本製品とBluetooth®機器で同じペア設定コードを入力します。

memo

- ◎ Bluetooth®機器との接続中には、他のBluetooth®機器を登録できない場合があります。
- ◎ ペアリングを行うデバイス側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。

■ ペア設定コードについて

ペア設定コードは、Bluetooth®機器どうしが初めて通信するときに、お互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth®機器で確認する暗証番号です。

memo

- ◎ ペア設定コード入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
- ◎ 接続する機器によっては、毎回ペア設定コードの入力が必要な場合があります。

他のBluetooth®機器から検出可能にする

1 Bluetooth®設定画面→「Bluetooth を使用」を「ON」にする

2 [新しいデバイスとペア設定]

- ・他のBluetooth®機器から検出可能になります。

■ 他のBluetooth®機器からペアリング要求を受けた場合

ペアリングを要求された場合は、必要に応じて「ペア設定する」をタップするか、ペア設定コードを入力してBluetooth®機器を認証します。

Bluetooth®機器の接続を解除する

1 ホーム画面→[]→[接続設定]→[すべて表示]→接続を解除するBluetooth®デバイス名の[]→[削除]→[このデバイスとのペア設定を解除]

Bluetooth®機能でデータを送受信する

あらかじめ本製品のBluetooth®機能をオンにしてください。

Bluetooth®機能でデータを送信する

連絡先、静止画、動画、音楽などのファイルを、他のBluetooth®機器に送信できます。

- ・送信は各アプリの「」や「」などから行ってください。

Bluetooth®機能でデータを受信する

1 他のBluetooth®機器からデータ送信

ステータスバーに「」が表示されます。

2 ステータスバーを下にスライド

3 [着信ファイル]→[承諾]

ステータスバーに「」が表示され、データの受信が開始されます。

通知バネルのお知らせで受信状態を確認できます。

無線LAN(Wi-Fi®)機能

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。



memo

- ◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN(Wi-Fi®)親機(Wi-Fi®ネットワーク)をご用意ください。
- ◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi®ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- ◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に進入されるなどの行為をされしまう可能性があります。お客さまの判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fi®機能をオンにする

Wi-Fi®機能を使用するには、Wi-Fi®機能をオンにしてから利用可能なWi-Fi®ネットワークを検索して接続します。

1 ホーム画面→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[インターネット]→[Wi-Fi]を「ON」にする

Wi-Fi®機能が起動し、利用可能なWi-Fi®ネットワークがスキャンされます。Wi-Fi®機能がオンになるまで、時間がかかる場合があります。

memo

- ◎ Wi-Fi®機能がオンのときでもデータ通信を利用できます。ただしWi-Fi®ネットワーク接続中は、Wi-Fi®機能が優先されます。
- ◎ Wi-Fi®ネットワークが切断されると、自動的にデータ通信に切り替わります。
- ◎ Wi-Fi®機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fi®ネットワークの電波強度は、本製品をお使いの位置によって異なります。Wi-Fi®ルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 ホーム画面→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[インターネット]→[Wi-Fi]を「ON」にする

Wi-Fi®設定画面が表示され、利用可能なWi-Fi®ネットワークが一覧表示されます。

2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択→[接続]

- ・セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)*を入力し、「接続」をタップします。
※パスワード(セキュリティキー)は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ・接続が完了すると、ステータスバーに[]が表示されます。

memo

- ◎ Wi-Fi®設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをタップすると、ネットワーク情報の詳細が表示されます。
- ◎ お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれなかったりする場合があります。
- ◎ QRコードを利用してWi-Fi®ネットワークに接続することや、接続情報を共有することができます。

Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する

1 Wi-Fi®設定画面→[ネットワークを追加]

2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワークSSIDを入力

3 セキュリティを選択

必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

4 [保存]

memo

- ◎ 手動でWi-Fi®ネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

Wi-Fi®ネットワークをQRコードで追加する

1 Wi-Fi®設定画面→[ネットワークを追加]→[]

2 本製品のカメラにWi-Fi®ネットワークのQRコードを写す

Wi-Fi®機能を切断する

1 Wi-Fi®設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークを選択

2 [接続を解除]

memo

- ◎ 「削除」をタップすると、再接続のときにパスワード(セキュリティキー)の入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi®機能の詳細設定をする

1 Wi-Fi®設定画面→[ネットワーク設定]

2 必要な項目を設定

Wi-Fi を自動的にONにする	保存済みのネットワークの検出時にWi-Fi®をONにするかどうかを設定します。
利用可能なパブリックネットワークを通知する	公衆無線LANが利用可能なときに通知するかどうかを設定します。
WEP ネットワークを許可	WEPネットワークを許可するかどうかを設定します。
証明書をインストール	Wi-Fi®認証用の証明書をインストールします。
Wi-Fi Direct	▶P.49「Wi-Fi Direct®を設定する」
高度なWi-Fi設定	未接続状態のスキャン間隔、およびWi-Fi®でインターネットに接続できないときにモバイルネットワークを使用するかどうかなどを設定します。

Wi-Fi Direct®を設定する

Wi-Fi Direct®対応デバイスどうしを接続するように設定できます。

1 Wi-Fi®設定画面→[ネットワーク設定]→[Wi-Fi Direct]

デバイス一覧画面が表示されます。

- ・接続要求を出す場合は、デバイス一覧画面から接続先を選択し、画面の指示に従って操作します。接続を切断する場合は、接続済みのデバイスをタップして切断します。
- ・[:]→[デバイスの検索]と操作すると、デバイス一覧を更新できます。
- ・[:]→[デバイス名を変更]と操作すると、デバイス側で表示される本製品の名前を変更できます。

無線LAN(Wi-Fi HaLow™)機能

無線LAN(Wi-Fi HaLow™)機能について

工場や倉庫内に構築したWi-Fi HaLow™用アクセスポイントに接続して通信することが可能です。従来のWi-Fi®網/4G・5G回線がなくても 端末同士でコミュニケーション(通話/チャット)を行うことも可能です。

memo

◎ 無線LAN(Wi-Fi HaLow™)機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に進入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fi HaLow™機能をオンにする

Wi-Fi HaLow™機能を使用するには、Wi-Fi HaLow™機能をオンにしてから利用可能なWi-Fi HaLow™ネットワークを検索して接続します。

- 1 ホーム画面→[]→[ネットワークとインターネット]→[インターネット]→[Wi-Fi HaLow]→[Wi-Fi HaLow]を[ON]にする
Wi-Fi HaLow™機能が起動し、利用可能なWi-Fi HaLow™ネットワークがスキャンされます。
Wi-Fi HaLow™機能がオンになるまで、時間がかかる場合があります。

memo

◎ Wi-Fi HaLow™機能がオンのときでもデータ通信を利用できます。ただしWi-Fi HaLow™ネットワーク接続中は、Wi-Fi HaLow™機能が優先されます。
◎ Wi-Fi HaLow™ネットワークの電波強度は、本製品をお使いの位置によって異なります。

Wi-Fi HaLow™ネットワークに接続する

- 1 ホーム画面→[]→[ネットワークとインターネット]→[インターネット]→[Wi-Fi HaLow]→[Wi-Fi HaLow]を[ON]にする
Wi-Fi HaLow™設定画面が表示され、利用可能なWi-Fi HaLow™ネットワークが一覧表示されます。
- 2 接続するWi-Fi HaLow™ネットワークを選択→[接続]
 - ・セキュリティで保護されたWi-Fi HaLow™ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)*を入力し、[接続]をタップします。
※ パスワード(セキュリティキー)は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
 - ・接続が完了すると、ステータスバーに[]が表示されます。

memo

◎ Wi-Fi HaLow™接続中は、利用できるサービスを制限しています。Wi-Fi HaLow™通信の制限を解除することもできます。(▶P.50)
◎ Wi-Fi HaLow™設定画面で接続中のWi-Fi HaLow™ネットワークをタップすると、ネットワーク情報の詳細が表示されます。
◎ お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれなかったりする場合があります。遮蔽物のない見通しの良い場所で利用してください。
◎ QRコードを利用してWi-Fi HaLow™ネットワークに接続することや、接続情報を共有することができます。

Wi-Fi HaLow™ネットワークを手動で追加する

- 1 Wi-Fi HaLow™設定画面→[ネットワークを追加]
- 2 追加するWi-Fi HaLow™ネットワークのネットワークSSIDを入力
- 3 セキュリティを選択
必要に応じて、追加するWi-Fi HaLow™ネットワークのセキュリティ情報を入力します。
- 4 [保存]

memo

◎ 手動でWi-Fi HaLow™ネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

Wi-Fi HaLow™ネットワークをQRコードで追加する

- 1 Wi-Fi HaLow™設定画面→[ネットワークを追加]→[]
- 2 本製品のカメラにWi-Fi HaLow™ネットワークのQRコードを写す

Wi-Fi HaLow™機能を切断する

- 1 Wi-Fi HaLow™設定画面→接続中のWi-Fi HaLow™ネットワークを選択
- 2 [接続を解除]

memo

◎ [削除]をタップすると、再接続のときにパスワード(セキュリティキー)の入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi HaLow™機能の詳細設定をする

- 1 Wi-Fi HaLow™設定画面→[ネットワーク設定]
- 2 必要な項目を設定

証明書インストール	Wi-Fi HaLow™認証用の証明書をインストールします。
高度なWi-Fi HaLow設定	未接続状態のスキャン間隔、およびWi-Fi HaLow™でインターネットに接続できないときにモバイルネットワークを使用するかなどを設定します。

Wi-Fi HaLow™通信の利用を設定する

Wi-Fi HaLow™通信の利用/制限を設定できます。

- 1 Wi-Fi HaLow™設定画面→[Wi-Fi HaLow通信の利用]

アプリやサービスの一覧が表示されます。
オンに設定するとWi-Fi HaLow™通信を利用できます。

- ・[[:]]→[システムアプリを表示]と操作すると、システムアプリを表示できます。
- ・[[:]]→[設定をリセット]と操作すると、初期の設定に戻ります。

Wi-Fi HaLow™利用中のモバイルネットワーク制限を設定する

Wi-Fi HaLow™のつながりやすさを保つため、Wi-Fi HaLow™またはWi-Fi HaLow™テザリングのいずれかがONの場合、900MHz帯のモバイルネットワークを無効にします。

- 1 Wi-Fi HaLow™設定画面→[変更]→[Wi-Fi HaLow利用中のモバイルネットワークを制限]
 - ・設定をOFFにした場合、Wi-Fi HaLow™の通信品質が著しく低下するおそれがあります。
 - ・設定をONにした場合、SIMの機能に一部制限がかかることがあります。制限がかかると、SIMを利用した音声通話やデータ通信はご利用できません。

テザリング機能

テザリングについて

テザリングとは、本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続することができる機能です。無線LAN(Wi-Fi®)機器を最大15台まで接続したり、USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと本製品を接続したり、Bluetooth®機器を最大4台まで接続して、インターネットに接続することもできます。



◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

Wi-Fi®テザリング機能を利用する

- 1 ホーム画面→[📶]→[ネットワークとインターネット]→[アクセスポイントとテザリング]
- 2 Wi-Fi アクセス ポイント 本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続し、セットアップと管理をします。
- 3 「Wi-Fi アクセス ポイントを使用する」を「ON」にする
初回起動時には確認画面が表示される場合があります。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。
「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。



◎ 操作2で「セキュリティ」を「なし」にすると、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。

Wi-Fi HaLow™テザリング機能を利用する

- 1 ホーム画面→[📶]→[ネットワークとインターネット]→[アクセスポイントとテザリング]
- 2 Wi-Fi HaLow アクセス ポイント 本製品をポータブルアクセスポイントとして使用します。
- 3 「Wi-Fi HaLow アクセス ポイントを使用する」を「ON」にする



◎ 操作3で「セキュリティ」を「なし」にすると、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。

USBテザリング機能を利用する

- 1 ホーム画面→[📶]→[ネットワークとインターネット]→[アクセスポイントとテザリング]
- 2 USB テザリング USB経由でテザリングします。
あらかじめ「USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと接続する」(▶P.45)を参照してパソコンと接続してください。



◎ USBテザリング機能をオフにする場合は、操作2で「USB テザリング」を再度タップして「OFF」にするか、USB Type-Cケーブル(市販品)を抜いてください。

Bluetooth®テザリング機能を利用する

- 1 ホーム画面→[📶]→[ネットワークとインターネット]→[アクセスポイントとテザリング]
- 2 Bluetooth テザリング 本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続します。
Bluetoothペアリングについては「Bluetooth®機器を登録する」(▶P.48)を参照してください。

イーサネットテザリング機能を利用する

- 1 ホーム画面→[📶]→[ネットワークとインターネット]→[アクセスポイントとテザリング]
- 2 イーサネット テザリング イーサネット経由でテザリングします。
あらかじめ本製品をUSB-LANアダプタ(市販品)と有線LANケーブル(市販品)でパソコンと接続してください。



◎ イーサネットテザリング機能をオフにする場合は、操作2で「イーサネット テザリング」を再度タップして「OFF」にするか、パソコンなどと本製品からUSB-LANアダプタ(市販品)と有線LANケーブル(市販品)を抜いてください。

機能設定	54
設定メニューを表示する	54
Googleの設定をする	54
ネットワークとインターネットの設定をする	54
接続設定をする	55
アプリの設定をする	55
通知の設定をする	55
音とバイブレーションの設定をする	55
モードの設定をする	55
ディスプレイの設定をする	56
ダイレクトボタンの設定をする	56
ストレージに関する設定をする	56
バッテリー使用量を表示する	56
システムの設定をする	57
デバイス情報に関する設定をする	58
セキュリティとプライバシーの設定をする	58
位置情報の設定をする	59
パスワードとアカウントの設定をする	59
安全性と緊急情報の設定をする	59
ユーザー補助の設定をする	59

機能設定

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズや、セキュリティの設定、データの初期化などを行うことができます。

- 1 ホーム画面→[]
設定メニューが表示されます。

■ 設定メニュー項目一覧

項目	設定内容	参照先
プロフィール	プロフィールの表示や登録を行います。	P.34
Google	Googleのアカウントおよびサービスに関する情報の確認や設定の変更などができます。	P.54
ネットワークとインターネット	Wi-Fi®や機内モード、テザリングなどネットワークについて設定します。	P.54
接続設定	Bluetooth®やNFCなど本製品と接続する機器について設定します。	P.55
アプリ	アプリの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、有効／無効の設定、アンインストールなどアプリに関する設定などを行います。	P.55
通知	通知の管理などを行います。	P.55
音とバイブレーション	マナーモードやバイブレーション、着信音、通知音、操作音など、音に関する設定を行います。	P.55
モード	高度な通知管理や、おやすみ時間や運転中の設定を行います。独自のモードを作成することもできます。	P.55
ディスプレイ	明るさや画面の自動回転、フォントサイズなど、画面に関する設定を行います。	P.56
壁紙とスタイル	画面の壁紙やスタイルなどを設定します。	—
ホーム切替	ホームアプリを切り替えます。	P.25
ダイレクトボタン	ダイレクトボタンの動作を設定します。	P.56
ストレージ	本製品本体内やmicroSDメモ리카ードのメモリ容量の確認、microSDメモ리카ードの初期化を行います。	P.56
バッテリー	電池パックのバッテリー残量や使用量を表示します。また、バッテリーセーバーなどの設定ができます。	P.56
システム	言語と地域の設定や日付・時刻の設定、データのバックアップや復元、初期化などを行います。	P.57
デバイス情報	本製品のバージョンなどの情報を確認します。	P.58
セキュリティとプライバシー	セキュリティに関する設定や、権限、アカウント アクティビティなど、プライバシーに関する設定を行います。	P.58
位置情報	無線LAN(Wi-Fi®)機能やGPS機能などを使った位置情報に関する設定を行います。	P.59
パスワードとアカウント	本製品とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。	P.59
Digital Wellbeing、保護者による使用制限	本製品の使用状況を1日単位で確認できます。 ・ロックを解除した回数や受信した通知の件数を表示したり、アプリごとにタイマーを設定したりして、本製品の使いすぎを抑制します。	—
安全性と緊急情報	緊急通報メールや緊急位置情報サービスなどの設定を行います。	P.59
ユーザー補助	ユーザー補助サービスの設定を行います。	P.59

Googleの設定をする

Googleのアカウントおよびサービスに関する情報の確認や設定の変更などができます。
・Google設定の詳細については、Google設定メニュー→[]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご確認ください。

- 1 設定メニュー→[Google]
Google設定メニューが表示されます。
- 2 各項目を設定

ネットワークとインターネットの設定をする

Wi-Fi®やホームネットワークの設定など、通信に関する設定を行います。

- 1 設定メニュー→[ネットワークとインターネット]
ネットワークとインターネット設定メニューが表示されます。

2 インターネット	モバイルネットワークや、Wi-Fi®(▶P.49)、Wi-Fi HaLow™(▶P.50)などに関する設定をします。
イーサネット	イーサネットを使用するかどうかやイーサネットの詳細な設定を行います。
SIM	SIMカードやモバイルネットワークの詳細な設定などを行うことができます。 ・「5G SA」*:5G SAを使用するかどうかを設定します。
機内モード	▶P.54「機内モードを設定する」
アクセス ポイントとテザリング	▶P.51「テザリング機能」
データセーバー	データセーバーの設定を行います。 ・データセーバーを「ON」にすると、一部のアプリによるバックグラウンドでの送受信を停止することで、データ使用量を抑制します。
VPN	▶P.54「VPNを設定する」
プライベート DNS	セキュリティとプライバシーの保護のため、プライベート DNSを切り替えることができます。
接続の自動調整	ネットワーク接続を自動的に管理するかどうかを設定します。

* 表示される項目は、利用するSIMの種類などによって異なる場合があります。

memo

◎ 「SIM」→利用するSIMの「モバイルデータ」をオフにするとデータ通信が無効になり、5G/4G通信でのデータ通信ができなくなります。

eSIMをダウンロードする

- 1 ネットワークとインターネット設定メニュー→[SIM]→[SIMを追加]
- 2 [eSIMを設定]
- 3 事業者から提供されたQRコードをスキャン
以降は、画面の指示に従って操作してください。

機内モードを設定する

機内モードを有効に設定すると、ワイヤレス機能(電話、データ通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、無線LAN(Wi-Fi HaLow™)機能、Bluetooth®機能)がすべてオフになります。

- 1 ネットワークとインターネット設定メニュー→[機内モード]を有効にする
機内モードが有効に設定されると、ステータスバーに[]が表示されます。

memo

◎ 機内モードが有効の場合でも無線LAN(Wi-Fi®)／無線LAN(Wi-Fi HaLow™)／Bluetooth®機能を有効にすることができます。航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。
◎ 機内モードを有効に設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、無線LAN(Wi-Fi HaLow™)機能、Bluetooth®機能による通信などもオフにします。

VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク(VPN:Virtual Private Network)は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

■ VPNを追加する

- 1 ネットワークとインターネット設定メニュー→[VPN]
VPN画面が表示されます。
- 2 [+]
- 3 以降、画面の指示に従って設定
VPN画面のリストに、新しいVPNが追加されます。

接続設定をする

1 設定メニュー→[接続設定]

接続設定メニューが表示されます。

2	USB	USBケーブルでパソコンに接続しているときの動作を設定します。 ・本製品をUSBケーブルでパソコンに接続しているときに表示されます。
	新しいデバイスとペア設定	▶P.48「Bluetooth®機器を登録する」
	保存済みのデバイス	以前ペアリングを行ったデバイス名が表示されます。
接続の詳細設定	Bluetooth	▶P.48「Bluetooth®機能」
	音声の共有	音声の共有を有効にするかどうかを設定します。LE Audio対応のイヤホン／ヘッドホンに接続してください。
	複数デバイス間サービス	複数のデバイス間サービスの設定を行います。
	NFC	NFCを有効にするかどうかなどを設定します。
	キャスト	Miracast等の機器と接続し、他のデバイスと画面や音を共有します。
	印刷	▶P.55「印刷に関する設定をする」
	Chromebook Quick Share	Chromebookと接続します。 近くにある他のデバイスとファイルを共有します。
	Android Auto	車の画面に接続し、車内でもアプリやGoogleサービスが使えるように設定できます。
	USB機器の自動検出	USB機器の自動検出を有効にするかどうかを設定します。
	Qualcomm® aptX™ オーディオ設定	Qualcomm® aptX™ の各種設定をします。

印刷に関する設定をする

・印刷の利用には、Google アカウントが必要です。詳しくは、「Google アカウントをセットアップする」(▶P.21)をご参照ください。

1 接続設定メニュー→[接続の詳細設定]→[印刷]

・「サービスを追加」をタップして、Google Playからプリンタを追加してください。

アプリの設定をする

アプリごとに通知や権限、デフォルトのアプリの設定などを行います。

1 設定メニュー→[アプリ]

アプリ設定メニューが表示されます。

2	すべてのアプリ	選択したアプリの詳細画面®が表示され、アプリのアンインストールなどができます。 ・Google Playなどからインストールしたアプリを選択すると「アンインストール」が表示されます。アンインストールを実行するとアプリは削除されます。 ・アプリによっては削除できないものもあります。
	デフォルトのアプリ	デフォルトで使用するブラウザアプリやホームアプリ、電話アプリ、SMSアプリなどを設定します。
	アシスタント	「OK Google」とその他のアシスタントの設定を行います。
	利用時間	本製品の利用時間や、アプリの利用時間を表示します。
	クラウドメディアの設定	アプリなどから写真や動画の選択を求められたときに、クラウドメディアを使用するかどうかを設定します。
	連絡先アプリのストレージ	連絡先の保存先を設定できます。
	使用されていないアプリ	使用されていないアプリを表示します。
	アプリのバッテリー使用量	バッテリーの使用方法をアプリごとに設定します。
	特別なアプリアクセス	本製品の機能や情報にアクセスするアプリの設定を確認／変更します。

※ 表示される項目はアプリケーションによって異なります。

通知の設定をする

アプリや機能の通知に関する設定を行います。

1 設定メニュー→[通知]

2	アプリの通知	各アプリからの通知を設定します。
	通知履歴	通知パネルに表示された通知の履歴を見ることができます。
	会話	優先度の高い会話や設定を変更した会話を表示できます。
	バブル	会話をフローティングアイコンとして表示します。
	通知の確認、返信、管理	通知を読み取るアプリとデバイスを設定します。
	スタート画面上の通知	スタート画面に通知を表示するかどうかを設定します。
	機密性の高い通知*	機密性の高いコンテンツをロック画面に表示するかどうかを設定します。
	通知のクールダウン	短時間の間に通知が多く届いた場合に、最大1分間、音量を下げて通知を最小限に抑えるかどうかを設定します。
	点滅による通知	通知を受け取ったときやアラームが鳴ったときに撮影ライト／ライトや画面を点滅させるかどうかを設定します。
	緊急速報メール	緊急速報メールに関する設定を行います。
	ステータスバーにサイレント通知を表示しない	ステータスバーにサイレント通知を表示するかどうかを設定します。
	通知のスヌーズを許可する	通知のスヌーズを許可するかどうかを設定します。
	アプリアイコン上の通知ドット	アイコンにドット(点)を表示してアプリの通知をお知らせするかどうかを設定します。
	お知らせLED	不在着信やメール受信、充電状態などの通知を、着信ランプでお知らせするかどうかを設定します。
	拡張通知	操作の候補や返信の候補などを利用するかどうかを設定します。

※ 画面ロックの解除方法(▶P.58)を「なし」／「スワイプ」に設定している場合は表示されません。

音とバイブレーションの設定をする

マナーモードの設定や着信音など、音やバイブレーションに関する設定を行います。

1 設定メニュー→[音とバイブレーション]

音とバイブレーション設定メニューが表示されます。

2	メディアの音量	▶P.55「各種音量を調節する」
	音声の再生先	音声の再生先を設定できます。
	通話の音量	▶P.55「各種音量を調節する」
	着信音の音量	
	通知の音量	
	アラームの音量	
	マナーモード	▶P.27「マナーモードを設定する」
	着信音	着信音を設定します。
	自動字幕起こし	音声を検出したときに字幕を表示するかどうかを設定できます。
	メディア	メディアの再生時に通知パネルに表示されるプレーヤーを、再生終了時に非表示にするかどうかなどを設定します。
	バイブパターン	バイブレーションのパターンを設定します。
	バイブレーションとハプティクス	着信時や通知時、アラーム時、タップ操作時のバイブレーションの強さなどを設定します。
	デフォルトの通知音	通知音を設定します。
	デフォルトのアラーム音	アラーム音を設定します。
	ダイヤルパッドの操作音	タッチ操作音や充電開始音などの設定をします。
	スタート画面音	
	充電開始音とバイブレーション	
	充電完了音とバイブレーション	
	タッチ／クリック操作音	

各種音量を調節する

1 音とバイブレーション設定メニュー→スライダを左右にドラッグして、音量を調節



memo

◎ マナーモード設定時に、「着信音の音量」の音量を上げるとマナーモードは解除されます。「着信音の音量」の音量を0にすると、マナーモード(バイブレーション)に設定されます。

モードの設定をする

高度な通知管理や、おやすみ時間や運転中の設定を行います。独自のモードを作成することもできます。

1 設定メニュー→[モード]

モード設定メニューが表示されます。

2	高度な通知管理	大切な人やアプリからの通知のみが届くように設定します。
	おやすみ時間	おやすみ時間に関する設定をします。
	運転	運転中の動作に関する設定をします。
	独自のモードを作成する	独自のモードを作成します。画面の指示に従って操作してください。

ディスプレイの設定をする

画面の明るさの設定や文字フォントサイズの変更など、表示に関する設定を行います。

1 設定メニュー→[ディスプレイ]

ディスプレイ設定メニューが表示されます。

2	明るさのレベル	画面の明るさを設定します。
	明るさの自動調節	周囲の明るさに合わせて、画面の明るさを自動調節するかどうかを設定します。
	スタート画面	▶P.56「スタート画面の設定を行う」
	画面消灯	スリープモードへ移行するまでの時間を設定します。
	持っている間画面点灯	端末を持っている間は画面を常時点灯するかどうかを設定します。
	ダークモード	黒を基調とした画面に変更します。
	表示サイズとテキスト	画面に表示されるフォントサイズやアイテムのサイズなどを設定します。
	夜間モード	画面を黄味がかった色にして、薄明かりでも画面を見やすくするように設定します。
	色のコントラスト	色のコントラストを変更して、テキストやアイコンなどを見分けやすくすることができます。
	グローブタッチ	グローブタッチモードでは、手袋を着用した状態でもタッチを検出できるようにします。
	スクロールの感度	1回のフリックで画面がスクロールする距離を設定します。
	ポケットモード	ポケットやカバンの中での誤動作防止を有効にするかどうかを設定します。
	画面の自動回転	▶P.24「縦／横画面表示を切り替える」
	スクリーンセーバー	▶P.56「スクリーンセーバーを設定する」
	クイック設定の表示	通知パネルにON／OFF設定アイコンを表示するかどうかを設定します。

スタート画面の設定を行う

1 ディスプレイ設定メニュー→[スタート画面]

2	ブライバシー	スタート画面に通知を表示するかどうかを設定します。
	スタート画面メッセージ	スタート画面に表示するメッセージを設定します。
	デバイスコントロールを使用	ロック画面にデバイスのコントロールを表示するかどうかを設定します。
	ショートカット	スタート画面の左／右ショートカットをカスタマイズできます。
	ダイナミッククロック	スタート画面の状態に応じて時計のサイズを調整するかどうかを設定します。
	スマートフォンを持ち上げて点灯	本製品を持ち上げる動作でディスプレイを点灯させるかどうかを設定します。

スクリーンセーバーを設定する

1 ディスプレイ設定メニュー→[スクリーンセーバー]

2 「スクリーンセーバーを使用する」を「ON」にする→スクリーンセーバーの種類を選択

3 [起動するタイミング]→[充電時] 「プレビュー」をタップすると、選択したスクリーンセーバーが起動します。

ダイレクトボタンの設定をする

ダイレクトボタンを押したときの動作や起動させるアプリを設定します。

1 設定メニュー→[ダイレクトボタン]

2 [ダイレクトボタン右]／[ダイレクトボタン左]

3 [1回押し]／[2回押し]／[長押し]→アプリを選択／その他の動作を選択

memo

- ◎ 以下の状態の場合は、ダイレクトボタンの動作は無効となります。
 - ・ソフトウェア更新中
 - ・緊急通報時の折り返しモード中
- ◎ ダイレクトボタンに設定しているアプリをアンインストールした場合、ダイレクトボタンは未設定状態になります。

ストレージに関する設定をする

1 設定メニュー→[ストレージ]

2	このデバイス	内部ストレージの使用量と合計容量を確認できます。 ・項目をタップすると項目ごとのデータの使用量を確認できます。
	SDカード	microSDメモリーカードの使用量と合計容量を確認できます。 ・microSDメモリーカードが認識されている時に[:]→[取り出し]と操作すると、認識を解除してmicroSDメモリーカードを安全に取り外しできます。 ・microSDメモリーカードが認識されていない時に[このデバイス]→[SDカード]→[:]→[マウント]と操作すると、microSDメモリーカードを認識します。

※ 表示される項目は、端末の状態によって異なります。



memo

- ◎ 内部共有ストレージの各項目(アプリ、画像、動画など)をタップすると、各項目のアプリを起動できます。
- ◎ microSDメモリーカードを認識しているときに、[このデバイス]→[SDカード]→[ファイル]と操作すると、アプリの選択画面が表示され、データの移動やコピーなどができます。

バッテリー使用量を表示する

1 設定メニュー→[バッテリー]

電池パックのバッテリー残量や充電状況などが表示されます。



memo

- ◎ 「バッテリーの状態」の充放電回数は、出荷前の工場検査のため、本製品が初期設定前に使用されたような内容が表示されたり、充放電回数がゼロになっていない場合がありますが、これは正常な状態です。

バッテリーケアモードを設定する

1 設定メニュー→[バッテリー]

2 [バッテリーケアモード]→「バッテリーケアモードを使用」を「ON」にする→[再起動]

バッテリーケアモードが設定されると、電池アイコンにハートマークが表示されます。



memo

- ◎ バッテリーケアモードをONにすると、充電が約85%で止まります。ただし、電池残量は「100%」と表示されます。1回の充電での使用時間は短くなります。

内蔵電池の状態を確認する

1 設定メニュー→[バッテリー]

2 [バッテリー交換]→[内蔵バッテリーの状態]→[OK]



memo

- ◎ 本製品の内蔵電池は電源を入れたままバッテリー交換を行う(▶P.17)ときのみ使用します。内蔵電池の寿命が近い場合は、バッテリー交換時の画面に内蔵電池が劣化しているメッセージが表示されますので、早めに交換することをおすすめします。

システムの設定をする

1 設定メニュー→[システム]

システム設定メニューが表示されます。

2	言語と地域	▶P.57「言語と地域に関する設定をする」
キーボード		▶P.57「キーボードに関する設定をする」
ジェスチャー	カメラをすばやく起動	電源ボタンを2回押してカメラを起動するかどうかを設定します。
	ナビゲーションモード	戻る、ホームへの移動、アプリの切り替えの操作について設定します。
	スマートフォンを持ち上げて点灯	本製品を持ち上げる動作でディスプレイを点灯させるかどうかを設定します。
	片手モード	片手操作用に画面を縮小するモードを設定します。
	電源ボタンを長押し	電源ボタンを長押ししたときにGeminiを起動するかどうかなどを設定します。
	着信音をミュート*	電源ボタンと音量上ボタンを同時に押して着信音を停止するときの動作を設定します。
日付と時刻		▶P.57「日付と時刻の設定をする」
自動再起動		設定した時刻／曜日に再起動させるかどうかを設定します。
充電時自動電源ON		電源を切っているときに充電をすると、自動で電源を入れるかどうかを設定します。
バックアップ		Google アカウントを利用して、アプリのデータや本製品の設定などを自動的にバックアップするか設定します。
システムアップデート		▶P.62「ソフトウェアを更新する」
リセットオプション	モバイル ネットワークの設定をリセット	モバイルネットワークのすべての設定をリセットします。
	Bluetooth と Wi-Fi をリセット	Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)機能のすべての設定をリセットします。
	アプリの設定をリセット	無効化されているアプリや権限のすべての制限などがリセットされます。
	eSIM を消去	ダウンロードされたeSIMを消去します。
	プライベートスペースの削除	デバイスにあるプライベート スペースを削除します。また、スペースに追加されていた Google アカウントは削除されます。
	すべてのデータを消去(初期設定にリセット)	▶P.57「本製品を初期化する」
仮想メモリ		4 GB／6 GB／8 GB／OFF 内部ストレージを仮想メモリとして使用する容量を設定します。
ライセンス管理		▶P.57「ライセンスを管理する」

*「電源ボタンを長押し」を「電源ボタン メニュー」にしているときに設定できます。

言語と地域に関する設定をする

1 システム設定メニュー→[言語と地域]

2	システムの言語	日本語と英語の表示を切り替えます。 ・起動中のアプリが終了する場合があります。
	アプリの言語	アプリごとに言語を設定します。
	音声	Google 音声入力に関する設定を行います。
	地域	地域を設定します。
	温度	温度の単位を設定します。
	測定単位	測定の単位を設定します。
	週最初の曜日	週の始まりの曜日を設定します。

キーボードに関する設定をする

1 システム設定メニュー→[キーボード]

2	画面キーボード	Gboard BarcodeScan Keyboard Google 音声入力	Gboardに関する設定を行います。 BarcodeScan Keyboardに関する設定を行います。 Google 音声入力に関する設定を行います。
	物理キーボード		物理キーボードに関する設定を行います。 ・キーボードを接続したときに表示されます。
	スペルチェック		スペルチェッカーを使用するかどうかを設定します。 ・対応するキーボードアプリをインストールすると利用できます。
	単語リスト		単語を登録できます。
	ポインタの速度		ポインティングデバイス使用時の、ポインタの反応速度を設定します。

日付と時刻の設定をする

1 システム設定メニュー→[日付と時刻]

日付と時刻設定メニューが表示されます。

2	日時の自動設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って、自動的に補正するかどうかを設定します。
	日付	▶P.57「日付を設定する」
	時刻	▶P.57「時刻を設定する」
	タイムゾーンの自動設定	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って、自動的に補正するかどうかを設定します。
	タイムゾーンの設定に位置情報を使用	タイムゾーンの設定に位置情報を使用します。
	タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。
	24時間表示	選択すると24時間表示、解除すると12時間表示となります。 ※ アプリによっては、対応されない場合があります。
	NTPサーバー設定	NTPサーバーに関する設定を行います。

memo

- ◎「日時の自動設定」をオンにするとネットワークから日付や時刻が自動で設定されます。お買い上げ時は「日時の自動設定」がオンに設定されています。
- ◎ 日付、時刻、タイムゾーンの自動設定をするには、あらかじめ「日時の自動設定」「タイムゾーンの自動設定」をオフにする必要があります。
- ◎ 海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。日付と時刻設定メニュー→[タイムゾーン]→[地域]→設定するタイムゾーンを選択し、操作して、タイムゾーンを設定することができます。

日付を設定する

1 日付と時刻設定メニュー→[日付]

2 カレンダー表示で日付を選択

3 [OK]

時刻を設定する

1 日付と時刻設定メニュー→[時刻]

2 時計表示で時間と分を選択

「24時間表示」をオフにしている場合は、「午前」／「午後」をタップして切り替えます。

3 [OK]

本製品を初期化する

1 システム設定メニュー→[リセット オプション]

2 [すべてのデータを消去(初期設定にリセット)]→[すべてのデータを消去]

・スタート画面の設定によっては、セキュリティ解除が必要な場合があります。

memo

- ◎ データの初期化を実行すると内部ストレージのすべてのデータが消去されます。データの初期化を実行する前に内部ストレージのデータをバックアップすることをおすすめします。
- ◎ 設定メニューの以下の項目は、データの初期化を実行してもリセットされません。
 - ・SIMカードロック
- ◎ 本製品を初期化すると、デジタル著作権管理(DRM) コンテンツのライセンス情報が削除され、コンテンツの再生ができなくなる場合があります。

ライセンスを管理する

購入したライセンスの有効化、および端末で有効になっているライセンスの確認を行うことができます。

端末の利用環境に応じて、適切なライセンスの購入・有効化を行ってください。

1 システム設定メニュー→[ライセンス管理]

2	サーバー認証	端末情報にライセンスが紐付けられた端末でライセンスを有効化します。有効化するには、インターネット接続が必要です。
	ファイル認証	オフライン環境でライセンスを有効化する場合に使用します。有効化する際は、ライセンス購入時に発行されたライセンスファイルを端末内に保存して、保存したファイルを選択してください。
	QR認証	ライセンス購入時に発行されたQRコードを読み取ってライセンスを有効化します。有効化するには、インターネット接続が必要です。

■ ライセンスの引き継ぎをする

本機能は、端末故障時に代替機へライセンスを引き継ぐ場合にのみ利用できます。ライセンスを引き継いだ元の端末では、以後ライセンスを有効化できなくなるため、任意の端末間でライセンスを移動する目的には使用できません。

1 システム設定メニュー→[ライセンス管理]

2 [:] → [ライセンス引き継ぎ] → [OK] → [OK]

memo

- ライセンスの引き継ぎを行うには、引き継ぎ元の端末と引き継ぎ先の端末の両方でインターネット接続が必要です。
- 引き継ぎ元の端末でライセンス引き継ぎを実行するとQRコードが作成されます。引き継ぎ先の端末で[QR認証]をタップして、作成されたQRコードを読み取ってライセンスを有効化してください。

■ デバイス情報に関する設定をする

本製品のバージョンなどの情報を確認します。

1 設定メニュー→[デバイス情報]

2	デバイス名	デバイス名を変更できます。
	電話番号 (SIM スロット 1) / (SIM スロット 2)	電話番号を確認できます。
	法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。
	認証情報	認証情報を確認できます。
	SIM のステータス (SIM スロット 1) / (SIM スロット 2)	SIM のステータスを確認できます。
	モデル	バージョンや各番号を確認できます。
	EID	
	IMEI (SIM スロット 1) (メイン) / (SIM スロット 2)	
	Android バージョン	
	IP アドレス	
	Wi-Fi MAC アドレス	
	デバイスの Wi-Fi MAC アドレス	
	Wi-Fi HaLow MAC アドレス	
	デバイスの Wi-Fi HaLow MAC アドレス	
	Bluetooth アドレス	
	稼働時間	
	ビルド番号	
	使用状況に関するデータ利用	京セラ及び京セラから委託を受けたものによる使用状況に関するデータの利用を許可するかどうかを設定します。

■ セキュリティとプライバシーの設定をする

1 設定メニュー→[セキュリティとプライバシー]

セキュリティとプライバシー設定メニューが表示されます。

2	デバイスをスキャン	デバイスの設定を確認します。
	アプリのセキュリティ	Google Play プロテクトによるスキャンができます。
	デバイスのロック解除	画面ロック 画面ロックの解除方法を設定します。 ・「なし」「スワイプ」「パターン」「ロックNo.」「パスワード」のいずれかの解除方法から設定します。 顔認証と指紋認証によるロック解除 顔認証機能 (▶P.29) や指紋認証機能 (▶P.28) の設定ができます。 ・認証機能の用途として、「デバイスのロック解除」や「アプリの認証」に利用するかどうかを設定することもできます。 盗難保護 盗難保護機能の設定ができます。
	アカウントのセキュリティ	Google セキュリティ診断やGoogle アカウントに保存されたパスワードのセキュリティの確認などができます。
	デバイスの探索	Find Hubや不明なトラッカーのアラートに関する設定ができます。
	システムとアップデート	セキュリティのアップデート、Google Play システム アップデートやバックアップの設定ができます。
	プライバシー管理	プライバシーなどに関する設定ができます。
	プライバシー ダッシュボード	権限を最近使用したアプリを表示します。
	プライベート スペース	アプリ一覧下部に、プライベート スペースが表示されます。プライベート スペース内のアプリは、プライベート スペースがロックされているときはアプリ一覧や通知、他のアプリなどが非表示になります。
	高度な保護機能	本製品やアカウントの保護についての設定ができます。
	その他のセキュリティとプライバシー	スタート画面上の通知やロック解除延長などに関する設定ができます。

■ SIMカードロックを設定する

SIMカードにPINコード(暗証番号)を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。

1 セキュリティとプライバシー設定メニュー→[その他のセキュリティとプライバシー] → [SIM ロック] → [SIM をロックする]

2 SIMカードのPINコードを入力→[OK]

■ 電源を入れたときにPINコードを入力する

1 PINコードの入力画面→PINコードを入力→[●]

■ PINコードを変更する

SIMカードロックが有効に設定されているときのみ変更できます。

1 セキュリティとプライバシー設定メニュー→[その他のセキュリティとプライバシー] → [SIM ロック] → [SIM PIN を変更]

2 現在のPINコードを入力→[OK]

3 新しいPINコードを入力→[OK]

4 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

位置情報の設定をする

1 設定メニュー→[位置情報]→[位置情報を使用]を「ON」にする

2	最近のアクセス	位置情報を取得したアプリを表示します。 ・アプリをタップするとアプリの権限設定を表示します。
	すべて表示	最近の位置情報データを使用したすべてのアプリやサービスが表示されます。
	アプリへの位置情報の利用許可	アプリごとに位置情報の使用を許可するかどうかを設定します。
位置情報サービス	Google 現在地の共有機能	Google 現在地の共有機能などの設定を確認／変更します。
	タイムライン	
	位置情報の精度	
	信頼できる場所	
	地震アラート	
	災害情報アラート	
	緊急位置情報サービス	
	Wi-Fi スキャン Bluetooth のスキャン	位置情報の精度を向上させるため、Wi-Fi®やBluetooth®の電波をスキャンするかどうかを設定します。



GPS機能の使用について

- ◎ 電池の消費を節約する場合は、オフにしてください。
- ◎ 周囲に建物などがなく、天空が見える場所では精度が高くなります。周囲の環境により、正しい位置情報が取得できない場合は、天空が見える場所へ移動してください。

パスワードとアカウントの設定をする

本製品とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

- ・同期するには、本製品でGoogle アカウントなどのオンラインサービスのアカウントを設定する必要があります。手動で同期するか、または自動同期するように設定できます。

1 設定メニュー→[パスワードとアカウント]

パスワードとアカウント設定メニューが表示されます。

2 同期の設定をするアカウントを選択→[アカウントの同期]

3 同期するサービスを「ON」にする



- ◎ パスワードとアカウント設定メニュー→[アプリデータを自動的に同期する]で、自動同期の有効／無効を切り替えることができます。

アカウントを追加／削除する

■ アカウントを追加する

1 パスワードとアカウント設定メニュー→[アカウントを追加]

2 追加するアカウントの種別を選択

3 画面の指示に従って操作

■ アカウントを削除する

1 パスワードとアカウント設定メニュー→削除するアカウントを選択

2 [アカウントを削除]→[アカウントを削除]

安全性と緊急情報の設定をする

1 設定メニュー→[安全性と緊急情報]

2	緊急情報サービスを開く	緊急事態の共有、安全確認などの機能を利用できます。
	医療に関する情報	緊急時の初期対応で役立つ血液型などの情報を登録や確認ができます。
	緊急連絡先	緊急時の連絡先を登録したり確認したりすることができます。
	緊急 SOS	緊急SOSに関する設定を行います。
	緊急位置情報サービス	緊急時に現在地を送信するかどうかを設定します。
	地震アラート	地震アラートを利用するかどうかを設定します。
	災害情報アラート	周辺の自然災害や公衆衛生危機に関する通知を受け取るかどうかを設定します。
	不明なトラッカーのアラート	不明なトラッカーが検出されたときに通知するかどうかを設定します。
	運転中の通知をサイレントにする	運転中の通知を許可するかどうかや通知のフィルターなどを設定します。
	緊急速報メール	緊急速報メールに関する設定を行います。

ユーザー補助の設定をする

1 設定メニュー→[ユーザー補助]

2	TalkBack	画面上の項目を読み上げるかどうかを設定します。
	選択して読み上げ	選択したテキストを読み上げるかどうかを設定します。
	表示サイズとテキスト	画面に表示されるフォントサイズやアイテムのサイズなどを設定します。
	色と動き	色(色補正、色反転、ダークモード)や動き(アニメーション)の設定をします。
	さらに輝度を下げる	設定できる最低限の明るさよりも画面を暗くするかどうかを設定します。
	拡大	ショートカットボタンの表示や拡大の種類などを設定します。
	スイッチ アクセス	外付けのスイッチなどを利用して、本製品を操作するかどうかなどを設定します。
	ユーザー補助機能メニュー	大きな画面メニューを表示するかどうかを設定します。
タイミ ングの調 節	長押しする時間	ロングタッチの時間を設定します。
	操作までの時間 (ユーザー補助 タイムアウト)	操作が必要な、短い時間しか表示されないメッ セージの表示時間を設定します。
システ ム操 作	自動クリック (一定時間の静 止)	マウスを使用している場合、カーソルの動きが一 定時間静止したときに自動的に操作を行うよう 設定します。
	ナビゲーション モード	戻る、ホームへの移動、アプリの切り替えの操 作について設定します。
	片手モード	片手操作に画面を縮小するモードを設定し ます。
	電源ボタンで通 話を終了	電源ボタンで通話を終了するかどうかを設定 します。
	画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示／横 表示を切り替えるかどうかを設定します。
	バイブレーションとハプティ クス	着信時や通知、アラーム時、タップ操作時のバ イブレーションの強さを設定します。
	自動字幕起こし	音声を検出したときに字幕を表示するかどうか を設定できます。
	字幕の設定	字幕表示に対応したアプリ使用時に、字幕を表 示するかどうかなどを設定します。
	音声による説明	対応する映画や番組にて、画面の表示内容の説 明を読み上げるかどうかを設定します。
	点滅による通知	通知を受け取ったときやアラームが鳴ったとき に撮影ライト／ライトや画面を点滅させるか どうかを設定します。
音声の調 整	モノラル音声	音声をモノラルで再生するかどうかを設定し ます。
	オーディオ バ ランス	音声の左右のバランスを設定します。
ユーザ ー補 助機 能の ショ ート カッ ト	ユーザー補助機 能ボタン	ユーザー補助機能ボタンの設定をします。
	スタート画面で の音量ボタンの ショートカット	音量上ボタンと音量下ボタンを同時に数秒ほ ど長く押して、ユーザー補助機能を起動する かどうかを設定します。
	テキスト読み上げの設定	優先するエンジンや言語などテキスト読み上 げに関する設定をします。
	ライトを最小光度にする	クイック設定パネルの撮影ライト／ライトや カメラの動画撮影などの撮影ライト／ライト を最小光度にするかどうかを設定します。

付録.....	62
ソフトウェアを更新する.....	62
故障とお考えになる前に.....	62
イヤホンを使用する	63
主な仕様.....	63
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	64
FCC Notice	64
輸出管理規制.....	64
知的財産権について	65

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスやセキュリティ向上を実現し、最新の拡張機能を手取できます。
ソフトウェア更新が必要な場合には自動的にソフトウェアをダウンロードして更新します(OSアップデートは除く)。
お客様により快適に本製品をご使用いただくため、ご購入後も機能・操作性・セキュリティの向上を目的として、定期的にソフトウェアの更新による品質向上を行っております。

ご利用上のご注意

- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗することがあります。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ(連絡先、メール、静止画、楽曲データなど)は変更されませんが、更新内容によってはお客様が設定した情報が初期化される場合があります。お客様の携帯電話の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新後に初めて起動したときは、データ更新処理のため、数分から数十分間、動作が遅くなる場合があります。所要時間は本製品内のデータ量により異なります。通常の動作速度に戻るまでは電源を切らないでください。
- 海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

- 1 ホーム画面** → **[📶]** → **[システム]** → **[システムアップデート]**
以降は、画面の指示に従って操作してください。



◎ ソフトウェア更新/OSアップデート後に元のバージョンに戻すことはできません。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に、本製品に搭載の「デバイス故障診断」をお試しください。詳しくは、「デバイス故障診断」(▶P.41)をご参照ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	電池パックは充電されていますか？	P.19
	電源ボタンを充電ランプが点灯するまで長く押していますか？	P.20
	電池パック専用コネクタが汚れていませんか？	—
充電ができない	充電用機器(別売)は正しく接続されていますか？	P.19
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？ 温度によって充電を停止する場合があります。	P.19
	外部接続端子などが汚れていませんか？	—
指紋が認証されない	指紋センサー部のキズの確認や汚れをふき取る。	P.28
	指の指紋が汚れ、濡れ、乾燥していないか確認する。	P.28
操作できない/画面が動かない/電源が切れない	電源ボタンと音量上ボタンを同時に11秒以上長押しすると強制的に電源を切り再起動することができます。	P.20
電源が勝手に切れる 電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	電池パックは十分に充電されていますか？	P.19
	電池パックは十分に充電されていますか？	P.19
電話がかかけられない	電源は入っていますか？	P.20
	Wi-Fi HaLow™設定がオンになっていませんか？	P.50
	SIMカードが挿入されていますか？	P.18
	電話番号が間違っていますか？ (市外局番から入力していますか？)	P.32
	電話番号入力後、 [📞] をタップしていますか？	P.32
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.54
	電波は十分に届いていますか？	P.26
	サービスエリア外にいませんか？	P.26
	電源は入っていますか？	P.20
	Wi-Fi HaLow™設定がオンになっていませんか？	P.50
電話がかかってこない	SIMカードが挿入されていますか？	P.18
	「着信拒否」が設定されていませんか？	P.34
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.54
	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.26
	内蔵アンテナ付近を指などで覆っていませんか？	P.16
「 [🔇] 」(音声サービス使用不可)/「 [📶] 」(データサービス使用不可)*/ 「 [🔇] 」(音声・データサービスともに使用不可)が表示される	SIMカード以外のカードが挿入されていませんか？	P.18

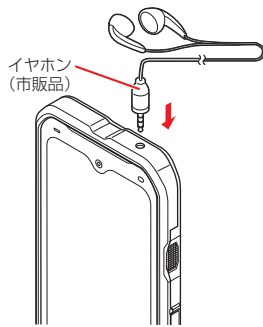
こんなときは	ご確認ください	参照
Wi-Fi®がつかない	Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？	P.26
	Wi-Fi®の設定をしましたか？	P.49
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	—
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.54
Wi-Fi HaLow™がつかない	Wi-Fi HaLow™の電波は十分に届いていますか？	P.26
	Wi-Fi HaLow™の設定をしましたか？	P.50
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	—
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.54
ディスプレイ/着信ランプは点灯/点滅するが着信音が鳴らない	「着信音の音量」が最小に設定されていませんか？	P.55
	マナーモードに設定されていませんか？	P.27
ボタン/タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.20
	スタート画面のセキュリティが設定されていませんか？	P.58
タッチパネルで意図した通りに操作できない	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.20
	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。	P.24
充電をする旨のメッセージが表示された	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.20
	電池残量がほとんどありません。	P.19
電話が勝手に応答する	「伝言メモ」が設定されていませんか？	P.34
電池を利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？	P.19
	・赤色の充電ランプが緑色に変わるまで、充電してください。	
	電池パックまたは内蔵電池が寿命となっていますか？	P.10 P.56
	「 [🔇] 」(音声サービス使用不可)/「 [📶] 」(データサービス使用不可)*/ 「 [🔇] 」(音声・データサービスともに使用不可)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.26
電話をかけたときに受話部(レシーバー)から「ブーツ、ブーツ、ブーツ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.26
	回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直してください。	—
ディスプレイの照明がすぐに消える	「画面消灯」が短く設定されていませんか？	P.56
画面照明が暗い	「明るさのレベル」が暗く設定されていませんか？	P.56
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって画面の輝度を落とす場合があります。	—
相手の方の声が聞こえない/聞き取りにくい	通話音量が最小に設定されていませんか？	P.32
	受話口を耳でふさいでいませんか？	P.16
イヤホンマイクのマイクが使えない	受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	
	コネクタが正しく挿入されていますか？ イヤホンマイク端子の奥までしっかり挿入してください。	P.63
動作が遅くなった/アプリの動作が不安定になった/一部のアプリを起動できない	メモリの空き容量がなくなると動作が安定しません。空き容量が少なくなったら、不要なアプリを削除してメモリの空き容量を確保してください。	P.26
電話帳の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか？ 通知がない場合は、電話帳の着信設定は有効になりません。また、電話帳のグループ着信設定は有効になりません。	—
	同じ電話番号が2件以上電話帳に登録されていませんか？	P.34
microSDメモリーカードを認識しない	microSDメモリーカードは正しく取り付けられていますか？	P.44
	microSDメモリーカードのマウントが解除されていませんか？	P.56
カメラが動作しない	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	P.19
緊急通報ができない	指定のSIMカードが挿入されていますか？	P.18
	指定のSIMカード以外のカードをご利用になっていませんか？	—
	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.26

※ 「5G」「4G」は表示されません。

イヤホンを使用する

イヤホン(市販品)、イヤホンマイク(市販品)、ステレオイヤホンマイク(市販品)を接続して使用します。

1 イヤホンマイク端子にイヤホン(市販品)を接続



memo

◎ イヤホン(市販品)/イヤホンマイク(市販品)/ステレオイヤホンマイク(市販品)の種類によっては使用できない場合があります。

主な仕様

■ 本体

ディスプレイ	約5.8インチ HD+ TFT液晶	
重量	約250g	
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約79×166×13.9mm	
内蔵メモリ容量 ^{*1}	ROM:約128GB RAM:約8GB	
Wi-Fi [®] デザリング最大接続数	15台	
カメラ撮像素子	CMOS	
アウトカメラ有効画素数	約5,000万画素	
インカメラ有効画素数	約800万画素	
無線LAN(Wi-Fi [®])機能	IEEE802.11a/b/g/n/ac/ax (Wi-Fi 6E)/ah(Wi-Fi HaLow [™]) IEEE802.11r ^{*2} /k ^{*2} /v ^{*2} /w(Wi-Fi高 速ローミング)	
Bluetooth [®] 機能	対応バージョン	Bluetooth [®] 標準規格Ver.5.4準拠 ^{*3}
	出力	Bluetooth [®] 標準規格Class 1
	通信距離 ^{*4}	見通しの良い状態で10m以内
	対応プロファイル・ 機能 ^{*5}	GATT(Generic Attribute Profile) SPP(Serial Port Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) OPP(Object Push Profile) PBAP(Phone Book Access Profile) HID(Human Interface Device Profile) PAN(Personal Area Networking Profile) PAN NAP(Personal Area Networking-Network Access Point) PAN USER(Personal Area Networking-User) HOGP(HID over GATT Profile) MAP(Message Access Profile) aptX aptX HD aptX Adaptive AAC LDAC [™] LC3 Bluetooth SSP
	使用周波数帯	2.4GHz帯

- ※1 データとアプリで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリの使用容量により減少します。
- ※2 場所により対応可能となります。
- ※3 本製品およびすべてのBluetooth[®]機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth[®]標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができなかったりする場合があります。
- ※4 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
- ※5 Bluetooth[®]機器どうしの使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth[®]標準規格で定められています。



memo

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

■ 電池パック

サイズ	約66.6mm×約96mm×約11.6mm
重量	約83.9g

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種「DuraForce EX2」の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準は電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate, 6GHz以下の周波数の場合)および電力密度(PD: Power Density, 6GHzを超える周波数の場合)で定めており、携帯電話機に対するSAR、PDの許容値はそれぞれ2W/kg、2mW/cm²です。また、それぞれの指標で評価すべき無線機能が同時に動作する場合には、総合照射比で示すことを規定しています。総合照射比が1以下であれば、許容値を満足しています。

この携帯電話機の総合照射比は、側頭部における最大値: 0.476^(※2)、身体に装着した場合の最大値: 0.495^(※2)となっています^(※3)。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SAR、PDはより小さい値となります。個々の製品によってこれらの数値に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用を原因とするいかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ:
<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>
- 一般社団法人電波産業会のホームページ:
<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>
- 京セラのホームページ:
<https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/office/phone/lineup/smartphone/>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 この携帯電話機の総合照射比を算出するために使用した値は、側頭部: SAR 0.952 W/kg、PD(吸収電力密度) 0.000 mW/cm²、身体装着時: SAR 0.757 W/kg、PD(吸収電力密度) 0.232 mW/cm²です。

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Notice:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.



FCC RF EXPOSURE INFORMATION

Warning! Read this information before using your phone.

Warning! Read this information before using your phone. In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

Body-worn Operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.59 inches (1.5 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.59 inches (1.5 cm) must be maintained between the user's body and the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided. This device is not intended to be used with a lanyard or strap on the body. The device contains a mounting point that may be used to attach the device to equipment, a backpack or tool belt, etc.

Turn off your phone before flying

You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

■ FCC Certification Information

- The product is certified by Federal Communications Commission (FCC).

The product's FCC ID is JOYEB1236.

You can view this certification in the following way.

How to confirm:

In Home screen, [📶] → [About phone] → [Compliance information]

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



Google, Android, Google Play, YouTube, およびその他のマークはGoogle LLCの商標です。

Microsoft®, Windows® および Windows® 10 / Windows® 11 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。

Microsoft®, Microsoft® Excel®, Microsoft® PowerPoint®, Windows Media®, Exchange® は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Microsoft® Word, Microsoft® Office は、米国 Microsoft Corporation の商品名称です。QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSD, microSDHC, microSDXC ロゴは、SD-3C LLC の商標です。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

Wi-Fi®, Wi-Fi CERTIFIED®, Wi-Fi CERTIFIED® ロゴ、Wi-Fi Direct® および Miracast® は、Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

WPA™, WPA2™, WPA3™ および Wi-Fi HaLow™ は、Wi-Fi Alliance® の商標です。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM VIA LICENSING ALLIANCE LLC. SEE [HTTP://WWW.VIA-LA.COM](http://www.via-la.com).

「DURA FORCE」, 「グローブタッチ」, 「ウェットタッチ」は京セラ株式会社の登録商標です。

USB Type-C™ は USB Implementers Forum の商標です。

本製品は下記 URL に掲載されている HEVC 特許の 1 つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。
patentlist.accessadvance.com

N は、NFC Forum, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

ETHERNET / イーサネットは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。

LDAC および LDAC ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

LTE は、ETSI の商標です。

その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

License

■ OpenSSL License

[OpenSSL License]

Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

[Original SSLeay License]

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

この取扱説明書で説明されている本製品にインストールされているソフトウェアについては、お客さまに使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点にご注意ください。

- ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出を行ってはなりません。
- 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
- ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の非侵害などの黙示の保証を行うものではありません。

ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。

なお、オープンソースソフトウェアについては、以降に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■ オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)、その他のオープンソースソフトウェアのライセンス条件が適用されるソフトウェアを含みます。GPL、LGPL およびその他のライセンスの具体的な条件については、本製品の「デバイス情報」からご参照いただけます。詳細については京セラ株式会社のホームページをご覧ください。

本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェアおよび京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアが含まれています。

本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社または第三者が有しており、著作権法上認められた使用法および京セラ株式会社が別途認めた使用法を除き、お客さまは京セラ株式会社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

■ 診断および使用状況データの記録

京セラ株式会社では、製品とサービスの品質の向上のために、お客さまのご協力をお願いしています。京セラ株式会社は、予期しないシャットダウンやシステムエラーなどの診断イベントを追跡して対処し、品質とサービス向上を目的として、お客さまの端末の故障診断および使用状況データ（お客さまによるアプリケーションの使用状況情報、エラーに関するログ情報、およびお客さまによるアプリケーションの使用に関する詳細情報（特定の機能、使用頻度、メモリ／電池の使用状況））を端末内に記録、保存しております。これらの情報はお客さまより端末の修理依頼があった際に、お客さまの同意の上収集することがあります。

索引.....	68
---------	----

索引

記号／数字／アルファベット

Bluetooth®機能	48
機器登録	48
起動	48
注意	13
データの送受信	48
ペア設定コード	48
ペアリング	48
Files	45
Google	54
Google アカウント	21
microSDメモリカード	44
初期化	45
取り付け	44
取り外し	44
PINコード	
変更	58
SAR	64
ScanEx	40
SIMカード	
取り付け	18
取り外し	18
SIMカード／microSDメモリカードトレイ	16
USB Type-Cケーブル(市販品)	
接続	19, 45
VPN設定	54
Wi-Fi®	49
起動	49
接続	49
切断	49
注意	13
ネットワークを追加	49
Wi-Fi Direct®	49
Wi-Fi HaLow™	50
起動	50
接続	50
切断	50
注意	13
ネットワークを追加	50
Wi-Fi HaLow Messenger	42

あ

アウトカメラ	16
アカウント	59
アカウントを削除	59
アカウントを追加	59
同期	59
アプリ一覧	
メニュー	26
アプリ権限設定	13
安全上のご注意	6
イーサネットテザリング	51
インカメラ	16
音の設定	55
音量調節	55
操作音	55
マナーモード	27
音声レコーダー	41
音量上／下ボタン	16

か

外部接続端子	16
各部の名称と機能	16
壁紙	25
カメラ	
画面の見かた	38
撮影モード	39
静止画撮影	39
設定	39
動画撮影	39
画面の固定	27
機内モード	54
基本操作	24
近接センサー	16
クイック起動エリア	25
携帯電話機の比吸収率(SAR)	64
故障とお考えになる前に	62

さ

最近使用したアプリ	27
撮影ライト／ライト	16
自分の電話番号	34

指紋認証	28
充電	19
充電ランプ	27
受話口	16
仕様	63
シンプルホーム	26
ズームイン／ズームアウト	24
スクリーンショット	27
スタート画面	20
ステータスアイコン	26
ステータスバー	26
ステップアップ着信	33
ストラップ取付部	16
ストレージ	45
ストレージの設定	56
スライド	24
スリープモード	20
スワイプ	24
設定メニュー	54
送話口(マイク)	16
ソフトウェア更新	62
ご利用上の注意	62
ダウンロード	62

た

ダイレクトボタン	16
タッチパネル	24
タップ	24
ダブルタップ	24
着信拒否	34
着信／充電ランプ	16
着信ランプ	27
通知アイコン	26
通知パネル	27
通話音声メモ	32, 33
通話後録音	32
通話履歴	33
ディスプレイ(タッチパネル)	16
ディスプレイの設定	56
自動回転	24
データの初期化	57
テザリング	51
Bluetooth®テザリング	51
USBテザリング	51
Wi-Fi HaLow™テザリング	51
Wi-Fi®テザリング	51
電源ボタン／指紋センサー	16
電源を入れる	20
電源を切る	20
伝言メモ	34
電池パック	
取り付け	17
取り外し	17
電話	31
受ける	33
かける	32
クイック返信	33
設定	33
電話帳	34
インポート	35
エクスポート	35
お気に入り	35
グループ	35
削除	35
作成	34
電話をかける	35
登録	34
編集	35
ドラッグ	24
取り扱い上のご注意	9

な

内蔵アンテナ部	16
---------	----

は

バーコードスキャナー	40
光センサー	16
日付と時刻	57
表記方法	1
フォト	39
不在着信通知	34
フリック	24
プロフィール	34
ホームアプリ	25
ホーム画面	25
アプリ	25
ウィジェット	25
フォルダ	25

保存領域	44
------------	----

ま

マイク	16
マナーモード	27
マルチウィンドウ	27
文字入力	29
絵文字入力	30
顔文字入力	30
記号入力	30
切り取り	30
コピー	30
単語リスト	30
貼り付け	30

ら

ライト	41
ロングタッチ	24



やめましょう、
歩きスマホ。



有害サイトから
子供を守る！



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要
となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メー
カーを問わず  マークのあるお店で回収し、リサイクルを
行っています。



やさしく！
電池を大切に
高温・衝撃は苦手なんです。